

平成29年度県民満足度調査結果

平成 29 年 8 月

岡 山 県

目次

第Ⅰ部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 分析・表示について	1

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

問1 (1) 性別及び年齢階層	2
問1 (2) 世帯構成	2
問1 (3) 同居の子どもの有無	2
問1 (4) 子どもの成長段階	3
問1 (5) 居住地域(県民局)	3
問1 (6) 県内での通算居住年数	3
問1 (7) 職業	3

2 満足度・重要度について

問2 生活の満足度	4
問3 満足度・重要度の平均点	6
問3 満足度・重要度の相関図	11
問3 満足度順位表(居住地域別)	14
問3 重要度順位表(居住地域別)	16
問3 項目別満足度・重要度	18

第 I 部 調査の概要

1 調査の目的

県の施策実施による県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開していく基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の 18 歳以上の男女（平成 29 年 4 月 1 日現在）
2,500 人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布（郵送回収） |
| (4) 回収結果 | 1,344 人（回答率 53.8%） |
| (5) 調査期間 | 平成 29 年 6 月 1 日（木）～6 月 15 日（木） |

3 分析・表示について

1. 比率については小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
2. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100%を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
5. 報告書中の図表では、回答選択肢の中で最大値に網掛けをしている。
6. 今回のアンケート調査は、平成 29 年度からの県政推進の羅針盤として策定した「新晴れの国おかやま生き生きプラン」に沿って実施しており、設問の内容も一部見直していることから、前年度結果との単純な比較については留意する必要がある。

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1（1）性別及び年齢階層

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	計
男性	6 (1.1)	30 (5.5)	53 (9.8)	88 (16.2)	91 (16.8)	130 (23.9)	144 (26.5)	1 (0.2)	543 (40.4)
女性	6 (0.9)	52 (7.4)	84 (12.0)	108 (15.4)	131 (18.7)	159 (22.6)	161 (22.9)	1 (0.1)	702 (52.2)
無回答	- -	- -	1 (1)	5 (5.1)	8 (8.1)	22 (22.2)	59 (59.6)	4 (4.0)	99 (7.4)
計	12 (0.9)	82 (6.1)	138 (10.3)	201 (15.0)	230 (17.1)	311 (23.1)	364 (27.1)	6 (0.4)	1,344 (100.0)

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：（ ）内は%

	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
構成比	(5.8)	(11.1)	(13.0)	(16.0)	(13.1)	(16.9)	(24.0)	(100.0)

(注) 上記構成比は、平成28年10月1日現在の岡山県毎月流動人口調査から算出

(注) 本調査の10歳代の対象者は18歳、19歳である

■問1（2）世帯構成

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	124 (9.2)	346 (25.7)	627 (46.7)	208 (15.5)	30 (2.2)	9 (0.7)	1,344 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位：（ ）内は%

構成比	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(19.7)	(29.1)	(1.5)	(7.8)	(10.9)	(0.8)	(29.8)	(0.5)	(100.0)

(注) 上記構成比は、平成27年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1（3）同居の子どもの有無

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	641 (47.7)	689 (51.3)	14 (1.0)	1,344 (100.0)

■問1 (4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の()内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大 学、大学院 専門学校 などの 学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	109 (17.0)	128 (20.0)	96 (15.0)	101 (15.8)	78 (12.2)	323 (50.4)	15 (2.3)	2 (0.3)	641 (100.0)

■問1 (5) 居住地域 (県民局)

単位：上段は人、下段の()内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	635 (47.2)	1,181 (47.2)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	541 (40.3)	1,010 (40.4)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	162 (12.1)	309 (12.4)
無回答	6 (0.4)	
合計	1,344 (100.0)	2,500 (100.0)

■問1 (6) 県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の()内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	36 (2.7)	38 (2.8)	109 (8.1)	1,154 (85.9)	7 (0.5)	1,344 (100.0)

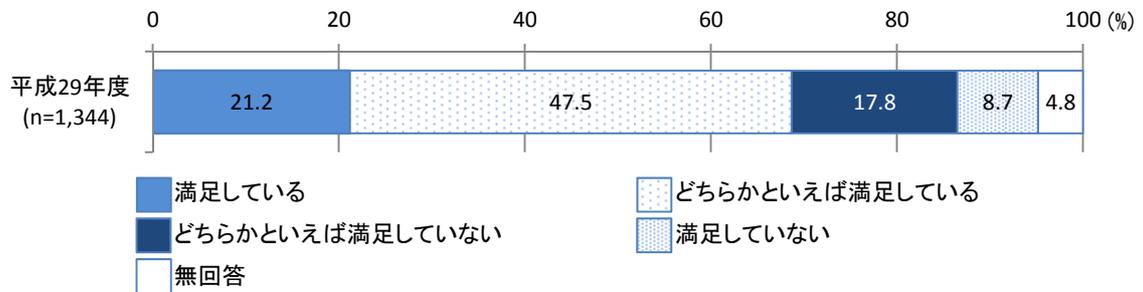
■問1 (7) 職業

単位：上段は人、下段の()内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正 社員(正職 員)	会社・団体 などの役 員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	140 (10.4)	359 (26.7)	29 (2.2)	256 (19.0)	173 (12.9)	30 (2.2)	343 (25.5)	14 (1.0)	1,344 (100.0)

2 満足度・重要度について

■問2 あなたは、現在の生活（暮らし）に満足していますか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



生活の満足度について、『満足している』（「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計。以下同じ。）との回答が 68.7%、『満足していない』（「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」の合計。以下同じ。）との回答が 26.5%となっている。

【生活の満足度】

(%)

	全 体	満 足 し て い る	満 足 し て い る ど ち ら か と い え ば	満 足 し て い ない ど ち ら か と い え ば	満 足 し て い ない	無 回 答
全体	全体 n= 1,344	21.2	47.5	17.8	8.7	4.8
性別	男性 n= 543	21.5	45.1	20.6	9.6	3.1
	女性 n= 702	21.1	50.4	15.2	8.0	5.3
年齢階層	10歳代 n= 12	8.3	75.0	0.0	0.0	16.7
	20歳代 n= 82	26.8	40.2	23.2	3.7	6.1
	30歳代 n= 138	16.7	47.1	18.1	11.6	6.5
	40歳代 n= 201	23.9	47.8	17.4	8.0	3.0
	50歳代 n= 230	22.2	41.7	19.6	12.2	4.3
	60歳代 n= 311	18.3	57.9	13.2	6.4	4.2
	70歳以上 n= 364	22.5	43.1	20.1	9.3	4.9
世帯構成	ひとり暮らし n= 124	18.5	44.4	18.5	16.1	2.4
	夫婦のみ n= 346	22.3	51.7	15.9	7.5	2.6
	親・子の二世帯 n= 627	21.2	46.4	19.0	7.3	6.1
	親・子・孫の三世帯 n= 208	21.2	47.1	17.3	9.6	4.8
	その他 n= 30	23.3	40.0	16.7	13.3	6.7
同居の子ども	子どもがいる n= 641	22.5	47.3	16.4	7.8	6.1
	子どもはいない n= 689	20.2	47.8	18.9	9.7	3.5
居住地域 (県民局)	備前地域 n= 635	22.2	47.4	17.5	8.0	4.9
	備中地域 n= 541	21.8	47.1	16.3	10.2	4.6
	美作地域 n= 162	16.0	49.4	24.7	6.8	3.1
居住年数	5年未満 n= 36	27.8	44.4	11.1	5.6	11.1
	5年以上10年未満 n= 38	23.7	36.8	28.9	10.5	0.0
	10年以上20年未満 n= 109	21.1	46.8	13.8	8.3	10.1
	20年以上 n= 1,154	21.1	48.2	18.1	8.8	3.9
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 140	22.9	46.4	15.7	9.3	5.7
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 359	22.8	46.2	17.0	8.9	5.0
	会社・団体などの役員 n= 29	34.5	44.8	17.2	3.4	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 256	15.2	51.2	21.1	8.6	3.9
	専業主婦(主夫) n= 173	24.9	56.1	8.7	5.8	4.6
	学生 n= 30	23.3	53.3	13.3	0.0	10.0
	無職 n= 343	20.7	42.6	22.2	11.1	3.5

○生活の満足度について

【満足している】職業別で「会社・団体などの役員」が34.5%と最も高くなっている。

【どちらかといえば満足している】年齢階層別で「60歳代」(57.9%)、職業別で「専業主婦(主夫)」(56.1%)が高くなっている。

【どちらかといえば満足していない】居住年数別で「5年以上10年未満」が28.9%と最も高くなっている。

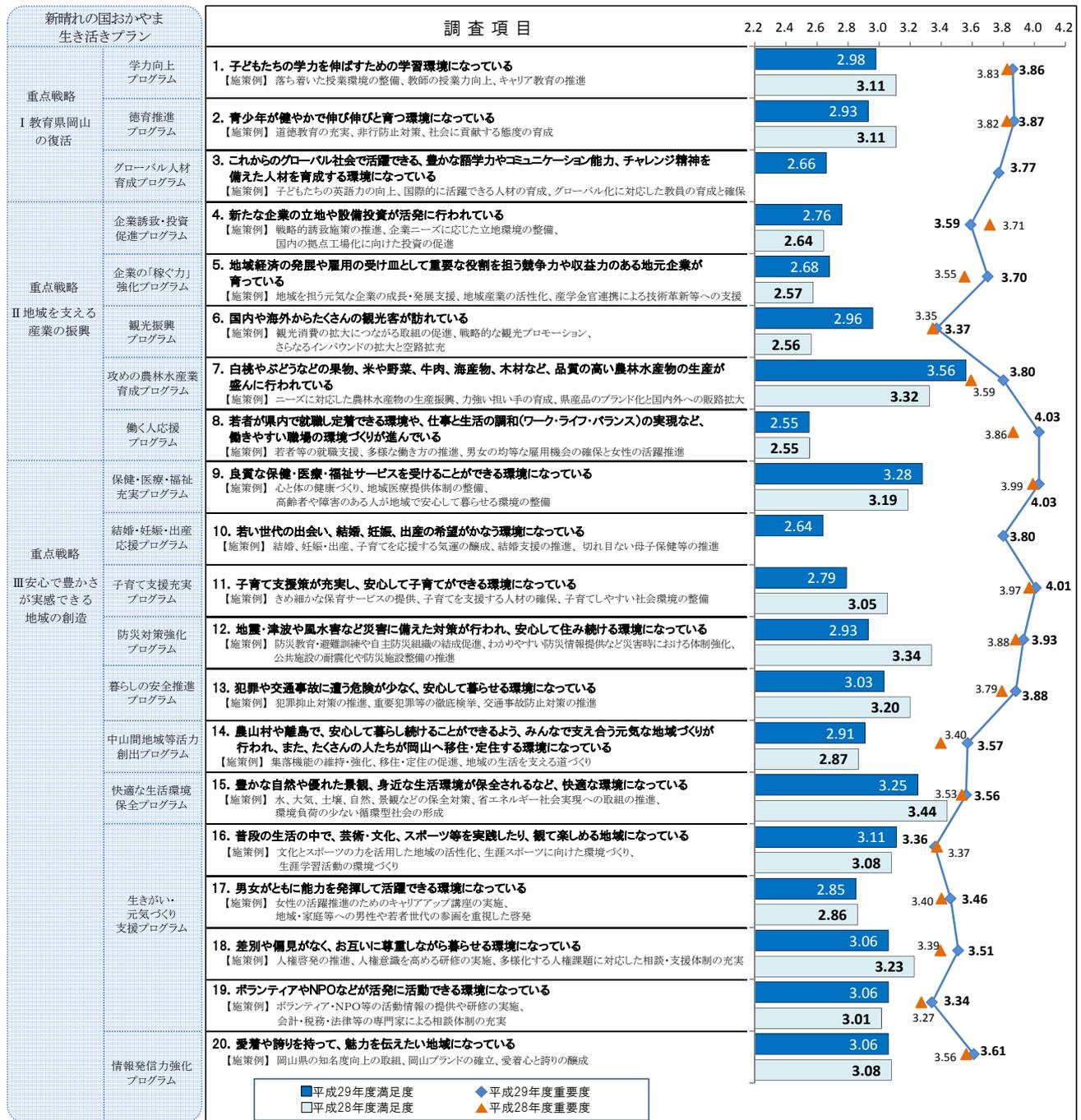
【満足していない】世帯構成別で「ひとり暮らし」が16.1%と最も高くなっている。

※20人以下の回答者の回答傾向は記述しないこととする(以下同じ)。

■問3 あなたは、日常生活を過ごす中で、次の20項目についてどのように感じていますか。また、県が取り組むべき施策として重要性についてどのように考えていますか。各項目について、あなた自身のお考えに最も近い番号に○印をつけてください。

■満足度・重要度の平均点

(単位：点)



(注1) 棒グラフは満足度の平均点、折れ線グラフは重要度の平均点を示す。
(注2) 満足度については、各項目で選択肢「5：満足している」「4：やや満足している」「3：どちらともいえない」「2：やや不満である」「1：不満である」をそれぞれ点数化して平均点を算出している。
重要度については、各項目で選択肢「5：特に重視すべき内容である」「4：重視すべき内容である」「3：どちらともいえない」「2：あまり重視する内容ではない」「1：重視する内容ではない」をそれぞれ点数化して平均点を算出している。

■満足度の前年度との比較

項目	平成29年度 調査結果	平成28年度 調査結果	増減
1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	2.98	3.11	▲ 0.13
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	2.93	3.11	▲ 0.18
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	2.66		
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	2.76	2.64	0.12
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	2.68	2.57	0.11
6. 国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	2.96	2.56	0.40
7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.56	3.32	0.24
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	2.55	2.55	0.00
9. 良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.28	3.19	0.09
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	2.64		
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	2.79	3.05	▲ 0.26
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	2.93	3.34	▲ 0.41
13. 犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.03	3.20	▲ 0.17
14. 農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	2.91	2.87	0.04
15. 豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.25	3.44	▲ 0.19
16. 普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.11	3.08	0.03
17. 男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	2.85	2.86	▲ 0.01
18. 差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.06	3.23	▲ 0.17
19. ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.06	3.01	0.05
20. 愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.06	3.08	▲ 0.02
平均	2.95	3.01	▲ 0.06

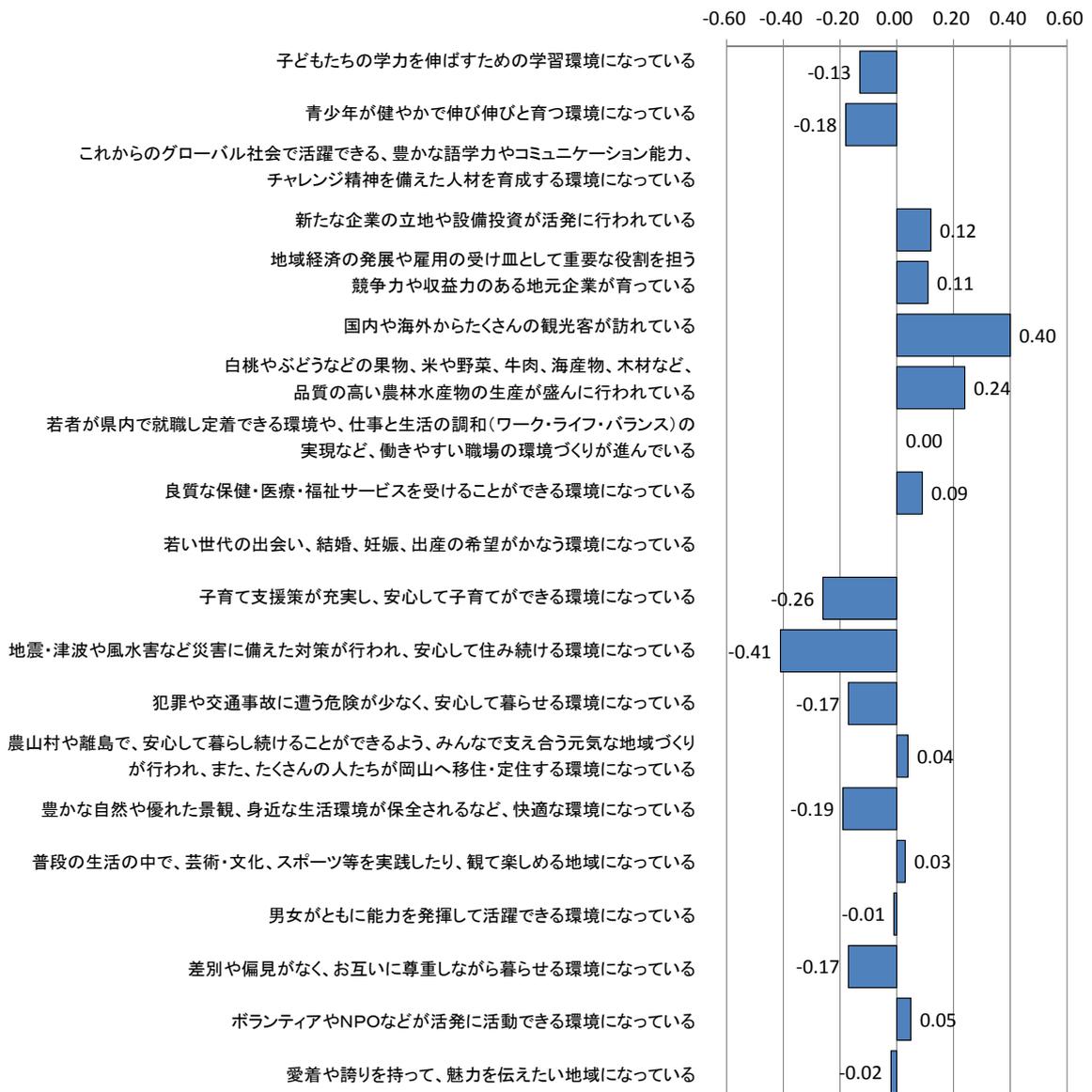
(単位：点)

平成29年度の満足度の平均点は2.95点であり、平成28年度に比べ下回っている。

項目別では、「6. 国内や海外からたくさんの観光客が訪れている」「7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている」で昨年より0.20点以上高い満足度となっている。

一方、「11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている」「12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている」で昨年より0.20点以上低い満足度となっている。

満足度について、今年度と前年度の満足度の増減を図化すると、次のようになる。



■重要度の前年度との比較

項 目	平成29年度 調査結果	平成28年度 調査結果	増 減
1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.86	3.83	0.03
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.87	3.82	0.05
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	3.77		
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	3.59	3.71	▲ 0.12
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	3.70	3.55	0.15
6. 国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.37	3.35	0.02
7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.80	3.59	0.21
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	4.03	3.86	0.17
9. 良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	4.03	3.99	0.04
10.若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	3.80		
11.子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	4.01	3.97	0.04
12.地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.93	3.88	0.05
13.犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.88	3.79	0.09
14.農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	3.57	3.40	0.17
15.豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.56	3.53	0.03
16.普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.36	3.37	▲ 0.01
17.男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	3.46	3.40	0.06
18.差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.51	3.39	0.12
19.ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.34	3.27	0.07
20.愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.61	3.56	0.05
平均	3.70	3.63	0.07

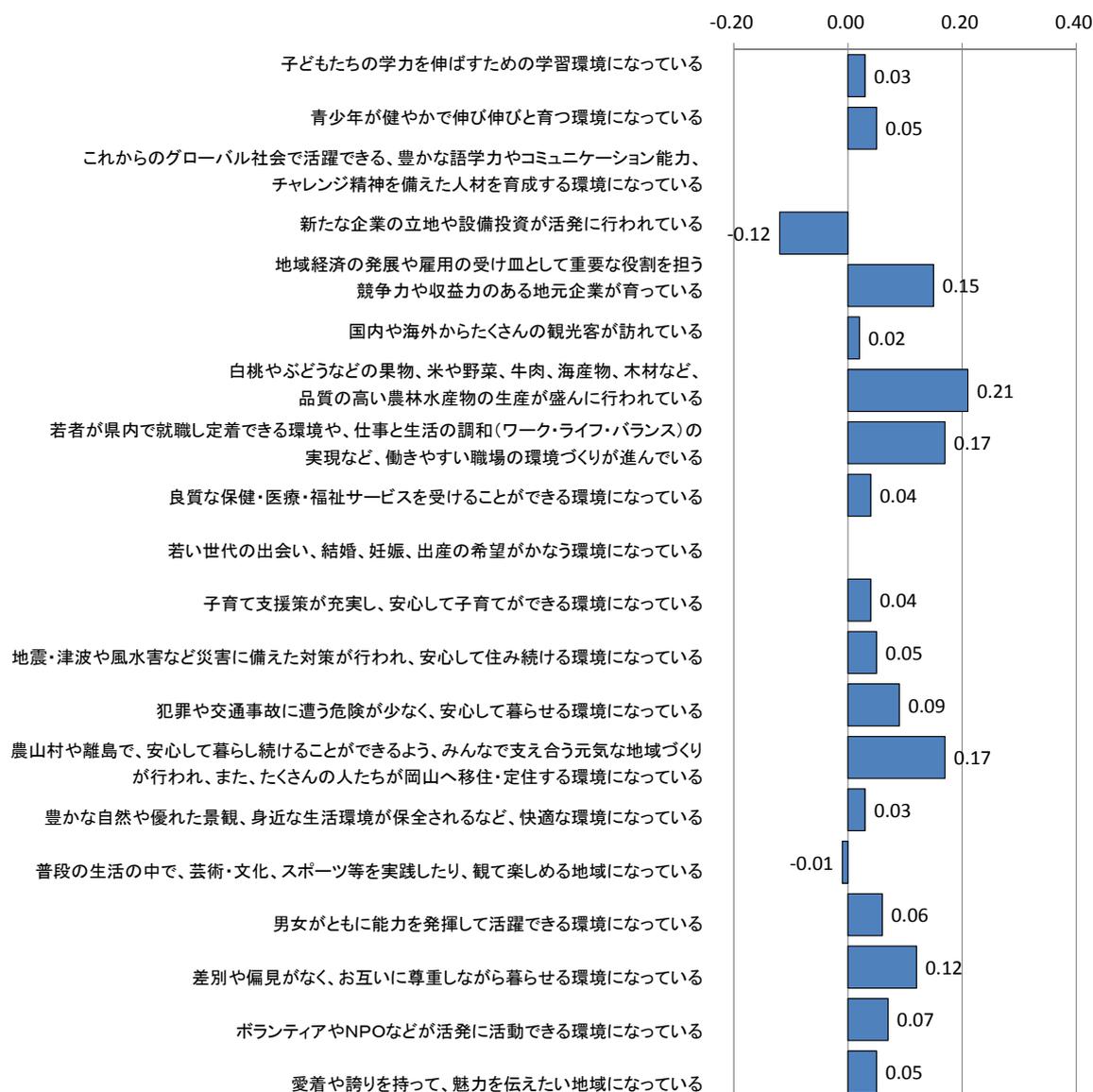
(単位：点)

平成29年度の重要度の平均点は3.70点であり、平成28年度に比べ上回っている。

項目別では、「5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている」「7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている」「8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる」「14. 農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている」「18. 差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている」で昨年より0.10点以上高い重要度となっている。

一方、「4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている」で昨年より0.12点低い重要度となっている。

重要度について、今年度と前年度の重要度の増減を図化すると、次のようになる。



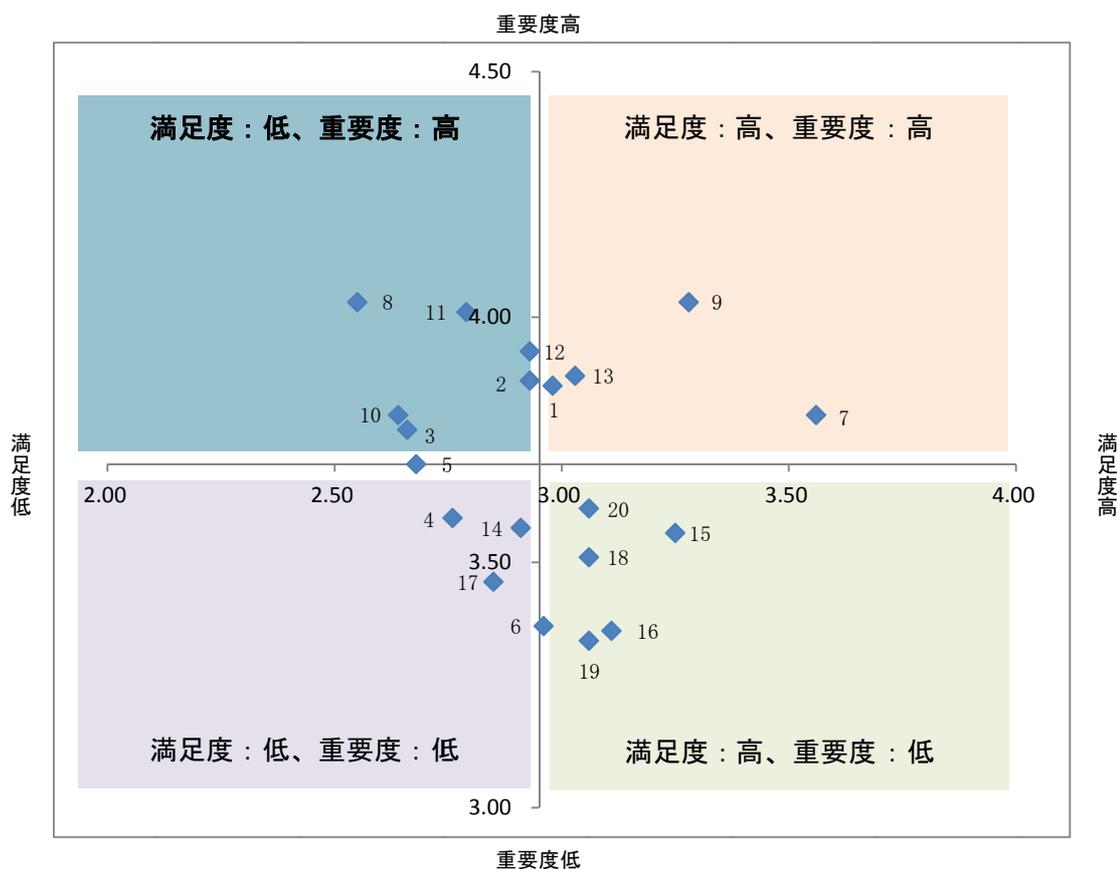
■満足度・重要度の相関図

20の調査項目について、満足度・重要度を算出し、相関図を作成した。
各相関図に記載されている番号は、次のとおりである。

1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている
6. 国内や海外からたくさんのお客さんが訪れている
7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる
9. 良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている
13. 犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている
14. 農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんのお客さんが岡山へ移住・定住する環境になっている
15. 豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている
16. 普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている
17. 男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている
18. 差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている
19. ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている
20. 愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている

○グラフの見方

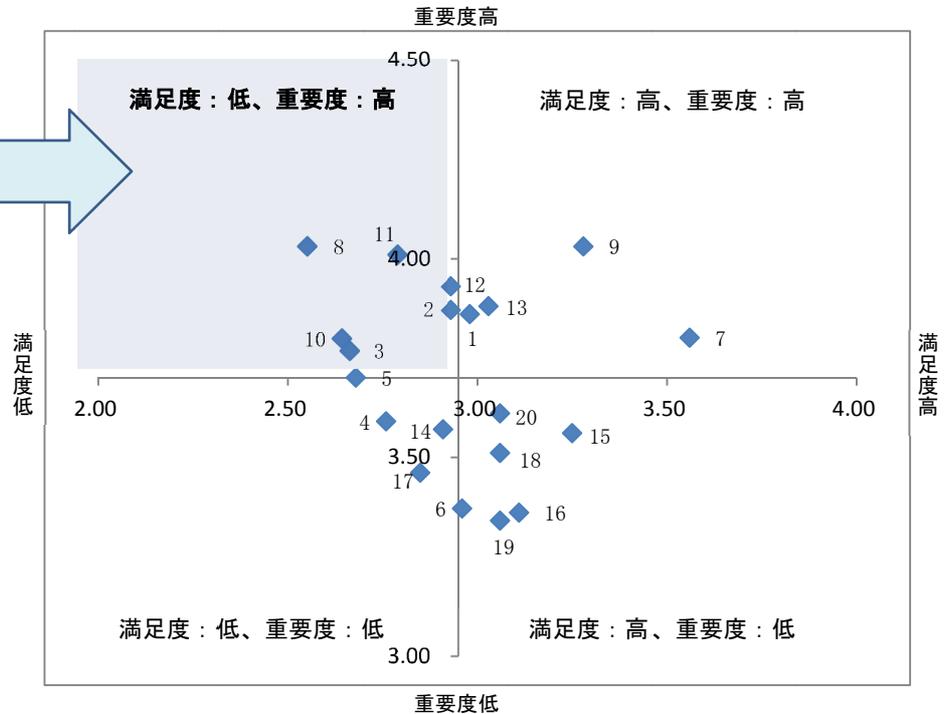
20の調査項目における満足度・重要度について、「満足度が高く、重要度も高い項目」「満足度が低く、重要度が高い項目」「満足度が低く、重要度も低い項目」「満足度が高く、重要度が低い項目」に分類・整理した。地域別の相関図については、各地域の平均値を基準に分類・整理した。



**満足度が低く、
重要度が高い項目**

2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている

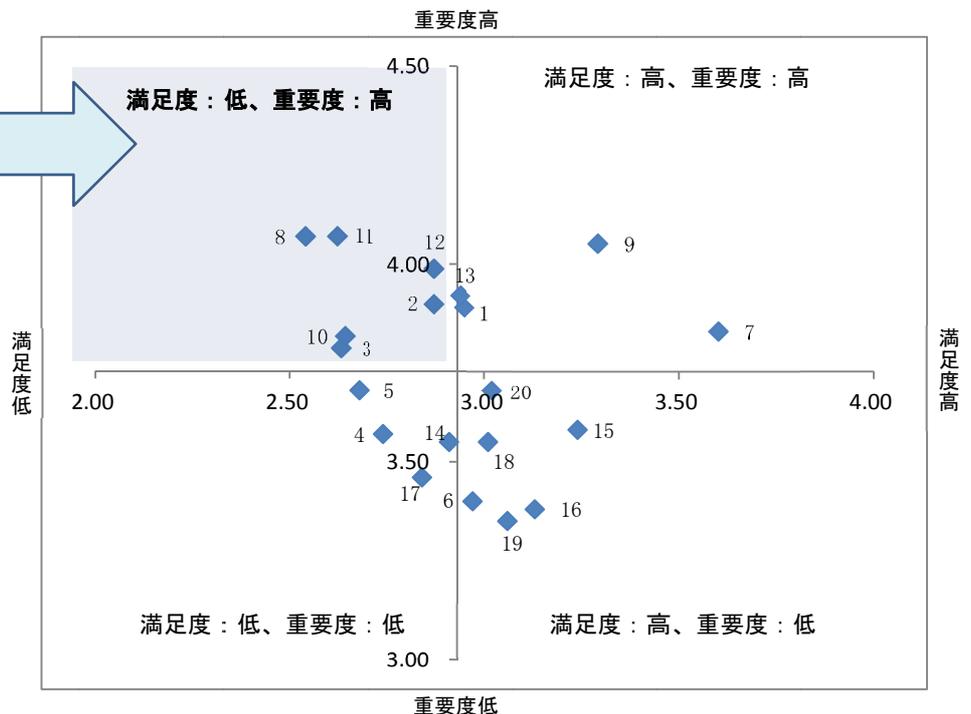
<全体> 満足度平均点 2.95 重要度平均点 3.70



**満足度が低く、
重要度が高い項目**

2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている

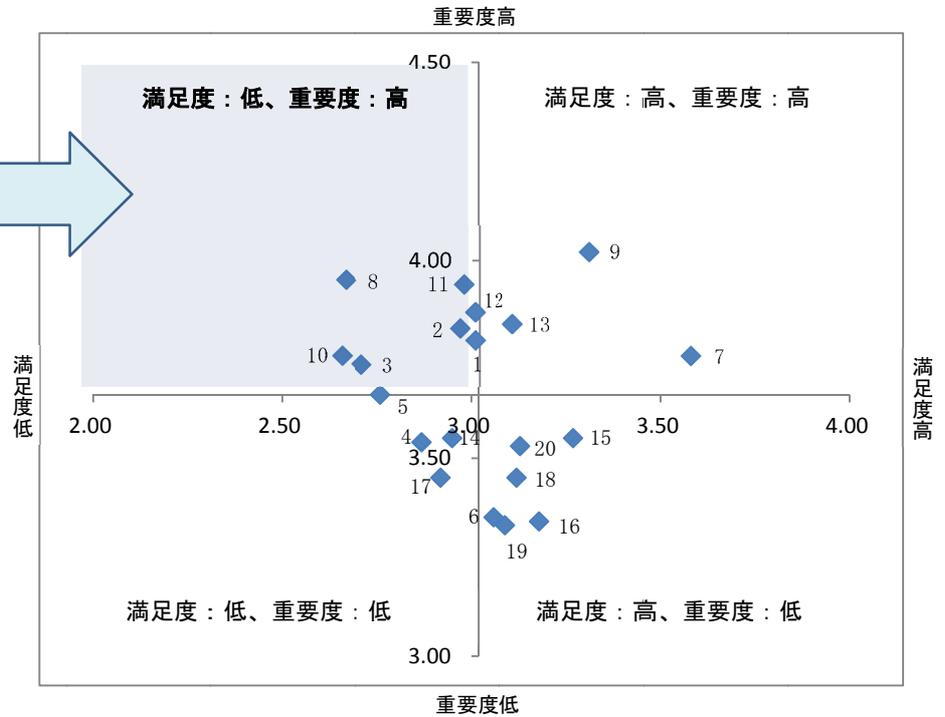
<備前地域> 満足度平均点 2.93 重要度平均点 3.73



**満足度が低く、
重要度が高い項目**

1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている

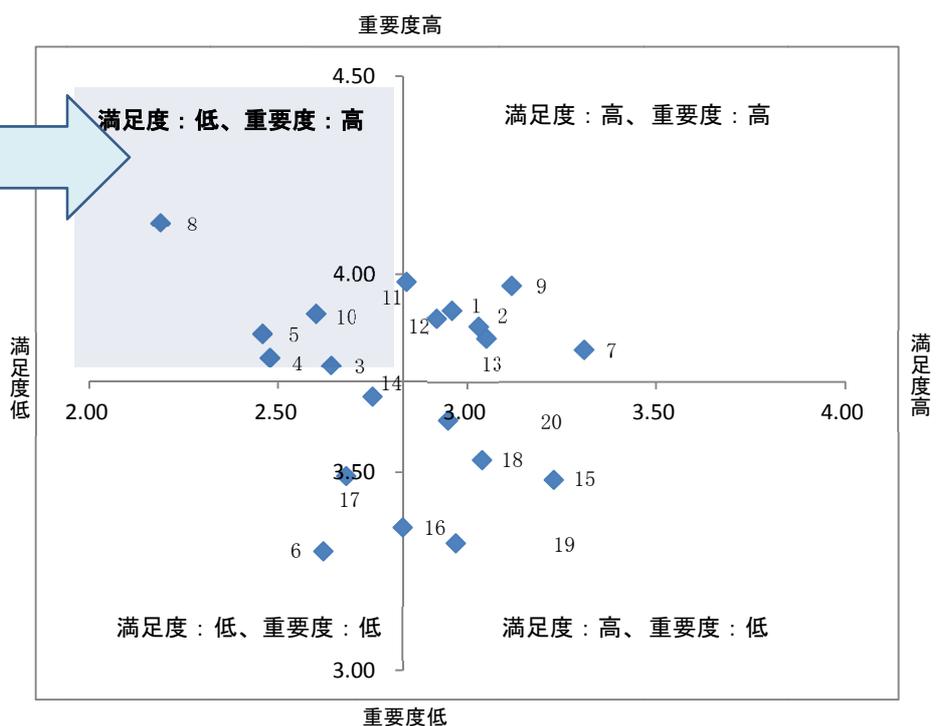
＜備中地域＞ 満足度平均点 3.02 重要度平均点 3.66



**満足度が低く、
重要度が高い項目**

3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている

＜美作地域＞ 満足度平均点 2.83 重要度平均点 3.73



■満足度順位表(居住地域別)

*全体 ● 第1位【白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている】

*全体 ● 第2位【良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている】

*全体 ● 第3位【豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている】

※同点数の順位は設問順で表記

	全体		居住地域(県民局)					
			備前地域		備中地域		美作地域	
第1位	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.56	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.60	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.58	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.31
第2位	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.28	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.29	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.31	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.23
第3位	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.25	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.24	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.27	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.12
第4位	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.11	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.13	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.18	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.05
第5位	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.06	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.06	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.13	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.04
第6位	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.06	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.02	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.12	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.03
第7位	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.06	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.01	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.11	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	2.97
第8位	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.03	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	2.97	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.09	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	2.96
第9位	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	2.98	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	2.95	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.06	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	2.95
第10位	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	2.96	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	2.94	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.01	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	2.92

	全体		居住地域(県民局)					
			備前地域		備中地域		美作地域	
第11位	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	2.93	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	2.91	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.01	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	2.84
第12位	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	2.93	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	2.87	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	2.98	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	2.83
第13位	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	2.91	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	2.87	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	2.97	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	2.75
第14位	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	2.85	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	2.84	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	2.95	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	2.68
第15位	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	2.79	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	2.74	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	2.92	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	2.64
第16位	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	2.76	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	2.68	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	2.87	国内や海外からたくさん観光客が訪れている	2.62
第17位	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	2.68	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	2.64	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	2.76	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	2.60
第18位	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	2.66	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	2.63	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	2.71	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	2.48
第19位	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	2.64	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	2.62	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	2.67	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	2.46
第20位	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	2.55	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	2.54	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	2.66	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	2.19

■重要度順位表(居住地域別)

*全体●第1位【若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる】

*全体●第2位【良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている】

*全体●第3位【子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている】

※同点数の順位は設問順で表記

	全体		居住地域(県民局)					
			備前地域		備中地域		美作地域	
第1位	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	4.03	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	4.07	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	4.02	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	4.13
第2位	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	4.03	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	4.07	若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる	3.95	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	3.98
第3位	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	4.01	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	4.05	子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている	3.94	良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている	3.97
第4位	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.93	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.99	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.87	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.91
第5位	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.88	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.92	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.84	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	3.90
第6位	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.87	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.90	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.83	地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている	3.89
第7位	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.86	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.89	子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている	3.80	青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている	3.87
第8位	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.80	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.83	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.76	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	3.85
第9位	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	3.80	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	3.82	若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている	3.76	犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている	3.84
第10位	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	3.77	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	3.79	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	3.74	白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている	3.81

	全体		居住地域(県民局)					
			備前地域		備中地域		美作地域	
第11位	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	3.70	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	3.68	地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている	3.66	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	3.79
第12位	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.61	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.68	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	3.55	これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている	3.77
第13位	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	3.59	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.58	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.55	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	3.69
第14位	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	3.57	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	3.57	新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている	3.54	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.63
第15位	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.56	農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている	3.55	愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている	3.53	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.53
第16位	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.51	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.55	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	3.45	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	3.49
第17位	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	3.46	男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている	3.46	差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている	3.45	豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている	3.48
第18位	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.37	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.40	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.35	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.36
第19位	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.36	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.38	普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている	3.34	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.32
第20位	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.34	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.35	ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている	3.33	国内や海外からたくさんの観光客が訪れている	3.30

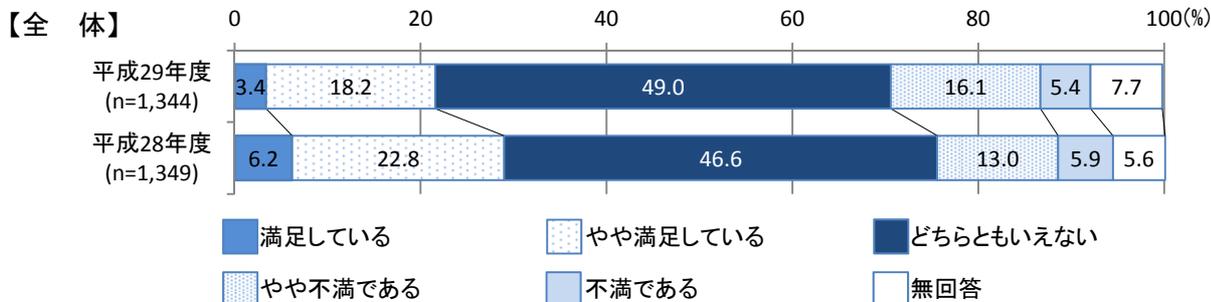
■項目別満足度・重要度

1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている

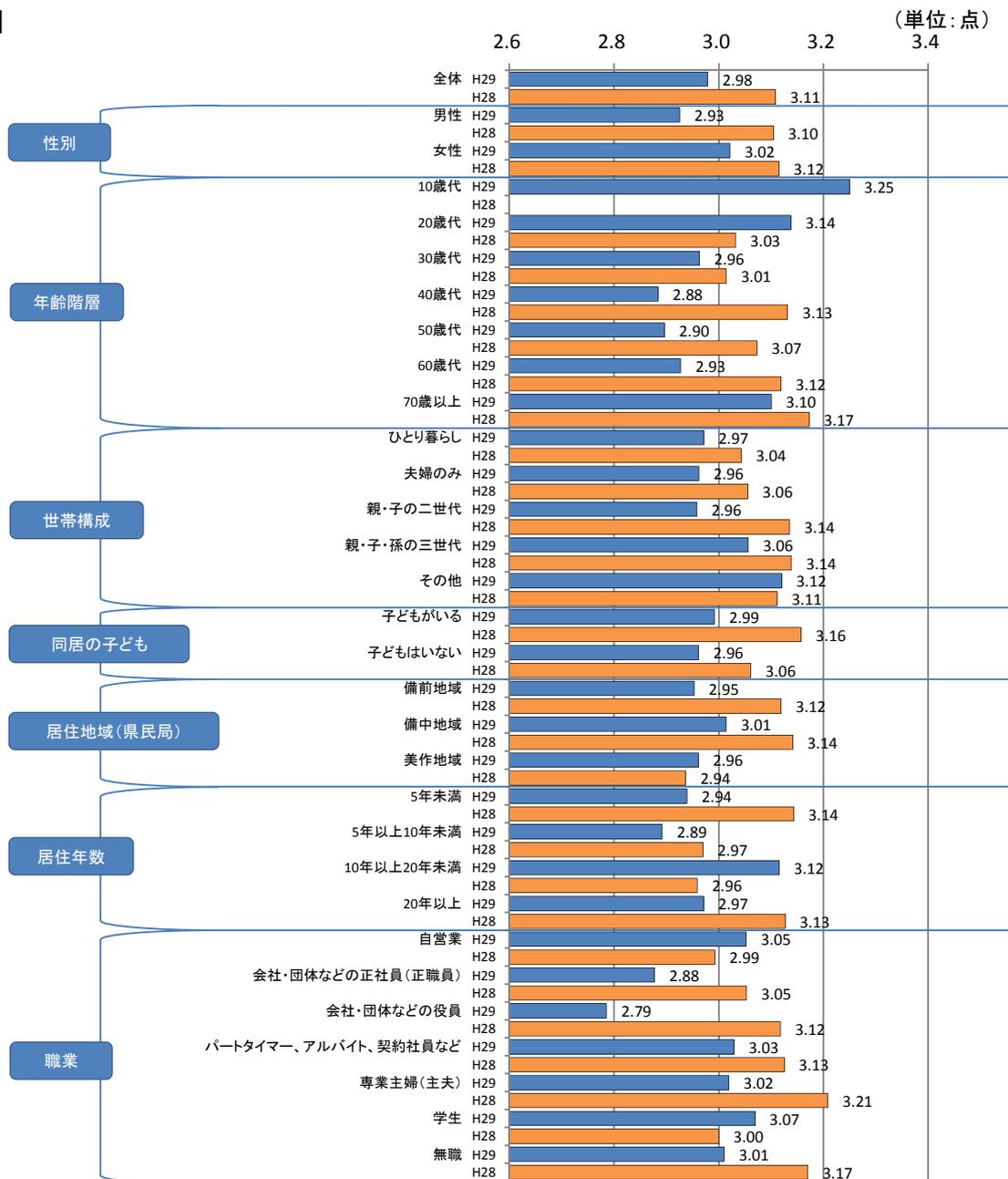
<施策例>

○落ち着いた授業環境の整備 ○教師の授業力向上 ○キャリア教育の推進

満足度



【属性別】



- ・全体の平均点は2.98点であり、20ある調査項目の中で9番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を下回っており、「子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.93点）に比べ「女性」（3.02点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.14点）で満足度が高く、「40歳代」（2.88点）、「50歳代」（2.90点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世帯」（3.06点）で満足度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.99点）と「子どもはいない」（2.96点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.01点）で満足度がやや高くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.12点）で満足度が高く、「5年以上10年未満」（2.89点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（3.07点）で満足度が高く、「会社・団体などの役員」（2.79点）で低くなっている。

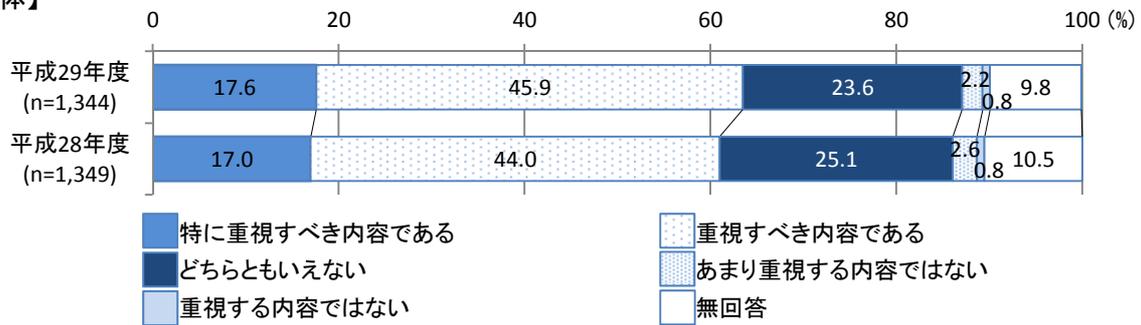
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（2.98点）は、前年度（3.11点）と比べて0.13点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（「満足している」、「やや満足している」の合計。以下同じ。）（21.6%）と回答した割合が7.4ポイント低下している。「どちらともいえない」（49.0%）、『不満』（「やや不満である」、「不満である」の合計。以下同じ。）（21.5%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（2.93点 前年度差▲0.17点）で満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「40歳代」（2.88点 前年度差▲0.25点）、「50歳代」（2.90点 前年度差▲0.17点）、「60歳代」（2.93点 前年度差▲0.19点）で満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（2.96点 前年度差▲0.18点）で満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.99点 前年度差▲0.17点）で満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（2.95点 前年度差▲0.17点）で満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.12点 前年度差0.16点）で満足度が上昇し、「5年未満」（2.94点前年度差▲0.20点）で低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員（正職員）」（2.88点 前年度差▲0.17点）、「会社・団体などの役員」（2.79点 前年度差▲0.33点）、「専業主婦（主夫）」（3.02点 前年度差▲0.19点）、「無職」（3.01点 前年度差▲0.16点）で満足度が低下している。

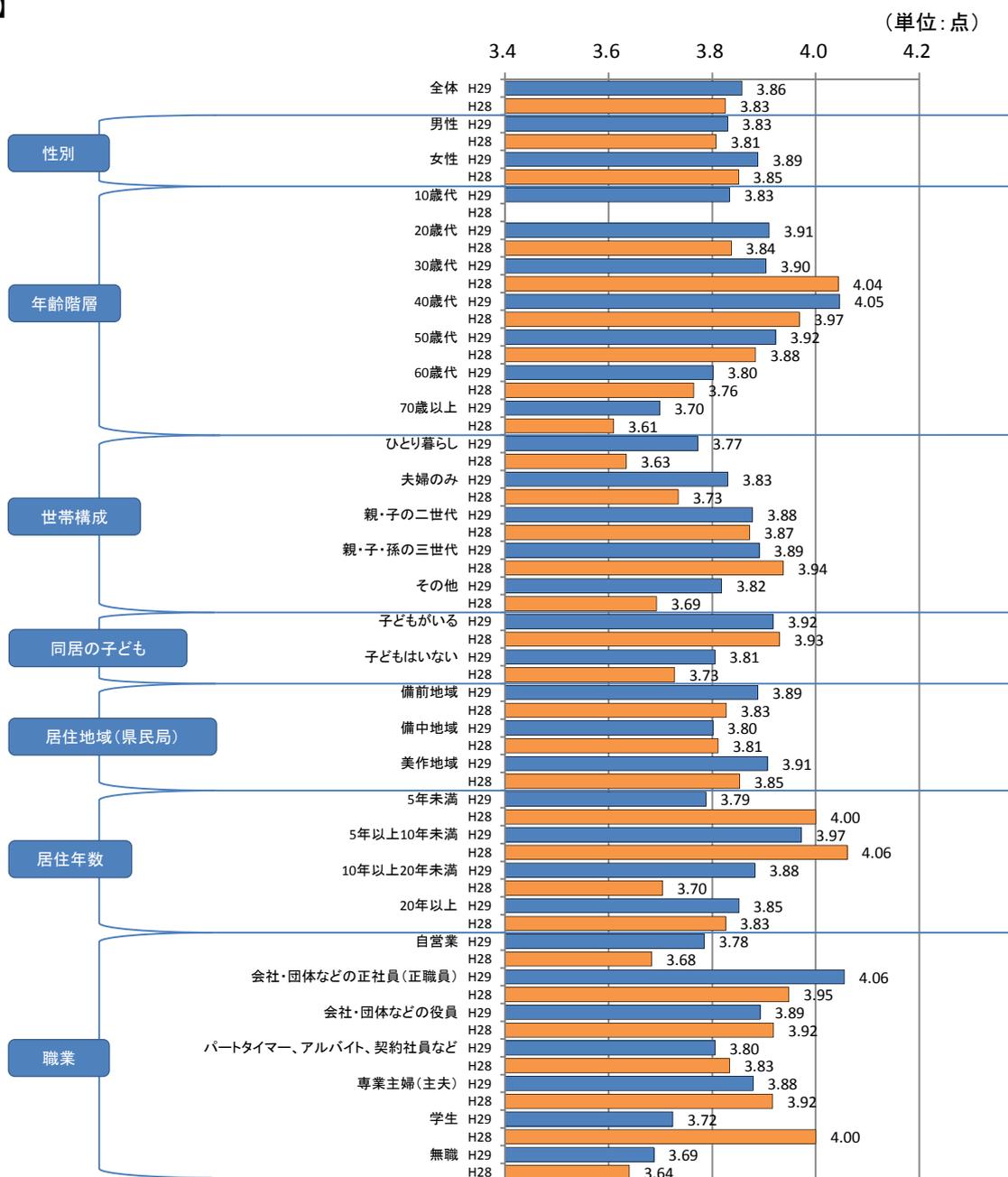
1. 子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.86点であり、20ある調査項目の中で7番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「子どもたちの学力を伸ばすための学習環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.83点)に比べ「女性」(3.89点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「40歳代」(4.05点)で重要度が高く、「70歳以上」(3.70点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.77点)で重要度が低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.92点)に比べ、「子どもはいない」(3.81点)で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.91点)で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.97点)で重要度が高く、「5年未満」(3.79点)で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員(正職員)」(4.06点)で重要度が高く、「学生」(3.72点)、「無職」(3.69点)で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.86点)は、前年度(3.83点)と比べて0.03点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』(「特に重視すべき内容である」、「重視すべき内容である」の合計。以下同じ。)(63.5%)、「どちらともいえない」(23.6%)、『重視しない』(「あまり重視する内容ではない」、「重視する内容ではない」の合計。以下同じ。)(3.0%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「30歳代」(3.90点 前年度差▲0.14点)で重要度がやや低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.77点 前年度差0.14点)で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(3.88点 前年度差0.18点)で重要度が上昇し、「5年未満」(3.79点 前年度差▲0.21点)で低下している。
- ・【職業別】「学生」(3.72点 前年度差▲0.28点)で重要度が低下している。

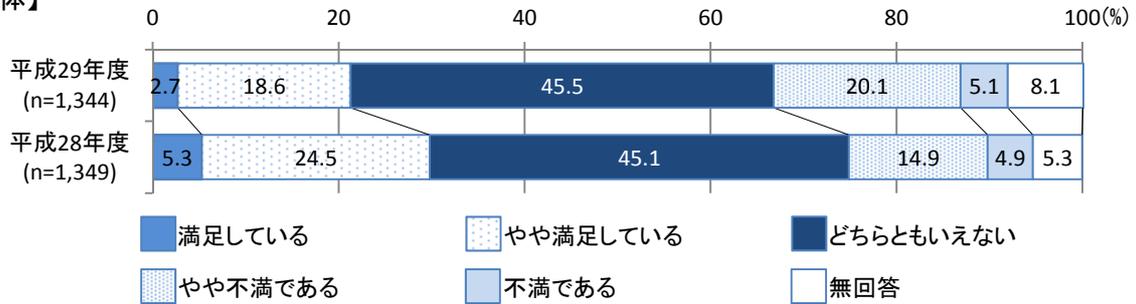
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている

<施策例>

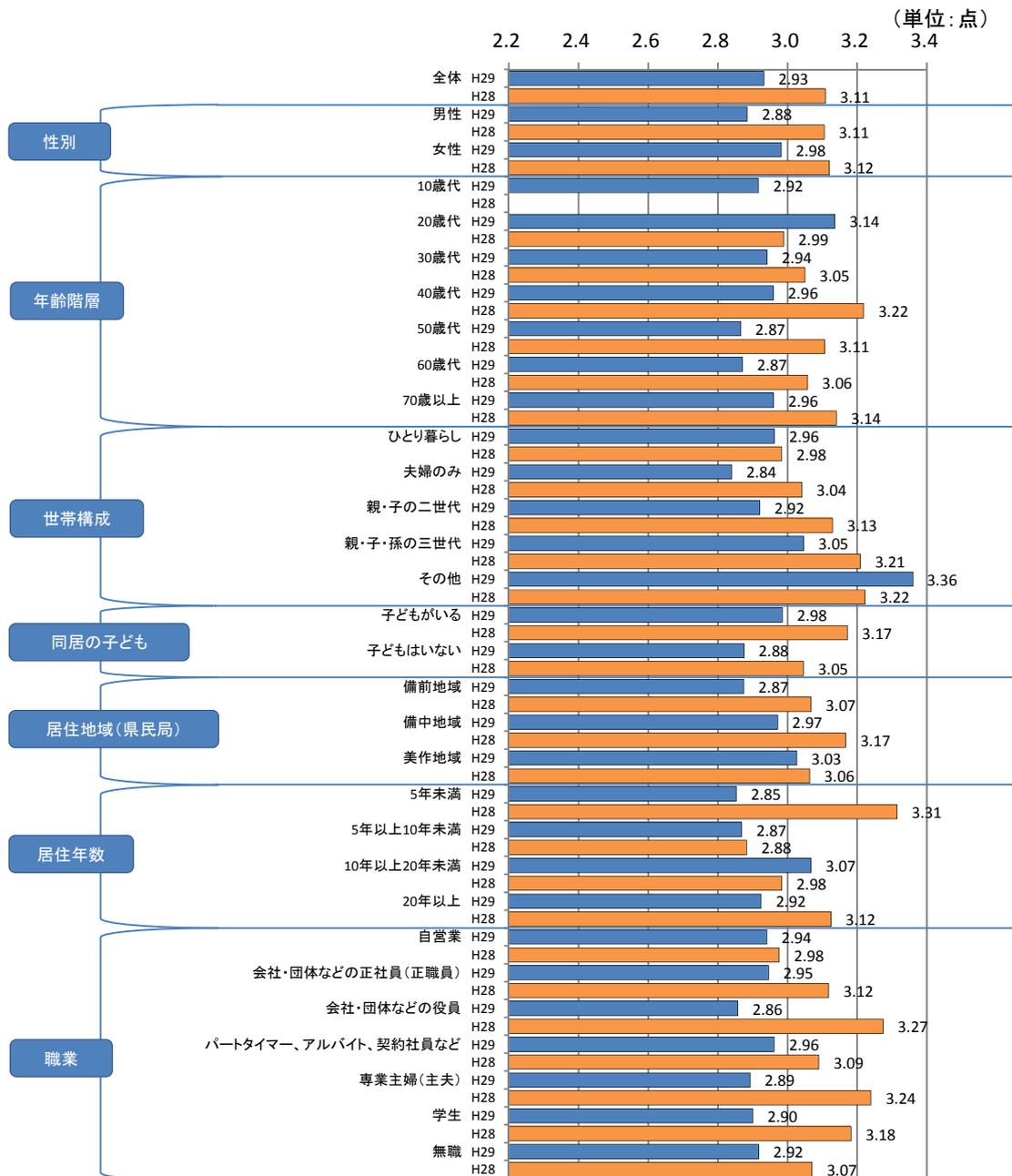
○道徳教育の充実 ○非行防止対策 ○社会に貢献する態度の育成

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.93点であり、20ある調査項目の中で10番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を下回っており、「青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.88点）に比べ「女性」（2.98点）で満足度が高くなっている
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.14点）で満足度が高く、「50歳代」、「60歳代」（ともに2.87点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」（3.05点）で満足度が高く、「夫婦のみ」（2.84点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.98点）に比べ「子どもはいない」（2.88点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.03点）で満足度が高く、「備前地域」（2.87点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.07点）で満足度が高く、「5年未満」（2.85点）で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（2.86点）で満足度が低くなっている。

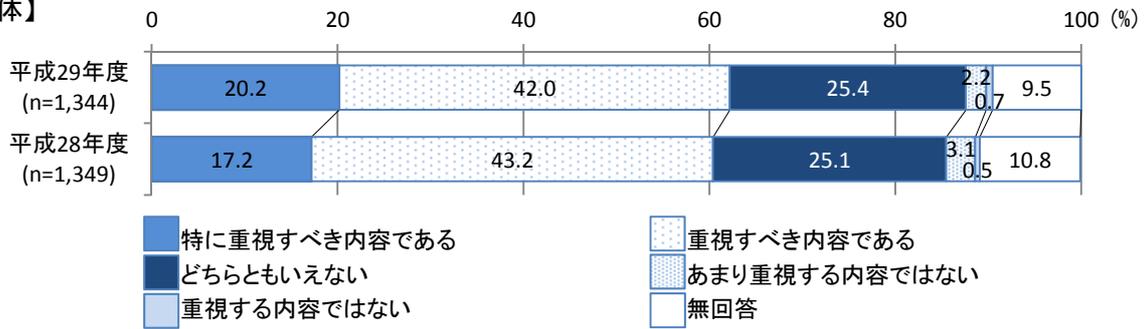
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（2.93点）は、前年度（3.11点）と比べて0.18点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（21.3%）と回答した割合は8.5ポイント低下し、『不満』（25.2%）と回答した割合は5.4ポイント上昇している。「どちらともいえない」（45.5%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（2.88点 前年度差▲0.23点）で満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.14点 前年度差0.15点）で満足度が上昇し、「40歳代」（2.96点 前年度差▲0.26点）、「50歳代」（2.87点 前年度差▲0.24点）、「60歳代」（2.87点 前年度差▲0.19点）、「70歳以上」（2.96点 前年度差▲0.18点）で低下している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（2.84点 前年度差▲0.20点）「親・子の二世代」（2.92点 前年度差▲0.21点）、「親・子・孫の三世代」（3.05点 前年度差▲0.16点）で満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.98点 前年度差▲0.19点）、「子どもはいない」（2.88点 前年度差▲0.17点）ともに満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（2.87点 前年度差▲0.20点）、「備中地域」（2.97点 前年度差▲0.20点）で満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（2.85点 前年度差▲0.46点）、「20年以上」（2.92点 前年度差▲0.20点）で満足度が低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員（正職員）」（2.95点 前年度差▲0.17点）、「会社・団体などの役員」（2.86点 前年度差▲0.41点）、「専業主婦（主夫）」（2.89点 前年度差▲0.35点）、「学生」（2.90点 前年度差▲0.28点）、「無職」（2.92点 前年度差▲0.15点）で満足度が低下している。

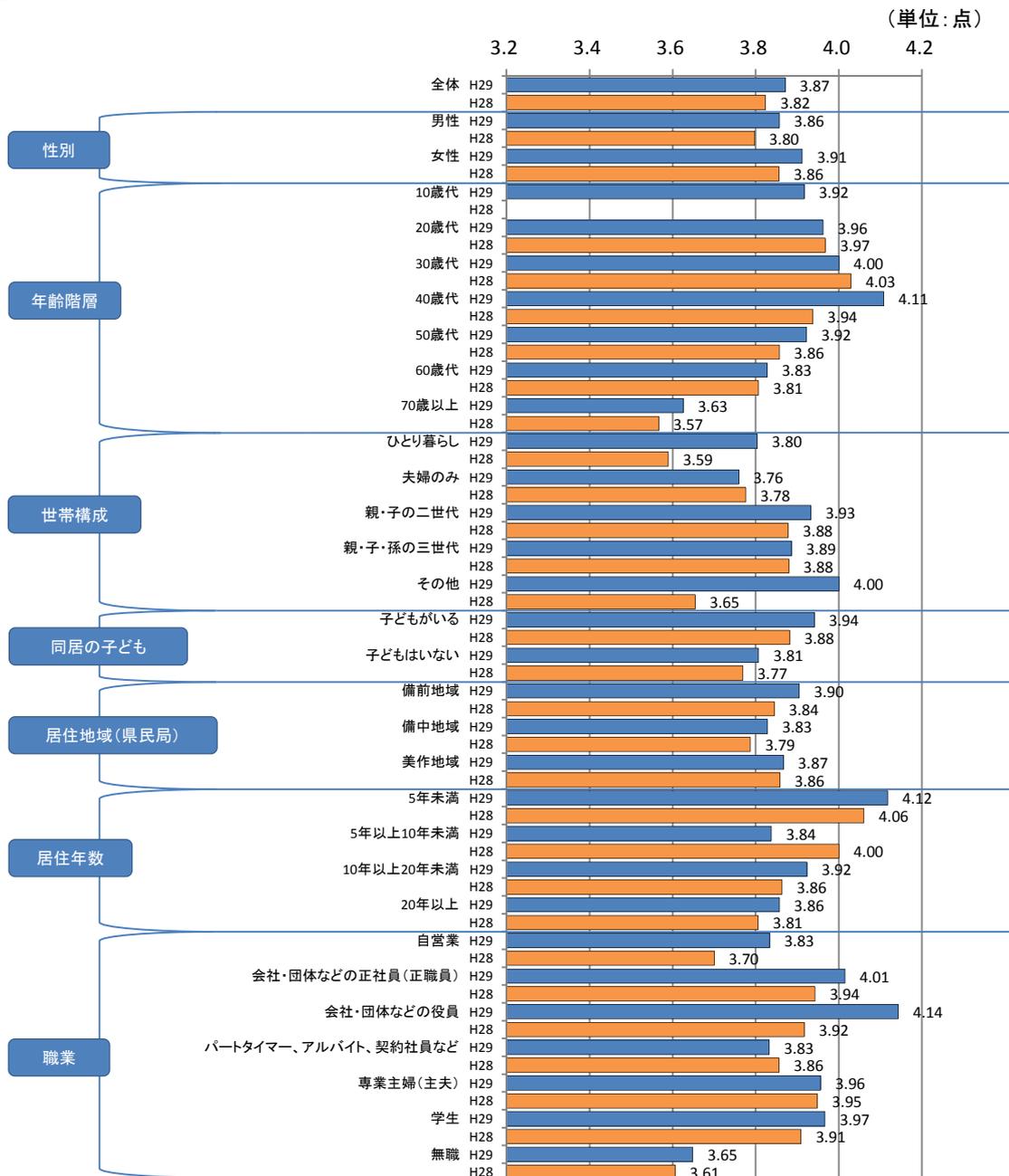
2. 青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.87点であり、20ある調査項目の中で6番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「青少年が健やかで伸び伸びと育つ環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.86点)に比べ、「女性」(3.91点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「40歳代」(4.11点)で重要度が高く、「70歳以上」(3.63点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」(3.93点)で重要度が高く、「夫婦のみ」(3.76点)で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.94点)に比べ、「子どもはいない」(3.81点)で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「備前地域」(3.90点)で重要度がやや高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」(4.12点)で重要度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員(正職員)」(4.01点)、「会社・団体などの役員」(4.14点)で重要度が高く、「無職」(3.65点)で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.87点)は、前年度(3.82点)と比べて0.05点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』(62.2%)、「どちらともいえない」(25.4%)、『重視しない』(2.9%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「40歳代」(4.11点 前年度差0.17点)で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.80点 前年度差0.21点)で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.84点 前年度差▲0.16点)で重要度が低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(4.14点 前年度差0.22点)で重要度が上昇している。

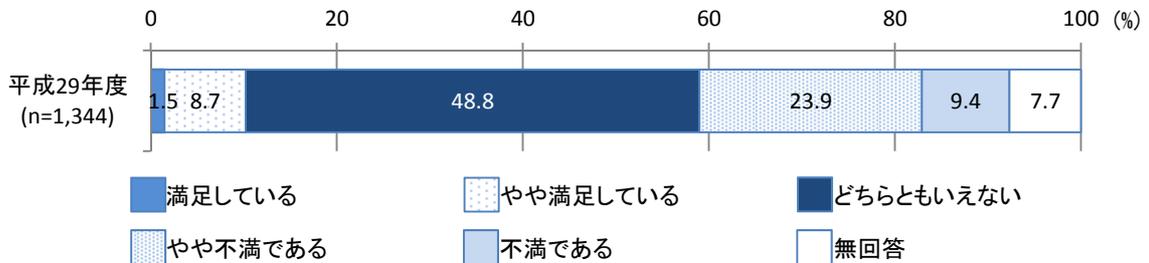
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている

<施策例>

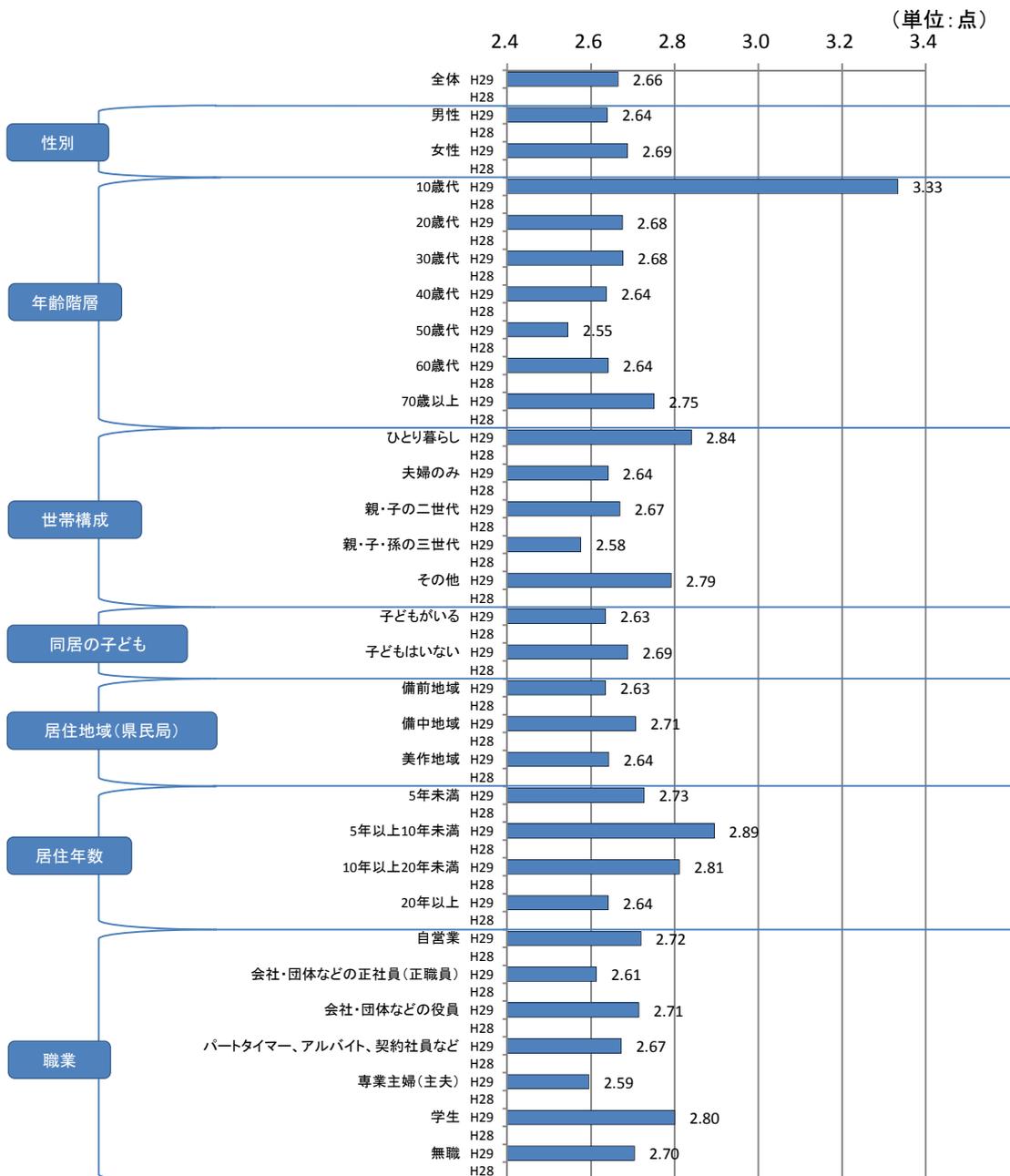
○子どもたちの英語力の向上 ○国際的に活躍できる人材の育成 ○グローバル化に対応した教員の育成と確保

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.66点であり、20ある調査項目の中で3番目に低くなっている。

<全体>

全体の満足度は、『満足』(10.2%)、「どちらともいえない」(48.8%)、『不満』(33.3%)となっている。

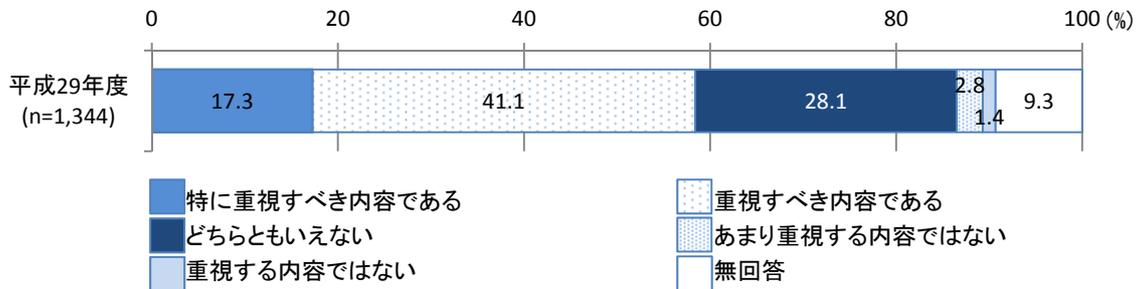
<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を下回っており、「これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている」に関して、一般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(2.64点)に比べ、「女性」(2.69点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」(2.75点)で満足度が高く、「50歳代」(2.55点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(2.84点)で満足度が高く、「親・子・孫の三世代」(2.58点)で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.63点)に比べ、「子どもはいない」(2.69点)で満足度が高くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「備中地域」(2.71点)で満足度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(2.89点)で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「学生」(2.80点)で満足度が高く、「専業主婦(主夫)」(2.59点)で低くなっている。

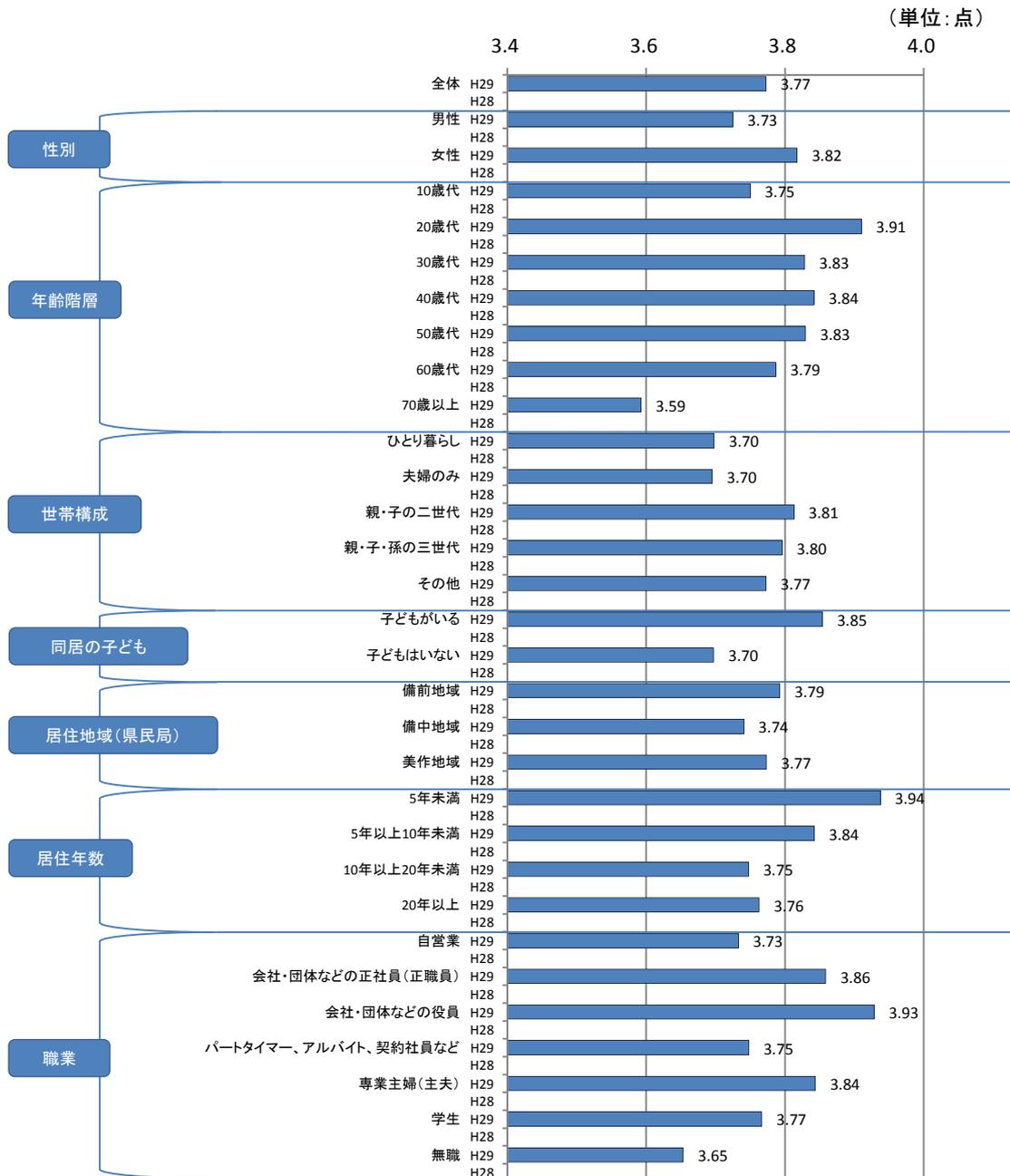
3. これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.77点であり、20ある調査項目の中で10番目に高くなっている。

<全体>

全体の重要度は、『重視すべき』(58.4%)、「どちらともいえない」(28.1%)、『重視しない』(4.2%)となっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を上回っており、「これからのグローバル社会で活躍できる、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神を備えた人材を育成する環境になっている」に関して、一般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.73点)に比べ、「女性」(3.82点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.91点)で重要度が高く、「70歳以上」(3.59点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」(3.81点)、「親・子・孫の三世帯」(3.80点)で重要度がやや高く、「ひとり暮らし」、「夫婦のみ」(ともに3.70点)で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.85点)に比べ、「子どもはいない」(3.70点)で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「備前地域」(3.79点)で重要度がやや高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」(3.94点)で重要度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(3.93点)で重要度が高く、「無職」(3.65点)で低くなっている。

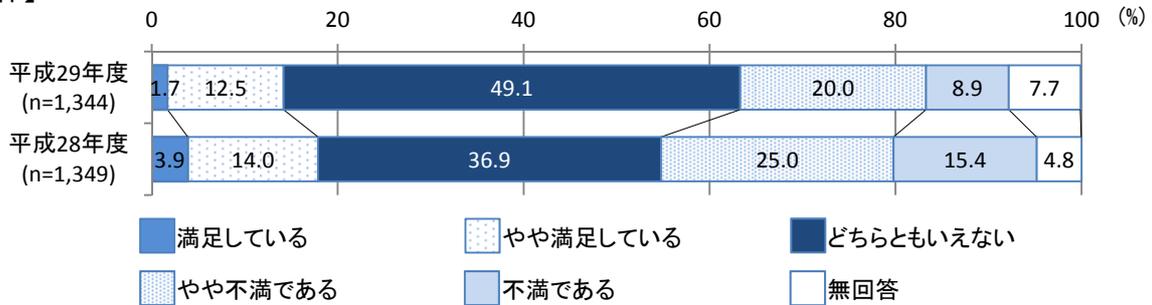
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている

<施策例>

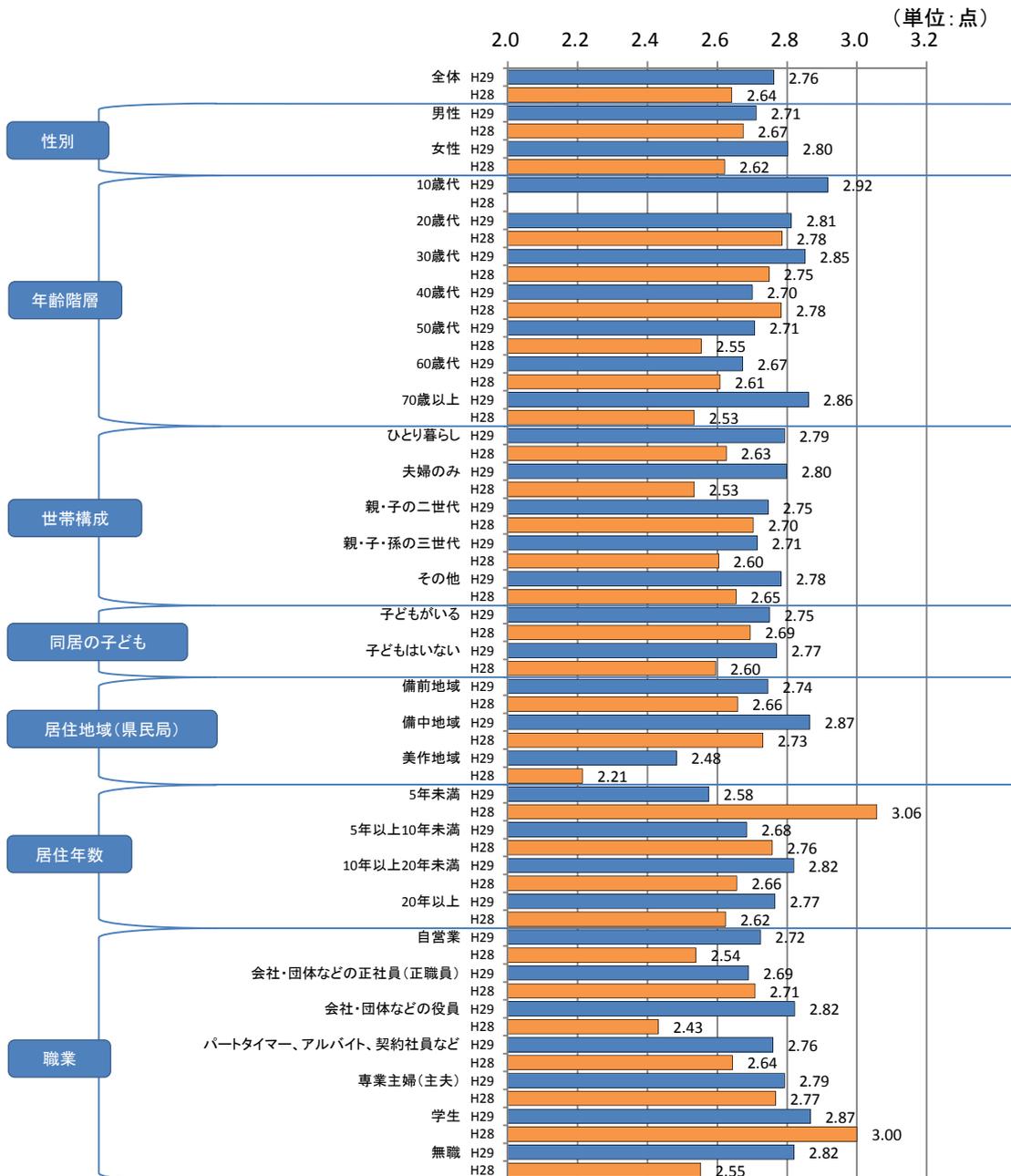
○戦略的誘致施策の推進 ○企業ニーズに応じた立地環境の整備 ○国内の拠点工場化に向けた投資の促進

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.76点であり、20ある調査項目の中で5番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を下回っており、「新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(2.71点)に比べ、「女性」(2.80点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」(2.85点)、「70歳以上」(2.86点)で満足度が高く、「60歳代」(2.67点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」(2.80点)で満足度がやや高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.75点)と「子どもはいない」(2.77点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「備中地域」(2.87点)で満足度が高く、「美作地域」(2.48点)で低くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(2.82点)で満足度が高く、「5年未満」(2.58点)で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」(2.87点)で満足度が高く、「会社・団体などの正社員(正職員)」(2.69点)で低くなっている。

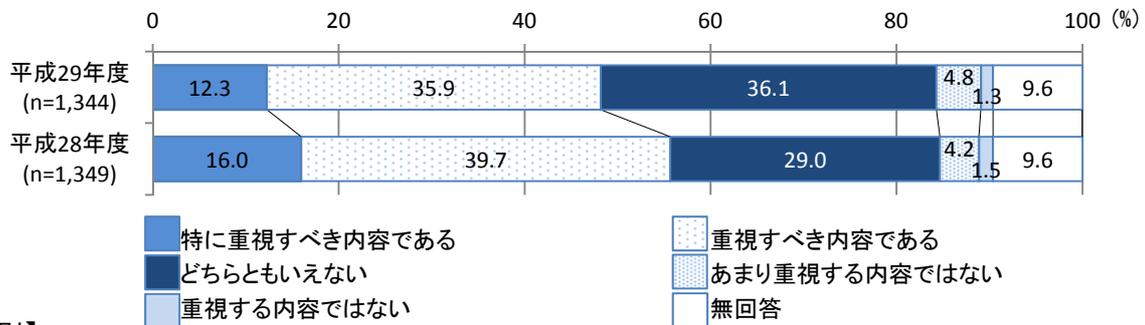
<前年度との比較>

- ・全体の平均点(2.76点)は、前年度(2.64点)と比べて0.12点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』(14.2%)では大きな差は見られない。「どちらともいえない」(49.1%)と回答した割合は12.2ポイント上昇し、『不満』(28.9%)と回答した割合は11.5ポイント低下している。
- ・【性別】「女性」(2.80点 前年度差0.18点)で満足度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「50歳代」(2.71点 前年度差0.16点)、「70歳以上」(2.86点 前年度差0.33点)で満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(2.79点 前年度差0.16点)、「夫婦のみ」(2.80点 前年度差0.27点)で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもはいない」(2.77点 前年度差0.17点)で満足度が上昇している。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(2.48点 前年度差0.27点)で満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(2.82点 前年度差0.16点)、「20年以上」(2.77点 前年度差0.15点)で満足度が上昇し、「5年未満」(2.58点 前年度差▲0.48点)で低下している。
- ・【職業別】「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(2.72点 前年度差0.18点)、「会社・団体などの役員」(2.82点 前年度差0.39点)、「無職」(2.82点 前年度差0.27点)で満足度が上昇している。

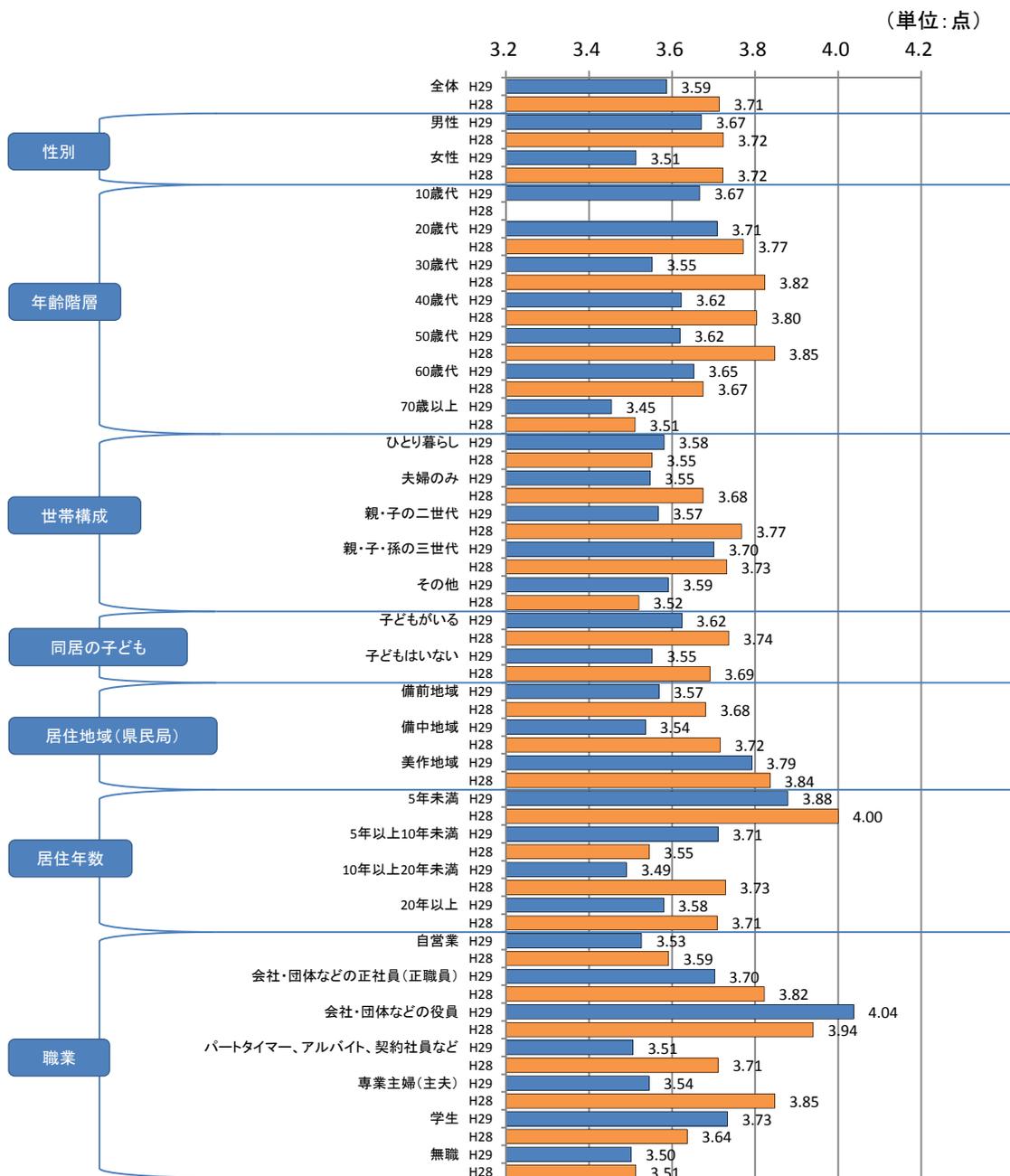
4. 新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.59点であり、20ある調査項目の中で8番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】半数以上の属性で3.60点を下回っており、「新たな企業の立地や設備投資が活発に行われている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.67点)に比べ、「女性」(3.51点)で重要度が低くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.71点)で重要度が高く、「70歳以上」(3.45点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世帯」(3.70点)で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.62点)に比べ、「子どもはいない」(3.55点)で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.79点)で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」(3.88点)で重要度が高く、「10年以上20年未満」(3.49点)で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(4.04点)で重要度が高くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.59点)は、前年度(3.71点)と比べて0.12点の低下となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』(48.2%)と回答した割合は7.5ポイント低下し、「どちらともいえない」(36.1%)と回答した割合は7.1ポイント上昇している。『重視しない』(6.1%)では大きな差は見られない。
- ・【性別】「女性」(3.51点 前年度差▲0.21点)で重要度が低下している。
- ・【年齢階層別】「30歳代」(3.55点 前年度差▲0.27点)、「40歳代」(3.62点 前年度差▲0.18点)、「50歳代」(3.62点 前年度差▲0.23点)で重要度が低下している。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」(3.57点 前年度差▲0.20点)で重要度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.62点 前年度差▲0.12点)、「子どもはいない」(3.55点 前年度差▲0.14点)で重要度がやや低下している。
- ・【居住地域(県民局)別】「備中地域」(3.54点 前年度差▲0.18点)で重要度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.71点 前年度差0.16点)で重要度が上昇し、「10年以上20年未満」(3.49点 前年度差▲0.24点)で重要度が低下している。
- ・【職業別】「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」(3.51点 前年度差▲0.20点)、「専業主婦(主夫)」(3.54点 前年度差▲0.31点)で重要度が低下している。

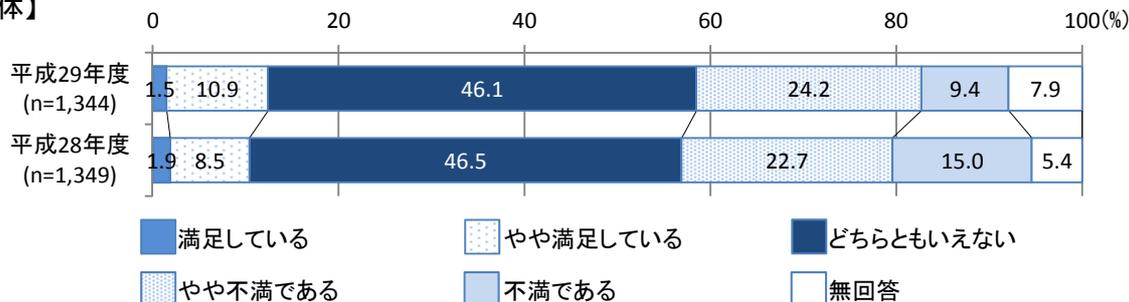
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている

<施策例>

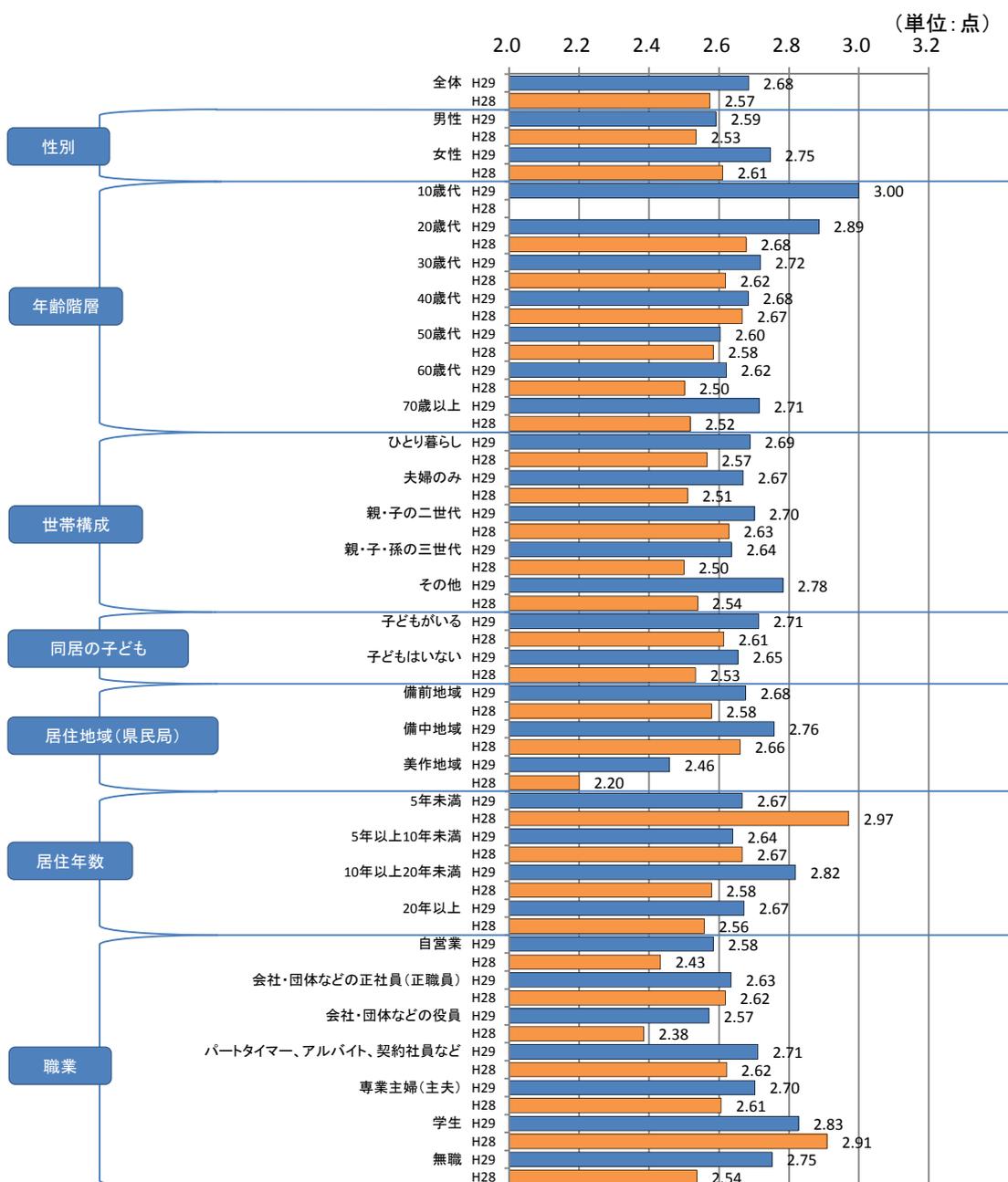
○地域を担う元気な企業の成長・発展支援 ○地域産業の活性化 ○産学金官連携による技術革新等への支援

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.68点であり、20ある調査項目の中で4番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を下回っており、「地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(2.59点)に比べ、「女性」(2.75点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(2.89点)で満足度が高く、「50歳代」(2.60点)、「60歳代」(2.62点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」(2.70点)で満足度が高く、「親・子・孫の三世帯」(2.64点)でやや低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.71点)に比べ、「子どもはいない」(2.65点)で満足度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「備中地域」(2.76点)で満足度が高く、「美作地域」(2.46点)で低くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(2.82点)で満足度が高く、「5年以上10年未満」(2.64点)でやや低くなっている。
- ・【職業別】「学生」(2.83点)で満足度が高く、「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(2.58点)、「会社・団体などの役員」(2.57点)で低くなっている。

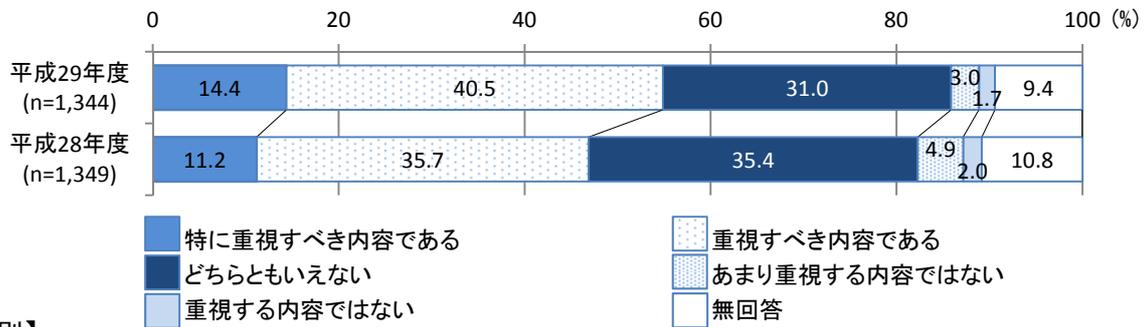
<前年度との比較>

- ・全体の平均点(2.68点)は、前年度(2.57点)と比べて0.11点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』(12.4%)「どちらともいえない」(46.1%)、『不満』(33.6%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「女性」(2.75点 前年度差0.14点)で満足度がやや上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(2.89点 前年度差0.21点)、「70歳以上」(2.71点 前年度差0.19点)で満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」(2.67点 前年度差0.16点)で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.71点 前年度差0.10点)、「子どもはいない」(2.65点 前年度差0.12点)ともに満足度がやや上昇している。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(2.46点 前年度差0.26点)で満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(2.82点 前年度差0.24点)で満足度が上昇し、「5年未満」(2.67点 前年度差▲0.30点)で低下している。
- ・【職業別】「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(2.58点 前年度差0.15点)、「会社・団体などの役員」(2.57点 前年度差0.19点)、「無職」(2.75点 前年度差0.21点)で満足度が上昇している。

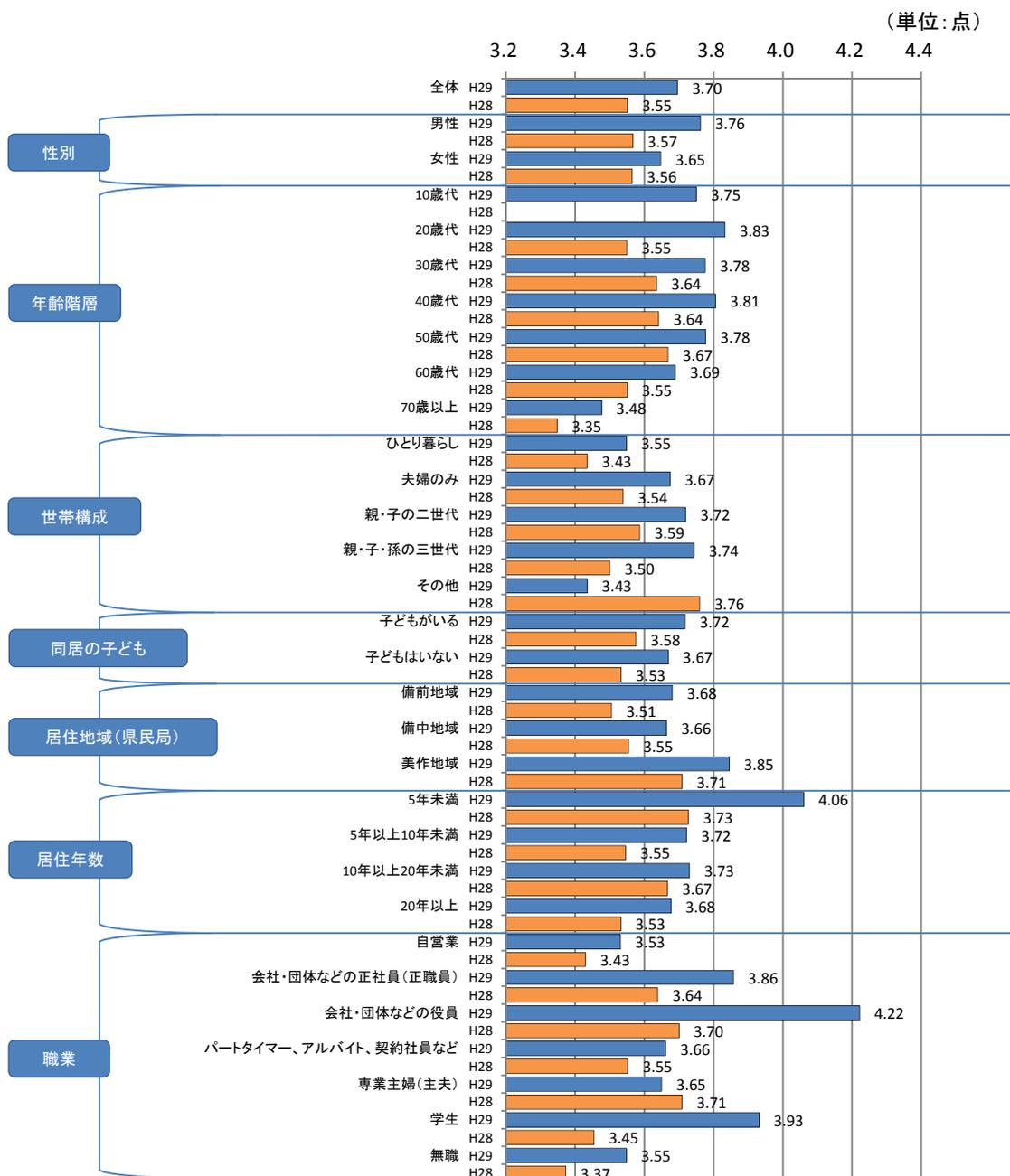
5. 地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.70点であり、20ある調査項目の中で10番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を上回っており、「地域経済の発展や雇用の受け皿として重要な役割を担う競争力や収益力のある地元企業が育っている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.76点）に比べ、「女性」（3.65点）で重要度が低くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.83点）、「40歳代」（3.81点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.48点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」（3.74点）で重要度がやや高く、「ひとり暮らし」（3.55点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.72点）に比べ、「子どもはいない」（3.67点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.85点）で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.06点）で重要度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（4.22点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.53点）、「無職」（3.55点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.70点）は、前年度（3.55点）と比べて0.15点の上昇となっている。前年度と比べて、『重視すべき』（54.9%）と回答した割合は8.0ポイント上昇している。「どちらともいえない」（31.0%）、『重視しない』（4.7%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.76点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.83点 前年度差0.28点）、「40歳代」（3.81点 前年度差0.17点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」（3.74点 前年度差0.24点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.72点 前年度差0.14点）、「子どもはいない」（3.67点 前年度差0.14点）でともに重要度がやや上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.68点 前年度差0.17点）で重要度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.06点 前年度差0.33点）、「5年以上10年未満」（3.72点 前年度差0.17点）、「20年以上」（3.68点 前年度差0.15点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員（正職員）」（3.86点 前年度差0.22点）、「会社・団体などの役員」（4.22点 前年度差0.52点）、「学生」（3.93点 前年度差0.48点）、「無職」（3.55点 前年度差0.18点）で重要度が上昇している。

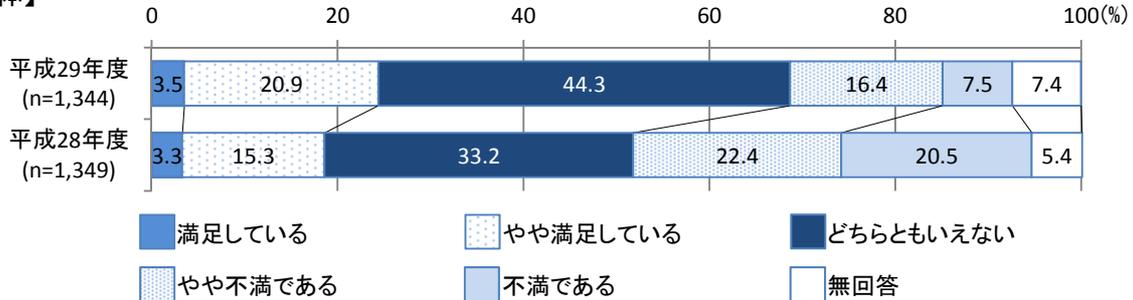
6. 国内や海外からたくさんの観光客が訪れている

<施策例>

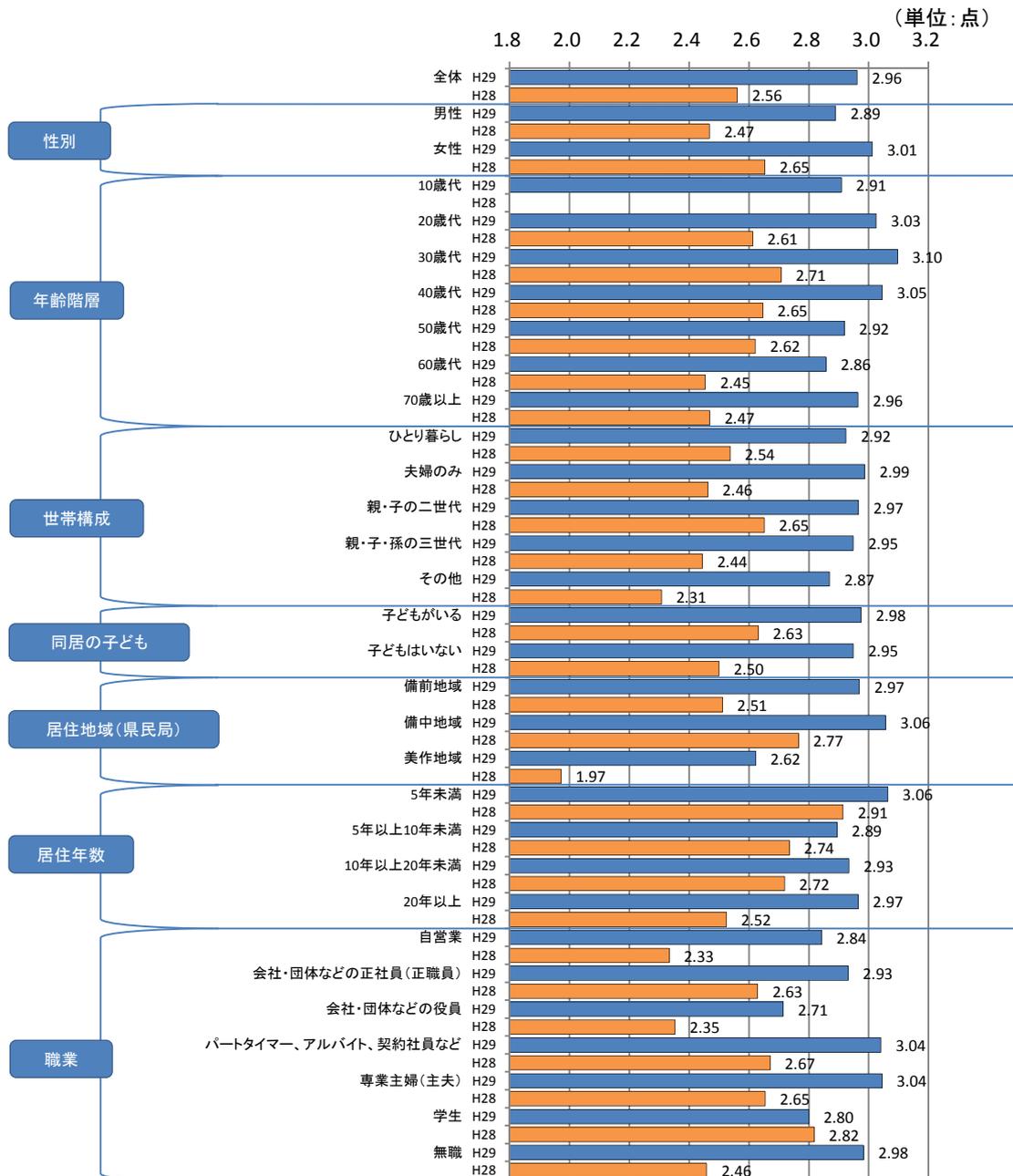
○観光消費の拡大につながる取組の促進 ○戦略的な観光プロモーション ○さらなるインバウンドの拡大と空路拡充

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.96点であり、20ある調査項目の中で10番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を下回っており、「国内や海外からたくさんの観光客が訪れている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.89点）に比べ、「女性」（3.01点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（3.10点）で満足度が高く、「60歳代」（2.86点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で満足度に大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.98点）、「子どもはいない」（2.95点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.06点）で満足度が高く、「美作地域」（2.62点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.06点）で満足度が高く、「5年以上10年未満」（2.89点）で低くなっている。
- ・【職業別】「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」、「専業主婦（主夫）」（ともに3.04点）で満足度が高く、「会社・団体などの役員」（2.71点）で低くなっている。

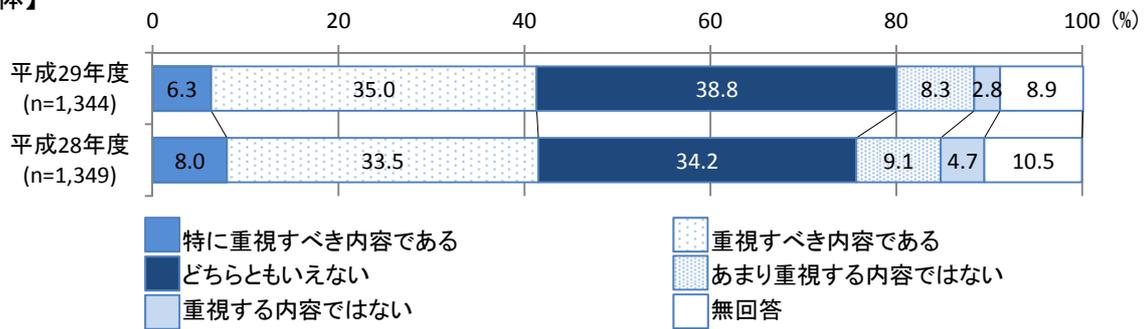
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（2.96点）は、前年度（2.56点）と比べて0.40点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』（24.4%）と回答した割合は5.8ポイント、「どちらともいえない」（44.3%）と回答した割合は11.1ポイント上昇し、『不満』（23.9%）と回答した割合は19.0ポイント低下している。
- ・【性別】「男性」（2.89点 前年度差0.42点）、「女性」（3.01点 前年度差0.36点）でともに満足度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.03点 前年度差0.42点）、「30歳代」（3.10点 前年度差0.39点）、「40歳代」（3.05点 前年度差0.40点）、「50歳代」（2.92点 前年度差0.30点）、「60歳代」（2.86点 前年度差0.41点）、「70歳以上」（2.96点 前年度差0.49点）のすべてで満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（2.92点 前年度差0.38点）、「夫婦のみ」（2.99点 前年度差0.53点）、「親・子の二世帯」（2.97点 前年度差0.32点）、「親・子・孫の三世帯」（2.95点 前年度差0.51点）のすべてで満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.98点 前年度差0.35点）、「子どもはいない」（2.95点 前年度差0.45点）でともに満足度が上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（2.97点 前年度差0.46点）、「備中地域」（3.06点 前年度差0.29点）、「美作地域」（2.62点 前年度差0.65点）のすべてで満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.06点 前年度差0.15点）、「5年以上10年未満」（2.89点 前年度差0.15点）、「10年以上20年未満」（2.93点 前年度差0.21点）、「20年以上」（2.97点 前年度差0.45点）のすべてで満足度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（2.84点 前年度差0.51点）、「会社・団体などの正社員（正職員）」（2.93点 前年度差0.30点）、「会社・団体などの役員」（2.71点 前年度差0.36点）、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（3.04点 前年度差0.37点）、「専業主婦（主夫）」（3.04点 前年度差0.39点）、「無職」（2.98点 前年度差0.52点）で満足度が上昇している。

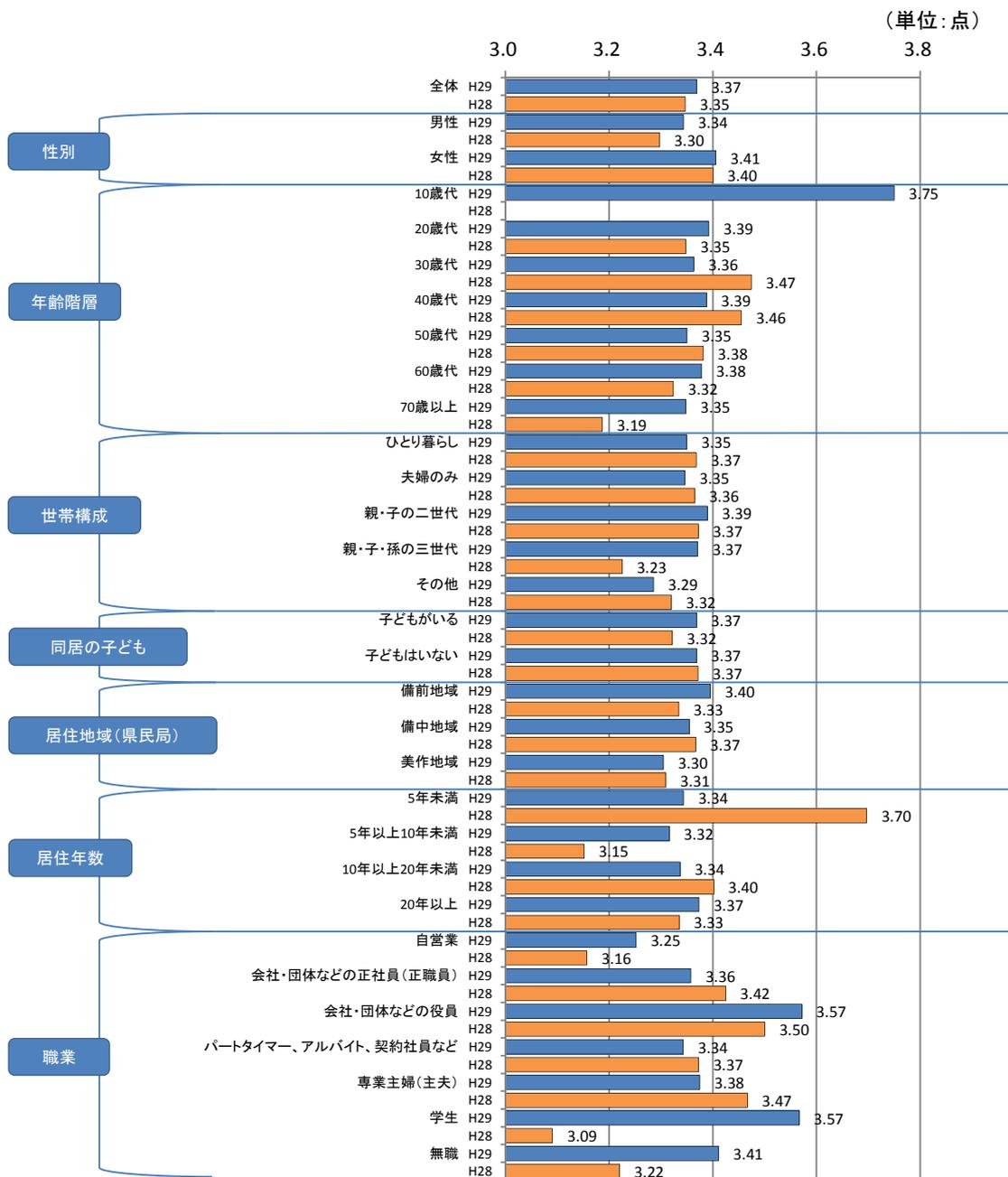
6. 国内や海外からたくさんの観光客が訪れている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.37点であり、20ある調査項目の中で3番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を下回っており、「国内や海外からたくさんの観光客が訪れている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】男性(3.34点)に比べ、女性(3.41点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】すべての年齢階層で重要度に大きな差は見られない。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で重要度に大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」(ともに3.37点)で重要度に差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「備前地域」(3.40点)で重要度がやや高く、「美作地域」(3.30点)で低くなっている。
- ・【居住年数別】すべての居住年数で重要度に大きな差は見られない。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」、「学生」(ともに3.57点)で重要度が高く、「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(3.25点)で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.37点)は、前年度(3.35点)と比べて0.02点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』(41.3%)、「どちらともいえない」(38.8%)、『重視しない』(11.1%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」(3.35点 前年度差0.16点)で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」(3.37点 前年度差0.14点)で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.32点 前年度差0.17点)で重要度が上昇し、「5年未満」(3.34点 前年度差▲0.36点)で低下している。
- ・【職業別】「学生」(3.57点 前年度差▲0.48点)、「無職」(3.41点 前年度差▲0.19点)で重要度が低下している。

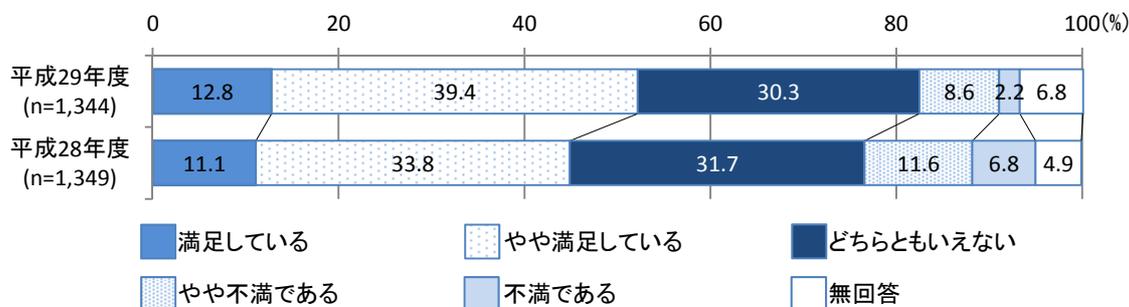
7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている

<施策例>

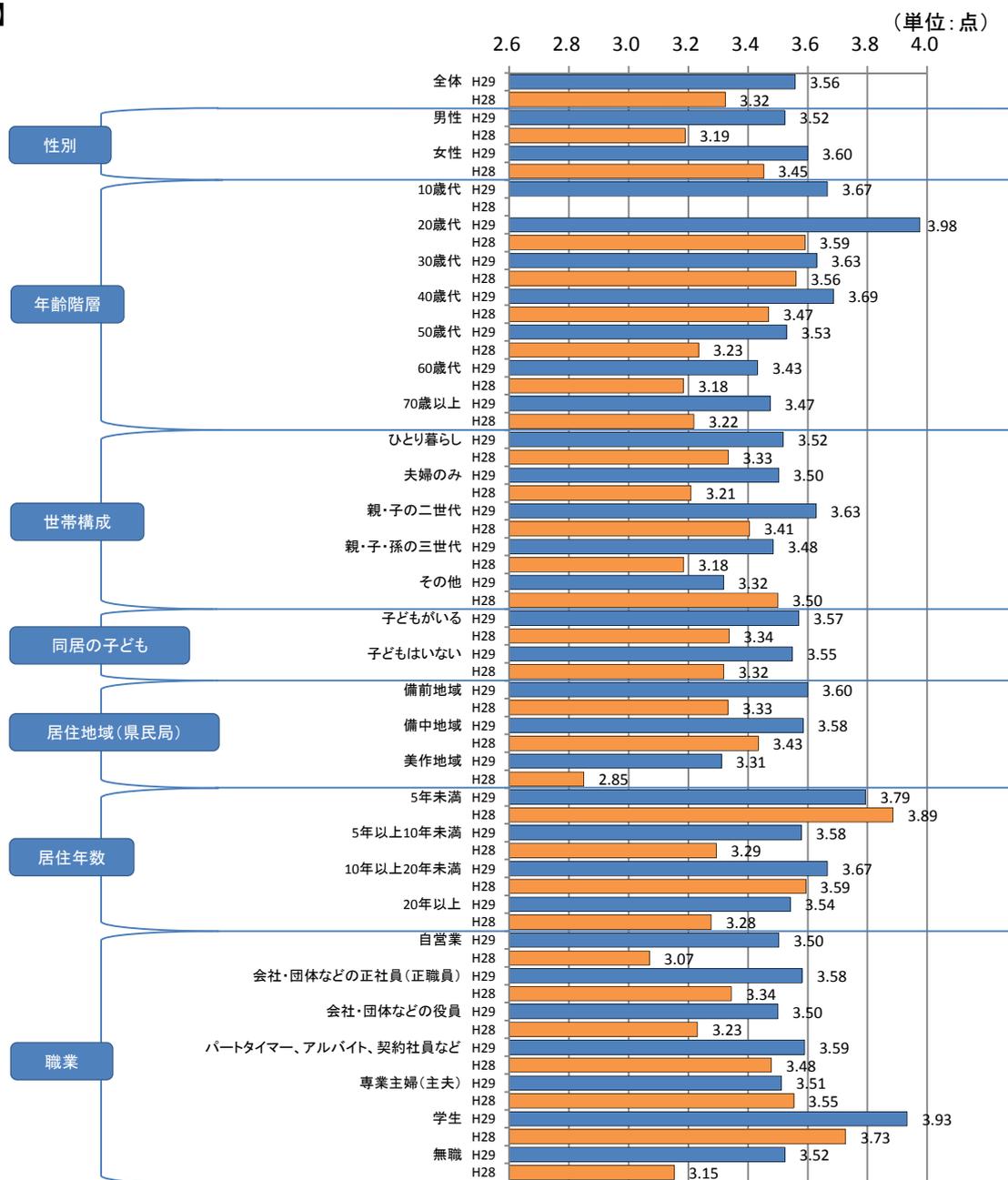
○ニーズに対応した農林水産物の生産振興 ○力強い担い手の育成 ○県産品のブランド化と国内外への販路拡大

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.56点であり、20ある調査項目の中で最も高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を上回っており、「白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.52点)に比べ、「女性」(3.60点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.98点)で満足度が高く、「60歳代」(3.43点)、「70歳以上」(3.47点)で低くなっている。
- ・【世帯構成】「親・子の二世帯」(3.63点)で満足度が高く、「親・子・孫の三世帯」(3.48点)で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.57点)、「子どもはいない」(3.55点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.31点)で満足度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」(3.79点)で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「学生」(3.93点)で満足度が高く、「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」、「会社・団体などの役員」(ともに3.50点)、「専業主婦(主夫)」(3.51点)で低くなっている。

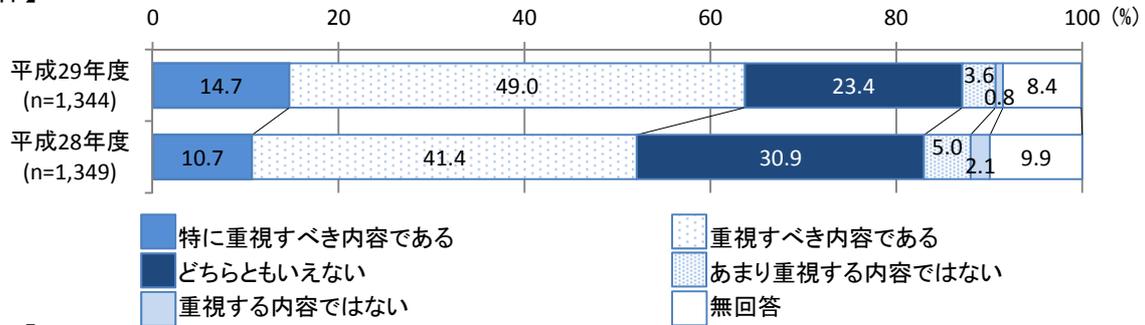
<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.56点)は、前年度(3.32点)と比べて0.24点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』(52.2%)と回答した割合は7.3ポイント上昇し、『不満』(10.8%)と回答した割合は7.6ポイント低下している。「どちらともいえない」(30.3%)では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」(3.52点 前年度差0.33点)、「女性」(3.60点 前年度差0.15点)でともに満足度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.98点 前年度差0.39点)、「40歳代」(3.69点 前年度差0.22点)、「50歳代」(3.53点 前年度差0.30点)、「60歳代」(3.43点 前年度差0.25点)、「70歳以上」(3.47点 前年度差0.25点)で満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.52点 前年度差0.19点)、「夫婦のみ」(3.50点 前年度差0.29点)、「親・子の二世帯」(3.63点 前年度差0.22点)、「親・子・孫の三世帯」(3.48点 前年度差0.30点)で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.57点 前年度差0.23点)、「子どもはいない」(3.55点 前年度差0.23点)でともに満足度が上昇している。
- ・【居住地域(県民局)別】「備前地域」(3.60点 前年度差0.27点)、「備中地域」(3.58点 前年度差0.15点)、「美作地域」(3.31点 前年度差0.46点)のすべてで満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.58点 前年度差0.29点)、「20年以上」(3.54点 前年度差0.26点)で満足度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(3.50点 前年度差0.43点)、「会社・団体などの正社員(正職員)」(3.58点 前年度差0.24点)、「会社・団体などの役員」(3.50点 前年度差0.27点)、「学生」(3.93点 前年度差0.20点)、「無職」(3.52点 前年度差0.37点)で満足度が上昇している。

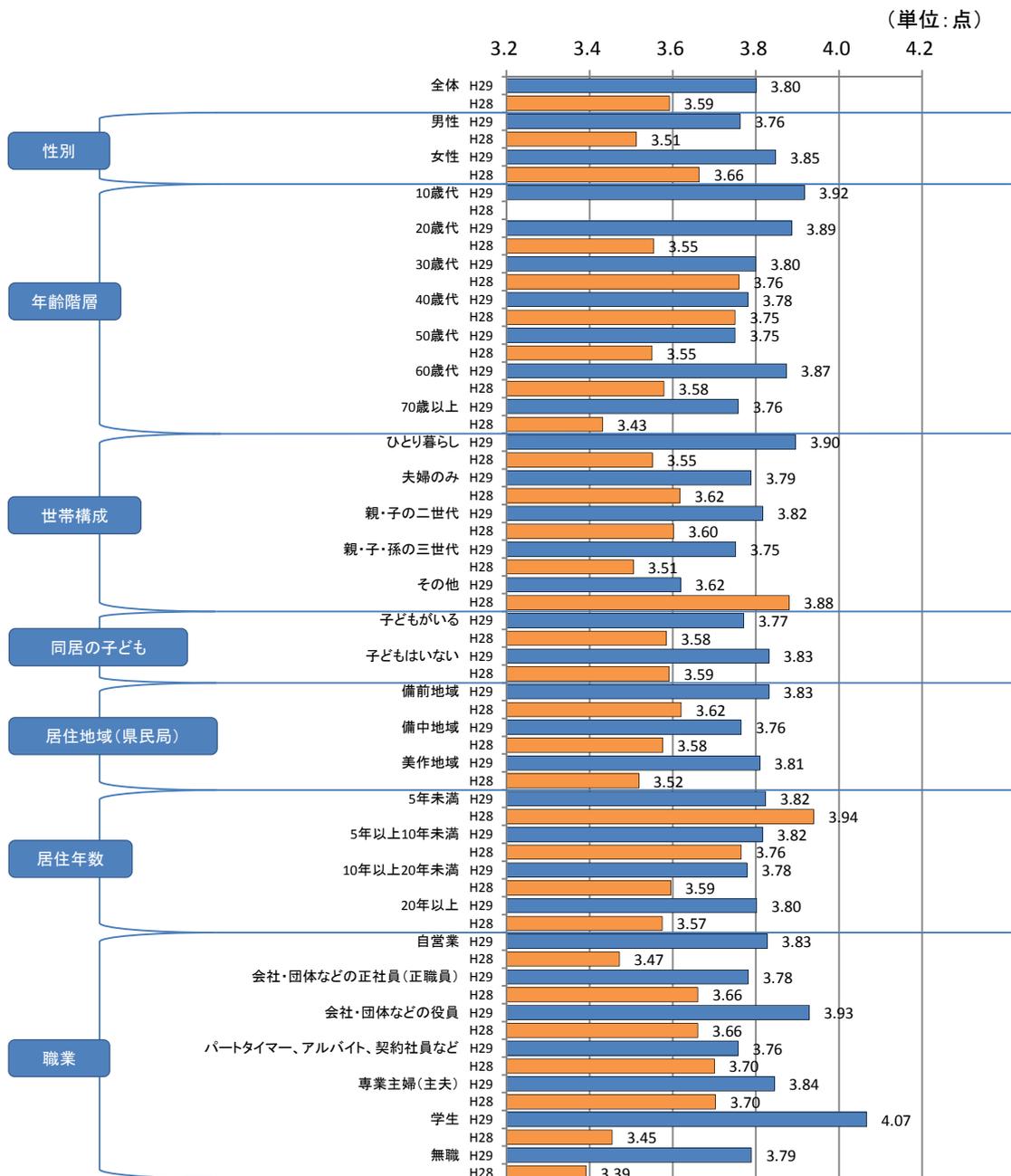
7. 白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.80点であり、20ある調査項目の中で8番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「白桃やぶどうなどの果物、米や野菜、牛肉、海産物、木材など、品質の高い農林水産物の生産が盛んに行われている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.76点）に比べ、「女性」（3.85点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.89点）で重要度が高くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.90点）で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.77点）に比べ、「子どもはいない」（3.83点）で重要度が高くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.83点）で重要度がやや高くなっている。
- ・【居住年数別】すべての居住年数で重要度に大きな差は見られない。
- ・【職業別】「学生」（4.07点）で重要度が高くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.80点）は、前年度（3.59点）と比べて0.21点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（63.7%）と回答した割合は11.6ポイント上昇し、「どちらともいえない」（23.4%）と回答した割合は7.5ポイント低下している。『重視しない』（4.4%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.76点 前年度差0.25点）、「女性」（3.85点 前年度差0.19点）でともに重要度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.89点 前年度差0.34点）、「50歳代」（3.75点 前年度差0.20点）、「60歳代」（3.87点 前年度差0.29点）、「70歳以上」（3.76点 前年度差0.33点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.90点 前年度差0.35点）、「夫婦のみ」（3.79点 前年度差0.17点）、「親・子の二世帯」（3.82点 前年度差0.22点）、「親・子・孫の三世帯」（3.75点 前年度差0.24点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.77点 前年度差0.19点）、「子どもはいない」（3.83点 前年度差0.24点）でともに重要度が上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.83点 前年度差0.21点）、「備中地域」（3.76点 前年度差0.18点）、「美作地域」（3.81点 前年度差0.29点）のすべてで重要度が上昇している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.78点 前年度差0.19点）、「20年以上」（3.80点 前年度差0.23点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.83点 前年度差0.36点）、「会社・団体などの役員」（3.93点 前年度差0.27点）、「学生」（4.07点 前年度差0.62点）、「無職」（3.79点 前年度差0.40点）で重要度が上昇している。

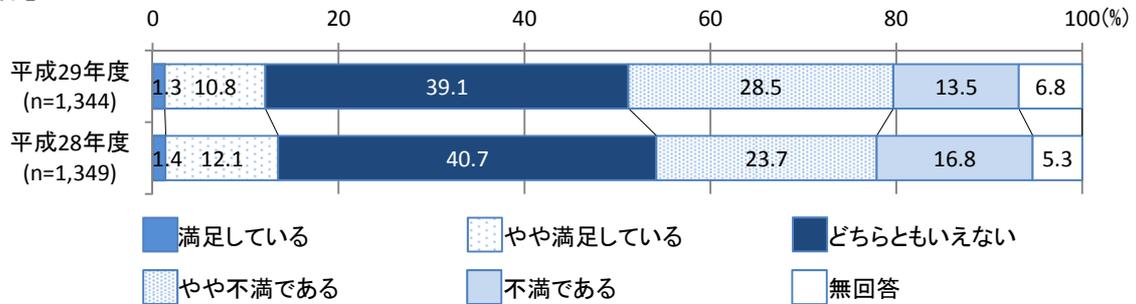
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる

<施策例>

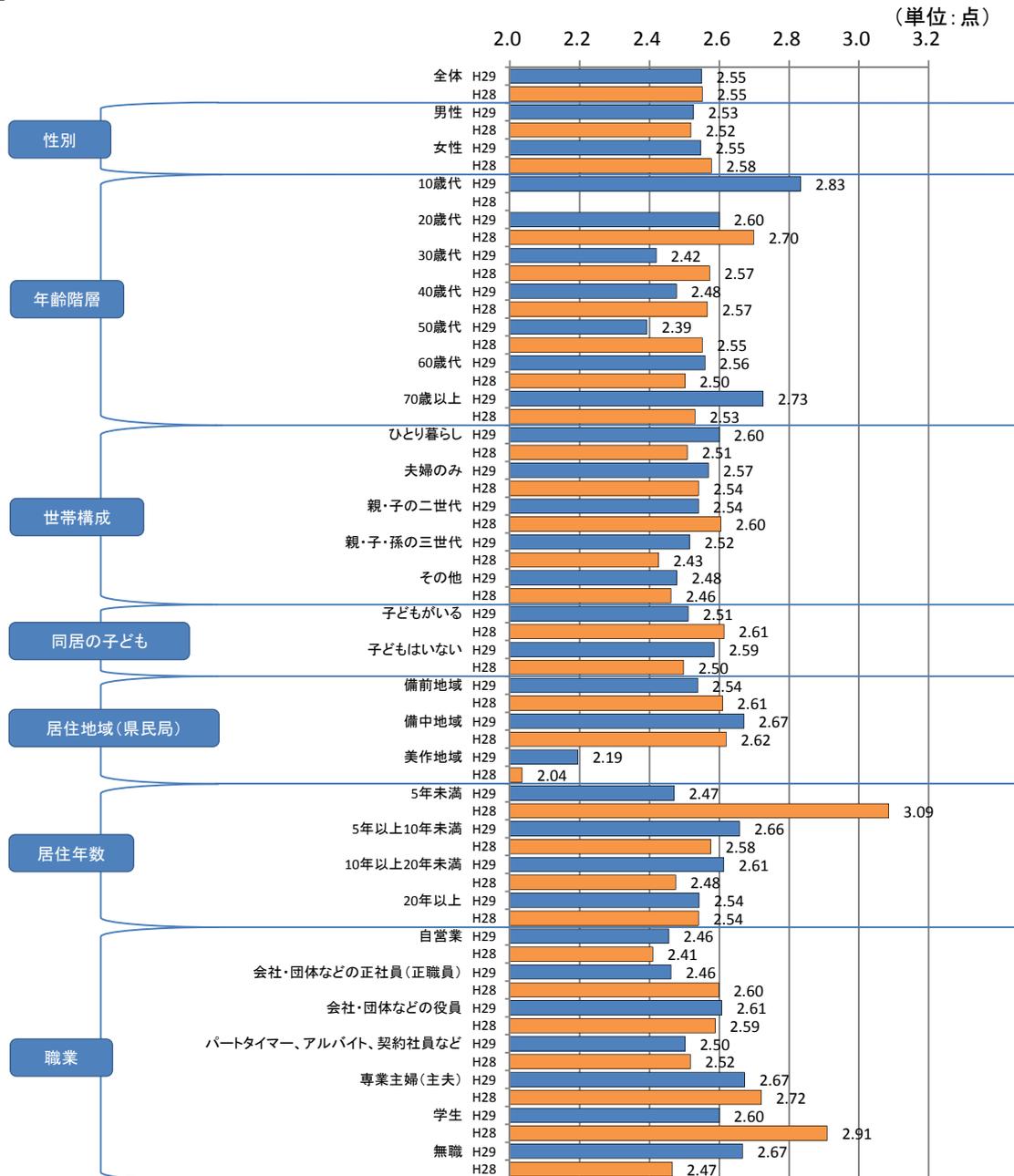
○若者等の就職支援 ○多様な働き方の推進 ○男女の均等な雇用機会の確保と女性の活躍推進

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.55点であり、20ある調査項目の中で最も低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を下回っており、「若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.53点）と「女性」（2.55点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」（2.73点）で満足度が高く、「50歳代」（2.39点）で低くなっている。
- ・【世帯構成】「ひとり暮らし」（2.60点）で満足度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.51点）に比べ、「子どもはいない」（2.59点）で満足度が高くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（2.67点）で満足度が高く、「美作地域」（2.19点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（2.66点）で満足度が高く、「5年未満」（2.47点）で低くなっている。
- ・【職業】「専業主婦（主夫）」、「無職」（ともに2.67点）で満足度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」、「会社・団体などの正社員（正職員）」（ともに2.46点）で低くなっている。

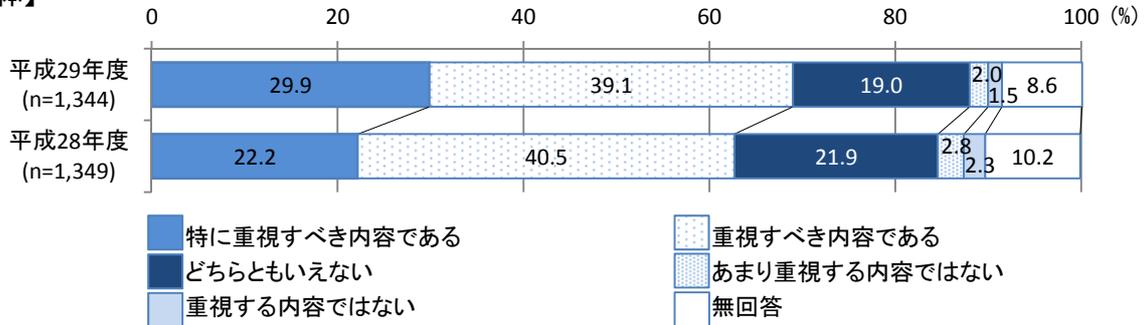
<前年度との比較>

- ・全体の平均点（2.55点）は、前年度（2.55点）と比べて変化は見られなかった。
前年度と比べて、『満足』（12.1%）、「どちらともいえない」（39.1%）、『不満』（42.0%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」（2.73点 前年度差0.20点）で満足度が上昇し、「30歳代」（2.42点 前年度差▲0.15点）、「50歳代」（2.39点 前年度差▲0.16点）で低下している。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で前年度と大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.51点 前年度差▲0.10点）で満足度がやや低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（2.19点 前年度差0.15点）で満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（2.47点 前年度差▲0.62点）で満足度が低下している。
- ・【職業別】「無職」（2.67点 前年度差0.20点）で満足度が上昇し、「学生」（2.60点 前年度差▲0.31点）で低下している。

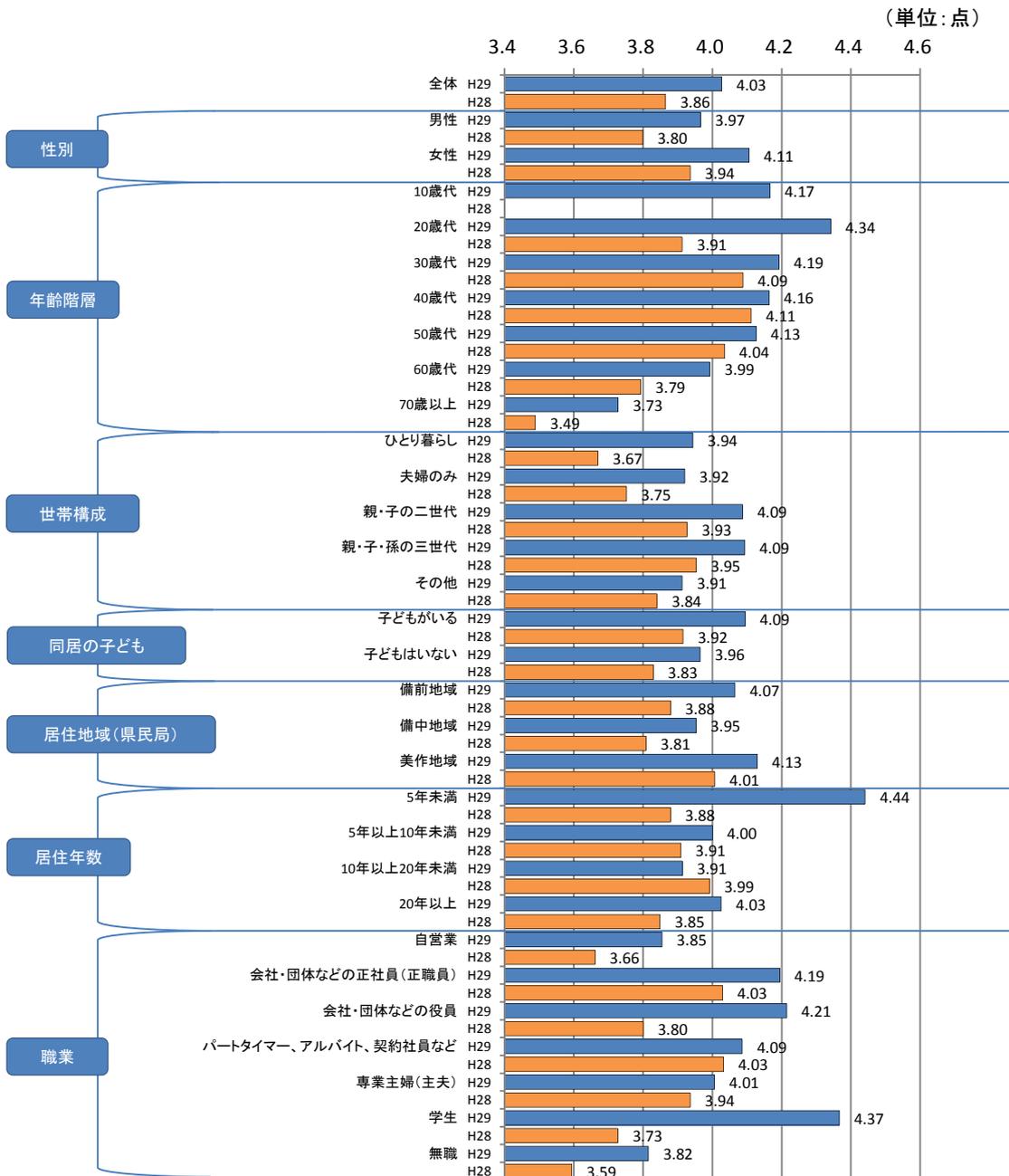
8. 若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は4.03点であり、20ある調査項目の中で最も高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「若者が県内で就職し定着できる環境や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現など、働きやすい職場の環境づくりが進んでいる」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.97点）に比べ、「女性」（4.11点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.34点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.73点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」、「親・子・孫の三世帯」（ともに4.09点）で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（4.09点）に比べ、「子どもはいない」（3.96点）の重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（4.13点）で重要度が高く、「備中地域」（3.95点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.44点）で重要度が高く、「10年以上20年未満」（3.91点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（4.37点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.85点）、「無職」（3.82点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（4.03点）は、前年度（3.86点）と比べて0.17点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（69.0%）と回答した割合は6.3ポイント上昇し、「どちらともいえない」（19.0%）、『重視しない』（3.5%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.97点 前年度差0.17点）、「女性」（4.11点 前年度差0.17点）でともに重要度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.34点 前年度差0.43点）、「60歳代」（3.99点 前年度差0.20点）、「70歳以上」（3.73点 前年度差0.24点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.94点 前年度差0.27点）、「夫婦のみ」（3.92点 前年度差0.17点）、「親・子の二世帯」（4.09点 前年度差0.16点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（4.09点 前年度差0.17点）で重要度が上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（4.07点、前年度差0.19点）で重要度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.44点 前年度差0.56点）、「20年以上」（4.03点 前年度差0.18点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.85点 前年度差0.19点）、「会社・団体などの正社員（正職員）」（4.19点 前年度差0.16点）、「会社・団体などの役員」（4.21点 前年度差0.41点）、「学生」（4.37点 前年度差0.64点）、「無職」（3.82点 前年度差0.23点）で重要度が上昇している。

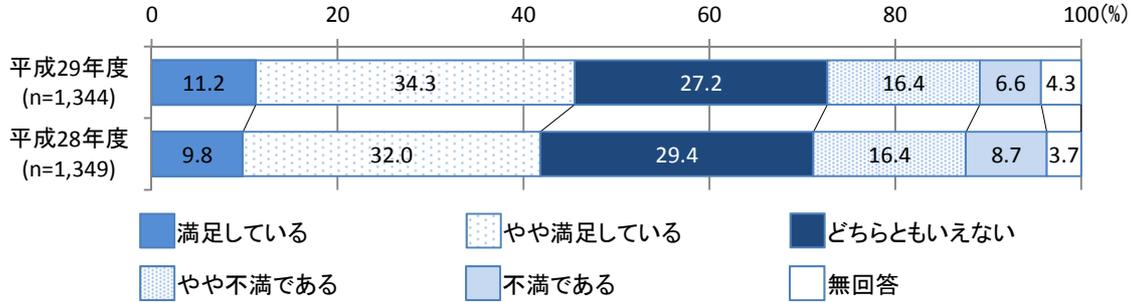
9. 良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている

<施策例>

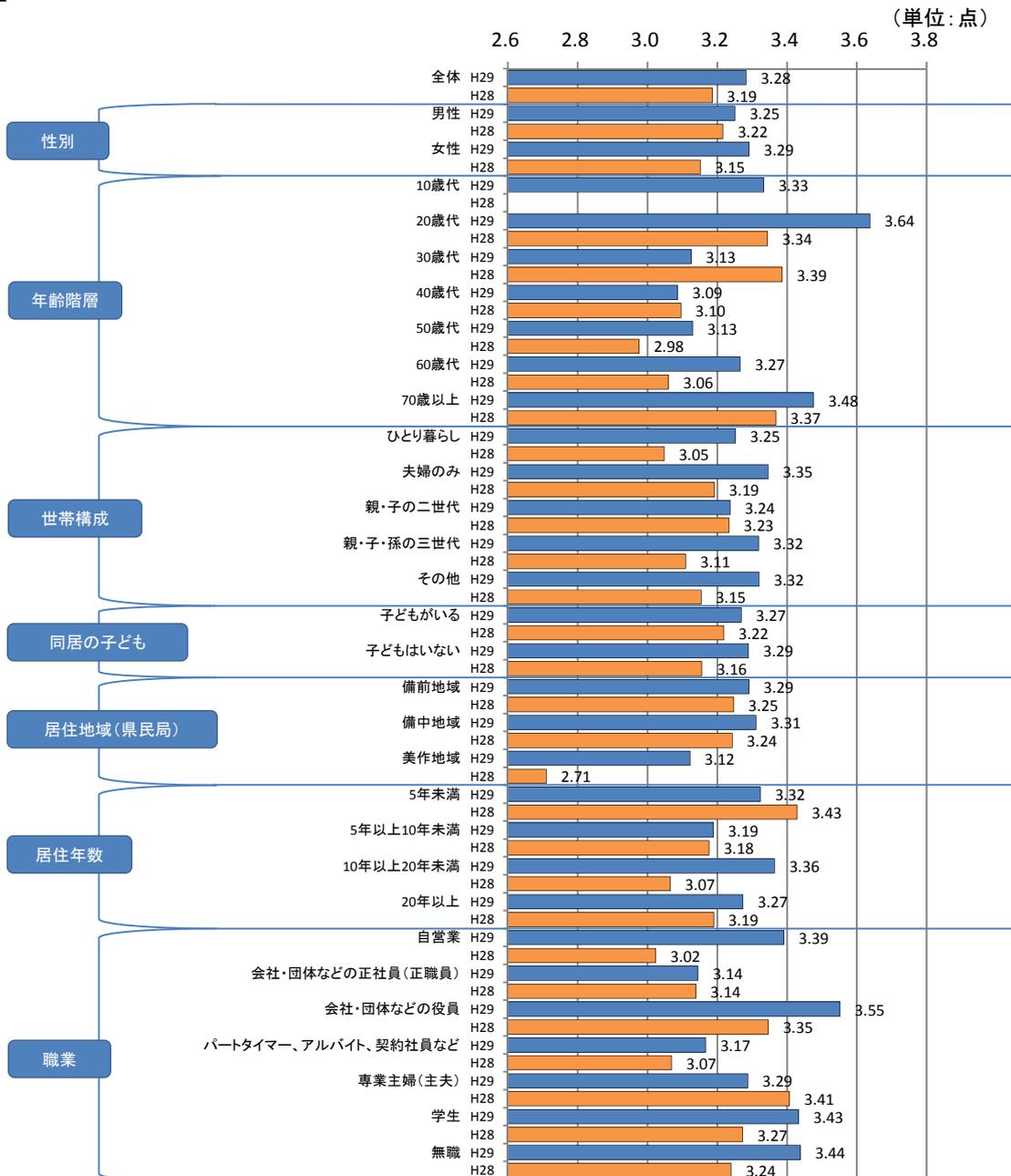
○心と体の健康づくり ○地域医療提供体制の整備 ○高齢者や障害のある人が地域で安心して暮らせる環境の整備

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.28点であり、20ある調査項目の中で2番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を上回っており、「良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.25点)、「女性」(3.29点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.64点)で満足度が高く、「40歳代」(3.09点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」(3.35点)で満足度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.27点)、「子どもはいない」(3.29点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.12点)で満足度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(3.36点)で満足度が高く、「5年以上10年未満」(3.19点)で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(3.55点)で満足度が高く、「会社・団体などの正社員(正職員)」(3.14点)で低くなっている。

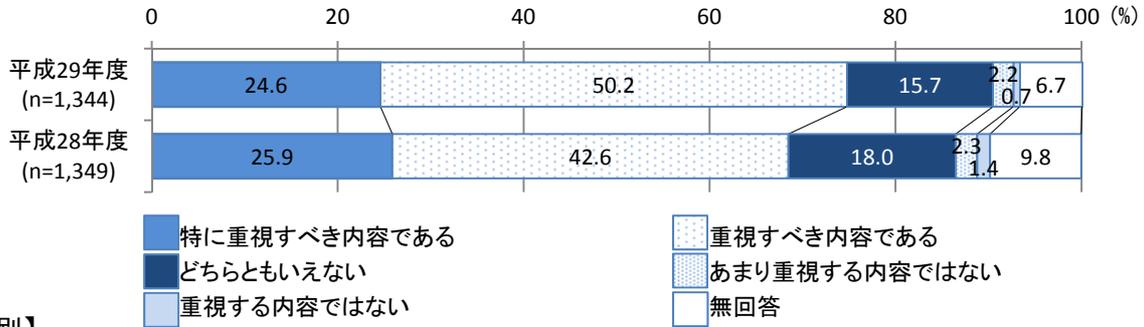
<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.28点)は、前年度(3.19点)と比べて0.09点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』(45.5%)、「どちらともいえない」(27.2%)、『不満』(23.0%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「女性」(3.29点 前年度差0.14点)で満足度がやや上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.64点 前年度差0.30点)、「50歳代」(3.13点 前年度差0.15点)、「60歳代」(3.27点 前年度差0.21点)で満足度が上昇し、「30歳代」(3.13点 前年度差▲0.26点)で低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.25点 前年度差0.20点)、「夫婦のみ」(3.35点 前年度差0.16点)、「親・子・孫の三世代」(3.32点 前年度差0.21点)で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもはいない」(3.29点 前年度差0.13点)で満足度がやや上昇している。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.12点 前年度差0.41点)で満足度が上昇している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(3.36点 前年度差0.29点)で満足度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(3.39点 前年度差0.37点)、「会社・団体などの役員」(3.55点 前年度差0.20点)、「学生」(3.43点 前年度差0.16点)、「無職」(3.44点 前年度差0.20点)で満足度が上昇している。

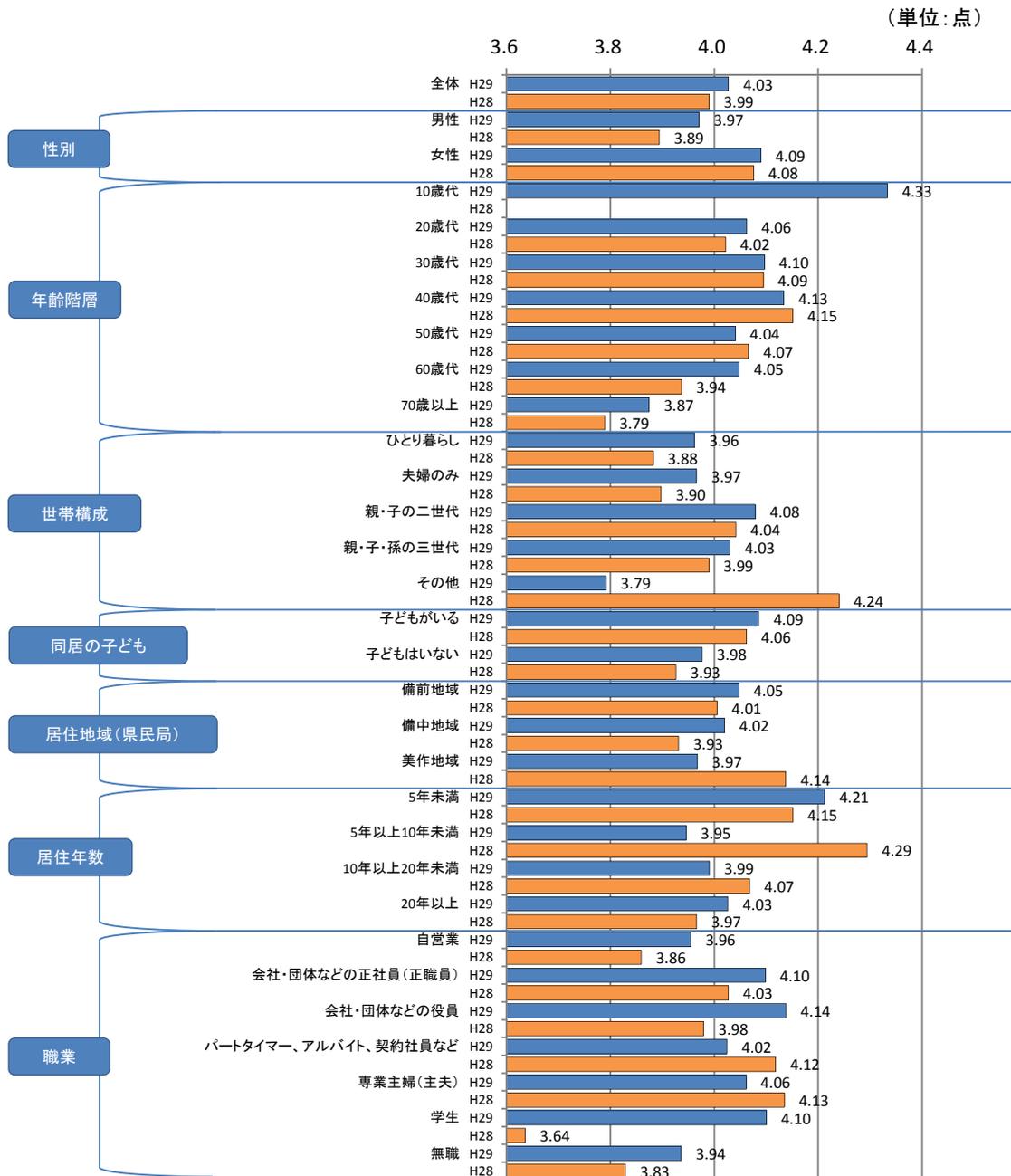
9. 良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は4.03点であり、20ある調査項目の中で2番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「良質な保健・医療・福祉サービスを受けることができる環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.97点）に比べ、「女性」（4.09点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（4.10点）、「40歳代」（4.13点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.87点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（4.08点）で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（4.09点）に比べ、「子どもはいない」（3.98点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.97点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.21点）で重要度が高く、「5年以上10年未満」（3.95点）で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（4.14点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.96点）、「無職」（3.94点）で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点（4.03点）は、前年度（3.99点）と比べて0.04点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（74.8%）と回答した割合は6.3ポイント上昇し、「どちらともいえない」（15.7%）、『重視しない』（2.9%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「60歳代」（4.05点 前年度差0.11点）で重要度がやや上昇している。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で前年度と大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.97点 前年度差▲0.17点）で重要度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.95点 前年度差▲0.34点）で重要度が低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（4.14点 前年度差0.16点）、「学生」（4.10点 前年度差0.46点）で重要度が上昇している。

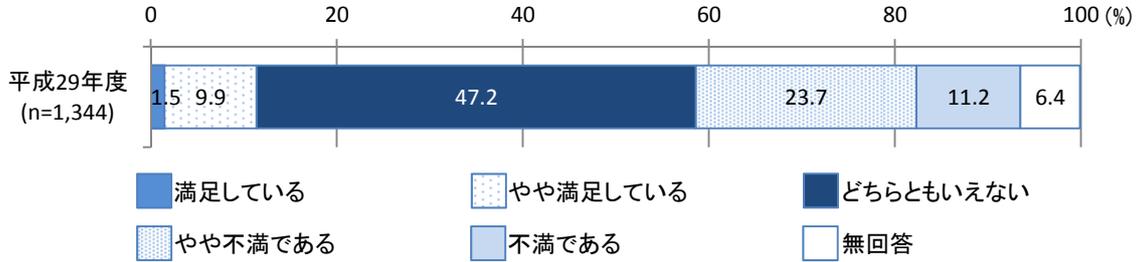
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている

<施策例>

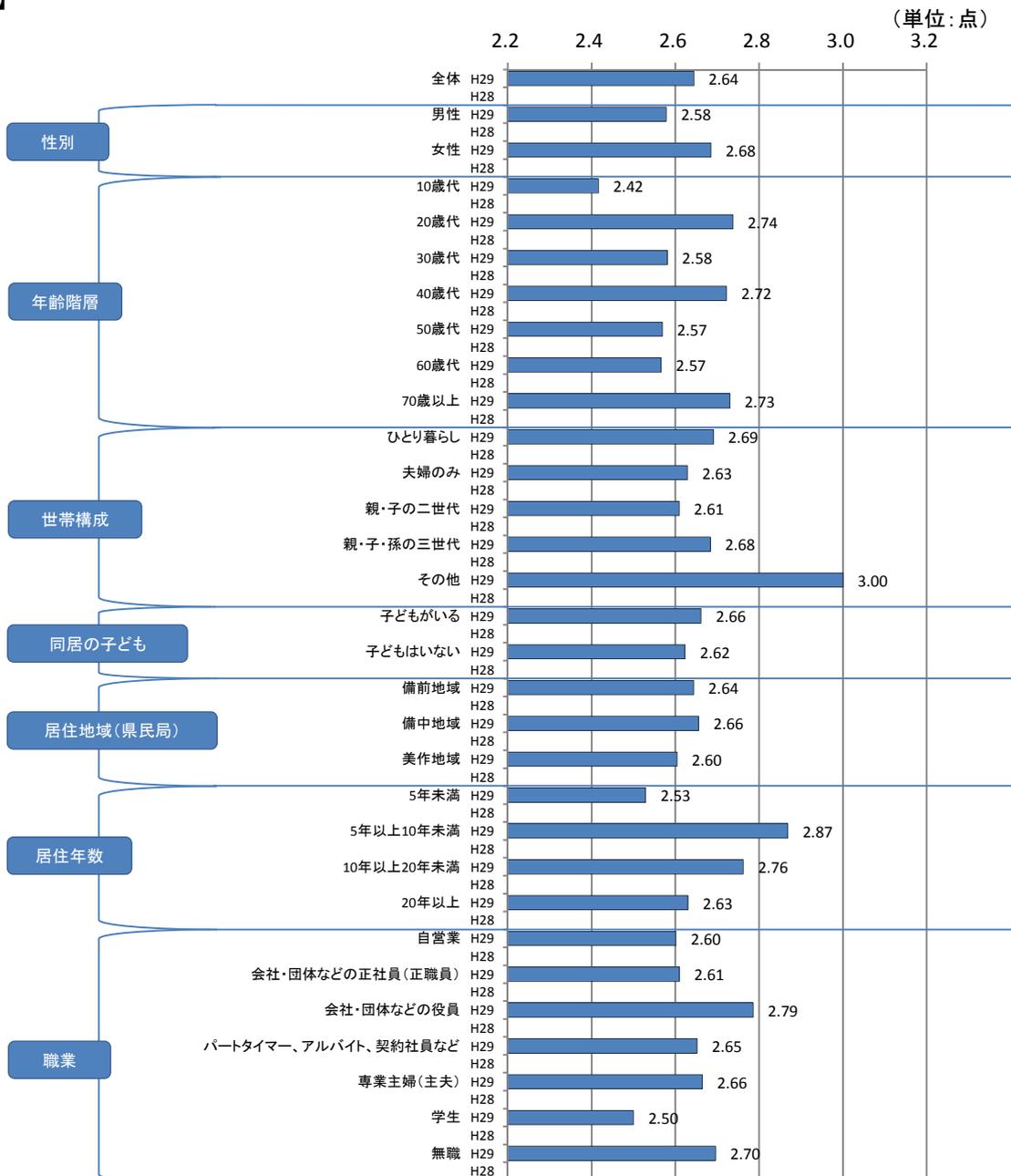
○結婚、妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成 ○結婚支援の推進 ○切れ目ない母子保健等の推進

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.64点であり、20ある調査項目の中で2番目に低くなっている。

<全体>

全体の満足度は、『満足』(11.4%)、「どちらともいえない」(47.2%)、『重視しない』(34.9%)となっている。

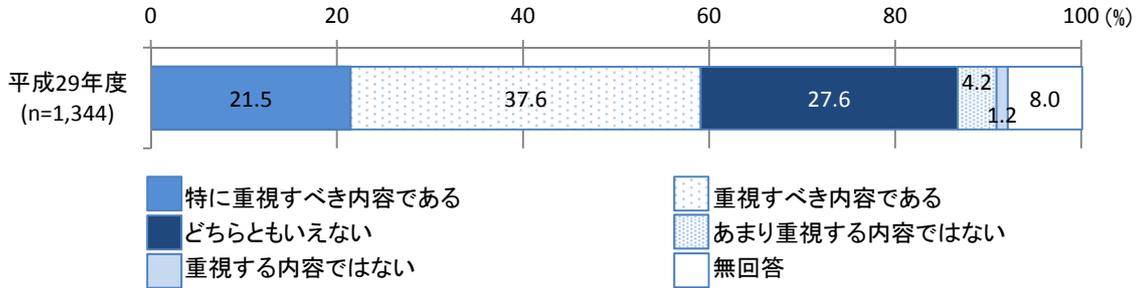
<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を下回っており、「若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(2.58点)に比べ、「女性」(2.68点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(2.74点)、「40歳代」(2.72点)、「70歳以上」(2.73点)で満足度が高くなっている。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で満足度に大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.66点)、「子どもはいない」(2.62点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(2.60点)で満足度がやや低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(2.87点)で満足度が高く、「5年未満」(2.53点)で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(2.79点)で満足度が高く、「学生」(2.50点)で低くなっている。

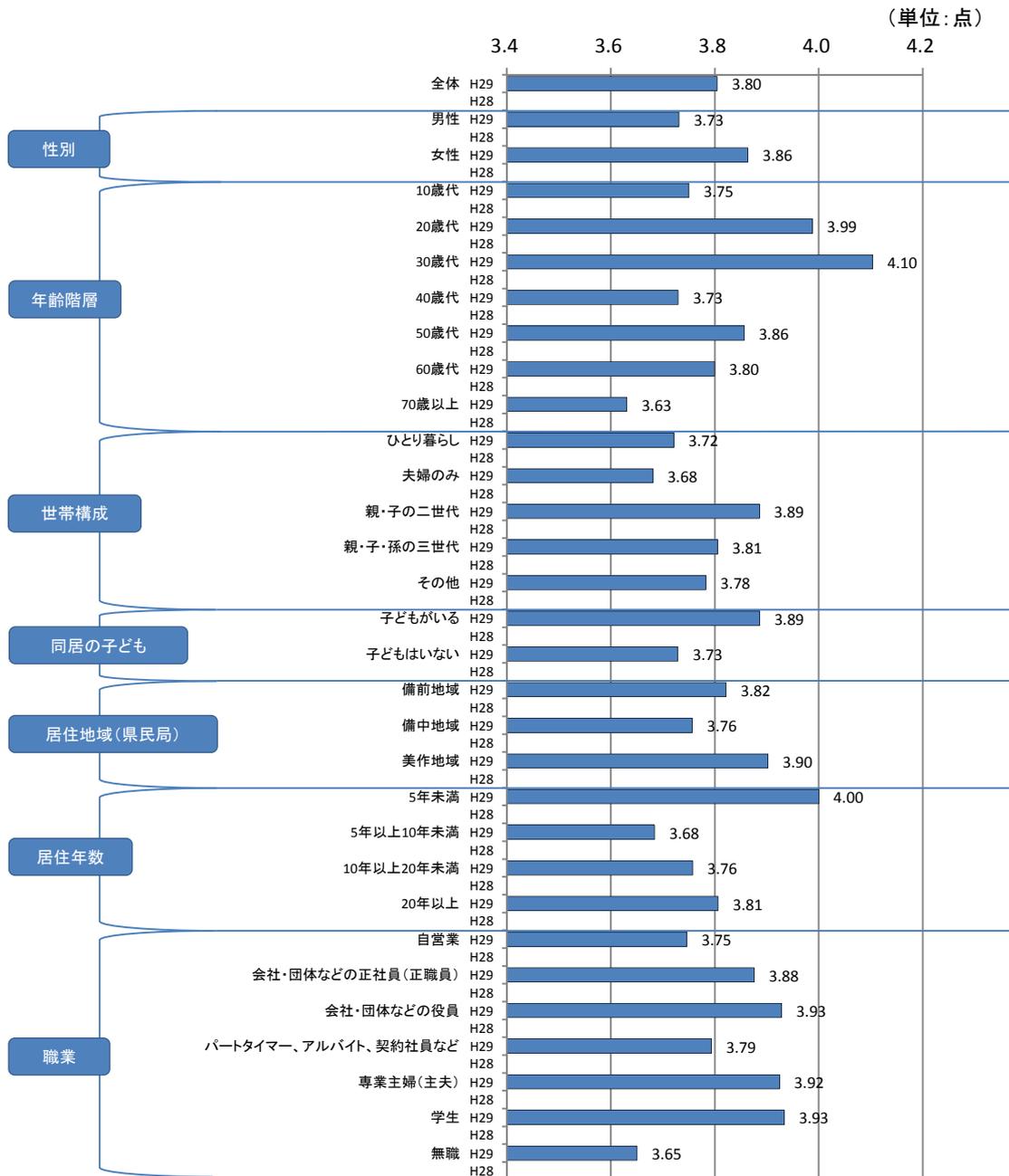
10. 若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.80点であり、20ある調査項目の中で9番目に高くなっている。

<全体>

全体の重要度は、『重視すべき』(59.1%)、「どちらともいえない」(27.6%)、『重視しない』(5.4%)となっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「若い世代の出会い、結婚、妊娠、出産の希望がかなう環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.73点)に比べ、「女性」(3.86点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」(4.10点)で重要度が高く、「70歳以上」(3.63点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」(3.89点)で重要度が高く、「夫婦のみ」(3.68点)で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.89点)に比べ、「子どもはいない」(3.73点)で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】「美作地域」(3.90点)で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」(4.00点)で重要度が高く、「5年以上10年未満」(3.68点)で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(3.93点)、「専業主婦(主夫)」(3.92点)「学生」(3.93点)で重要度が高く、「無職」(3.65点)で低くなっている。

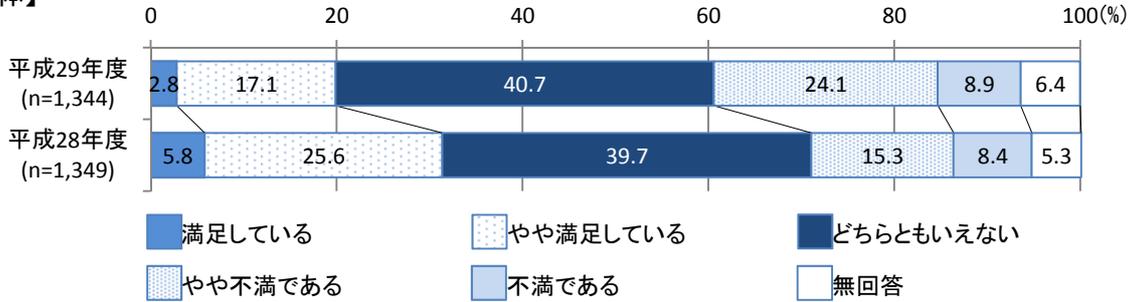
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている

<施策例>

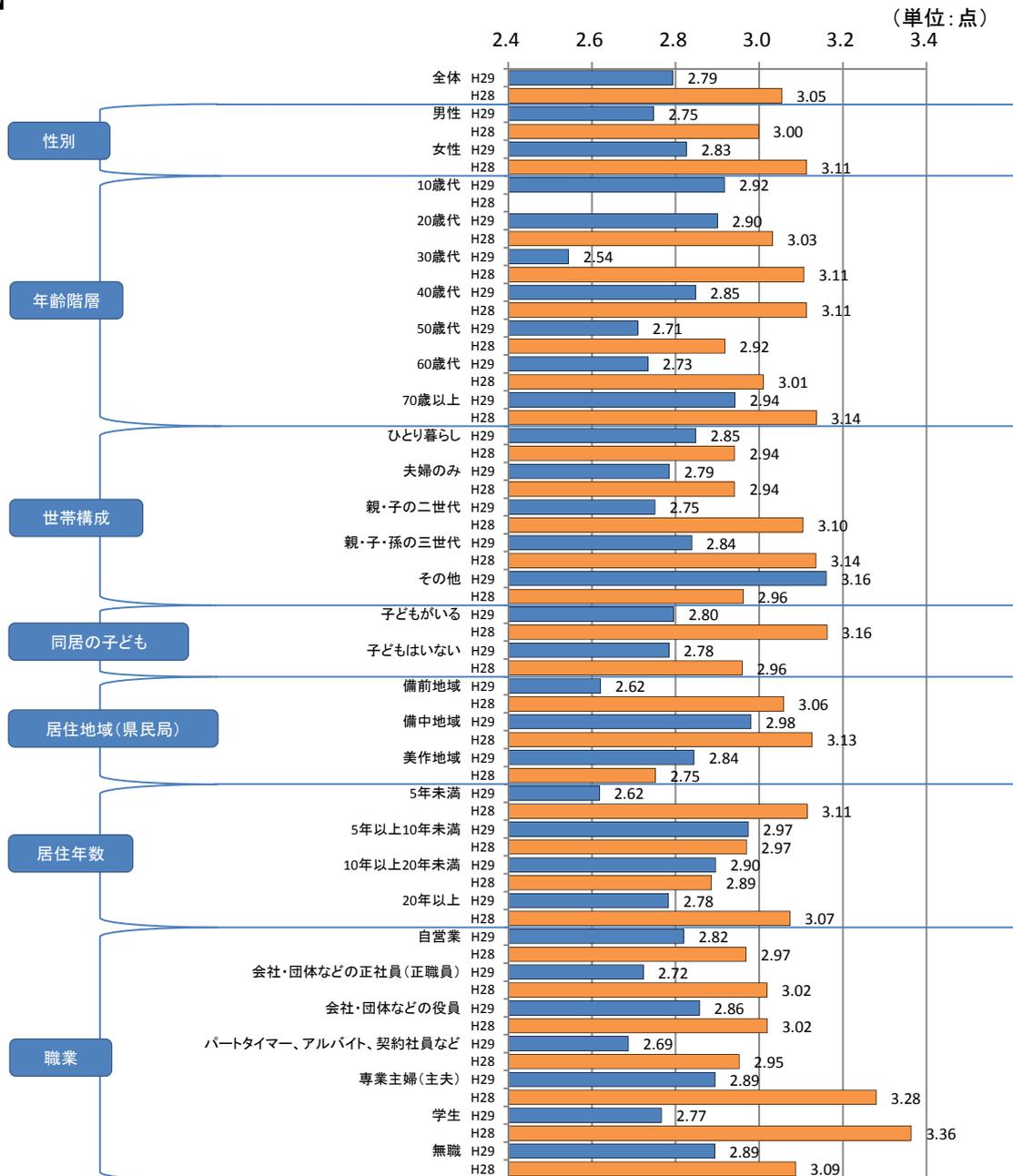
○きめ細かな保育サービスの提供 ○子育てを支援する人材の確保 ○子育てしやすい社会環境の整備

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.79点であり、20ある調査項目の中で6番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を下回っており、「子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(2.75点)に比べ、「女性」(2.83点)で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」(2.94点)で満足度が高く、「30歳代」(2.54点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(2.85点)、「親・子・孫の三世代」(2.84点)で満足度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.80点)、「子どもはいない」(2.78点)で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域(県民局)別】「備中地域」(2.98点)で満足度が高く、「備前地域」(2.62点)で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(2.97点)で満足度が高く、「5年未満」(2.62点)で低くなっている。
- ・【職業別】「専業主婦(主夫)」、「無職」(ともに2.89点)で満足度が高く、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」(2.69点)で低くなっている。

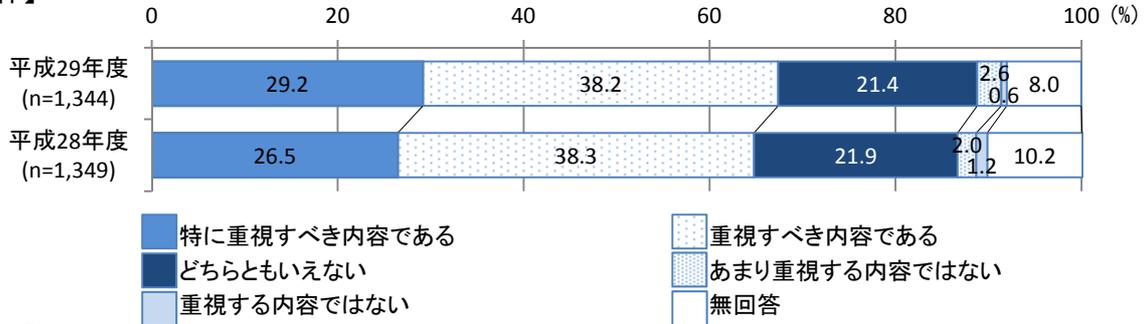
<前年度との比較>

- ・全体の平均点(2.79点)は、前年度(3.05点)と比べて0.26点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』(19.9%)と回答した割合は11.5ポイント低下し、『不満』(33.0%)と回答した割合は9.3ポイント上昇している。「どちらともいえない」(40.7%)では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」(2.75点 前年度差▲0.25点)、「女性」(2.83点 前年度差▲0.28点)ともに満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「30歳代」(2.54点 前年度差▲0.57点)、「40歳代」(2.85点 前年度差▲0.26点)、「50歳代」(2.71点 前年度差▲0.21点)、「60歳代」(2.73点 前年度差▲0.28点)、「70歳以上」(2.94点 前年度差▲0.20点)で満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」(2.79点 前年度差▲0.15点)、「親・子の二世代」(2.75点 前年度差▲0.35点)、「親・子・孫の三世代」(2.84点 前年度差▲0.30点)で満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(2.80点 前年度差▲0.36点)、「子どもはいない」(2.78点 前年度差▲0.18点)でともに満足度が低下している。
- ・【居住地域(県民局)別】「備前地域」(2.62点 前年度差▲0.44点)、「備中地域」(2.98点 前年度差▲0.15点)で満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」(2.62点 前年度差▲0.49点)、「20年以上」(2.78点 前年度差▲0.29点)で満足度が低下している。
- ・【職業別】「自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)」(2.82点 前年度差▲0.15点)、「会社・団体などの正社員(正職員)」(2.72点 前年度差▲0.30点)、「会社・団体などの役員」(2.86点 前年度差▲0.16点)、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」(2.69点 前年度差▲0.26点)、「専業主婦(主夫)」(2.89点 前年度差▲0.39点)、「学生」(2.77点 前年度差▲0.59点)、「無職」(2.89点 前年度差▲0.20点)のすべてで満足度が低下している。

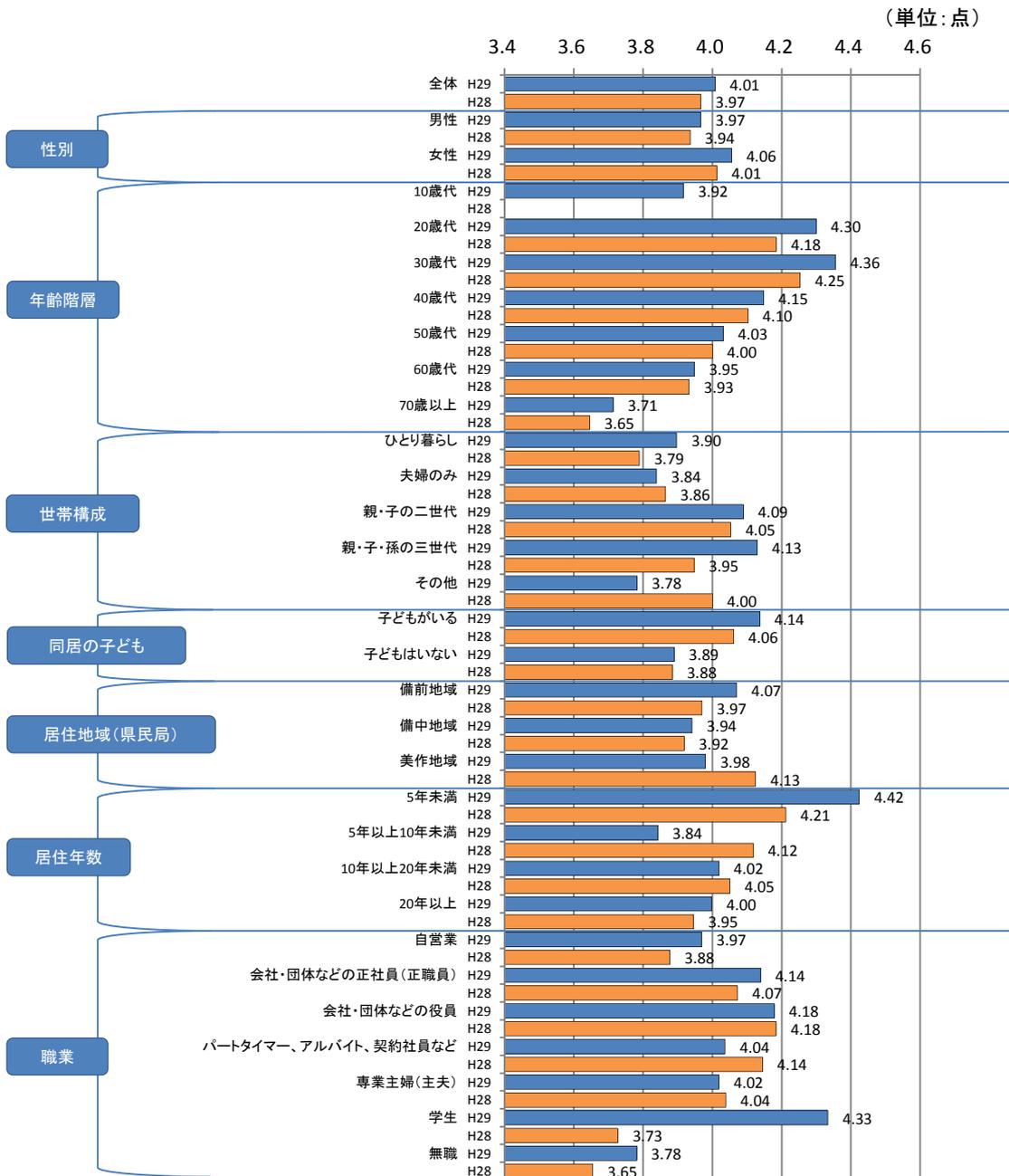
11. 子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は4.01点であり、20ある調査項目の中で3番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「子育て支援策が充実し、安心して子育てができる環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.97点）に比べ、「女性」（4.06点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（4.36点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.71点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」（4.13点）で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（4.14点）に比べ、「子どもはいない」（3.89点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（4.07点）で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.42点）で重要度が高く、「5年以上10年未満」（3.84点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（4.33点）で重要度が高く、「無職」（3.78点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（4.01点）は、前年度（3.97点）と比べて0.04点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（67.4%）、「どちらともいえない」（21.4%）、『重視しない』（3.2%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.30点 前年度差0.12点）、「30歳代」（4.36点 前年度差0.11点）で重要度がやや上昇している。
- ・【世帯構成別】「親・子・孫の三世代」（4.13点 前年度差0.18点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.98点 前年度差▲0.15点）で重要度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.42点 前年度差0.21点）で重要度が上昇し、「5年以上10年未満」（3.84点 前年度差▲0.28点）で低下している。
- ・【職業別】「学生」（4.33点 前年度差0.60点）で重要度が上昇している。

12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている

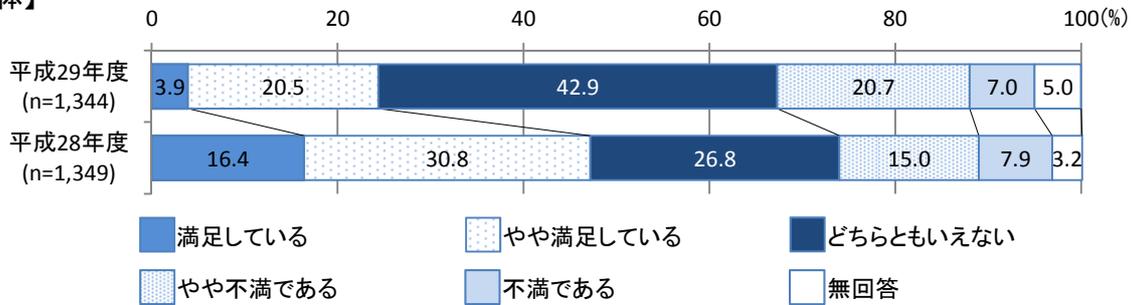
<施策例>

○防災教育・避難訓練や自主防災組織の結成促進 ○わかりやすい防災情報提供など災害時における体制強化

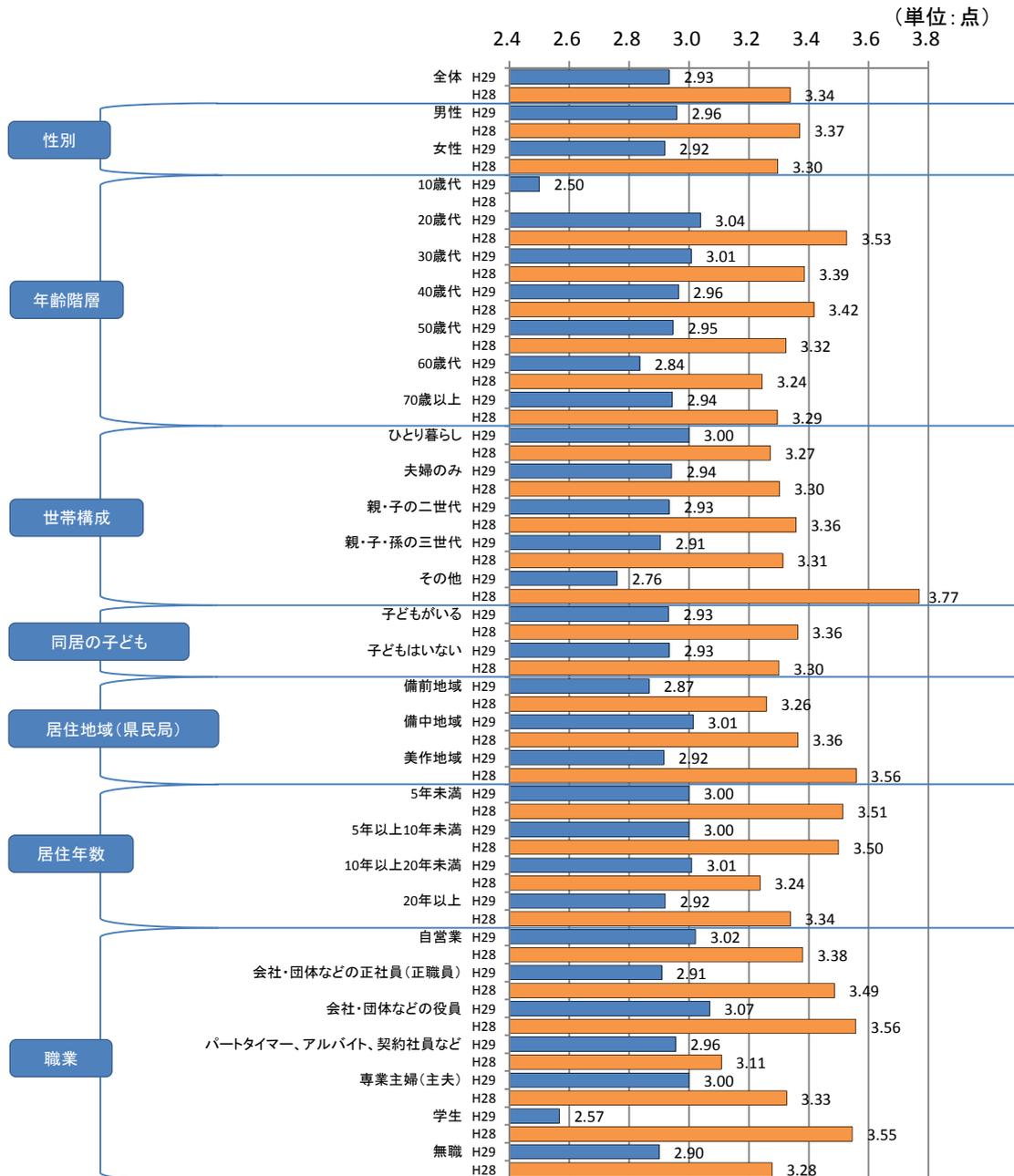
○公共施設の耐震化や防災施設整備の推進

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.93点であり、20ある調査項目の中で9番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を下回っており、「地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.96点）、「女性」（2.92点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.04点）で満足度が高く、「60歳代」（2.84点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.00点）で満足度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」（ともに2.93点）で差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.01点）で満足度が高く、「備前地域」（2.87点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」、「5年以上10年未満」（ともに3.00点）、「10年以上20年未満」（3.01点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.07点）で満足度が高く、「学生」（2.57点）で低くなっている。

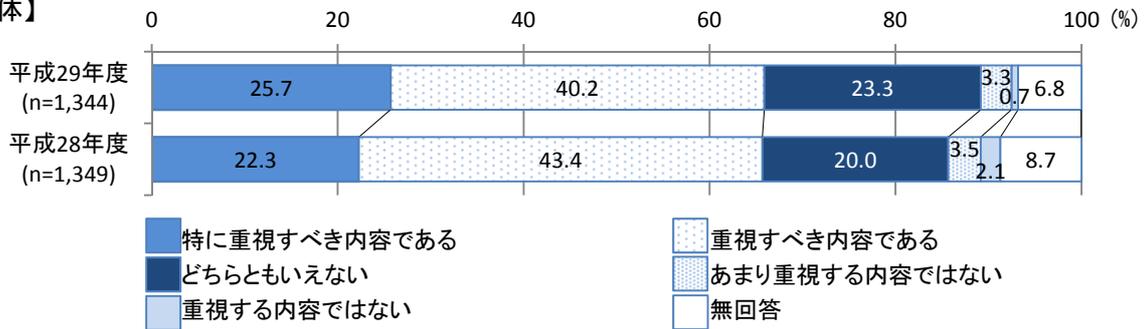
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（2.93点）は、前年度（3.34点）と比べて0.41点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（24.4%）と回答した割合は22.8ポイント低下し、「どちらともいえない」（42.9%）と回答した割合は16.1ポイント上昇している。『不満』（27.7%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（2.96点 前年度差▲0.41点）、「女性」（2.92点 前年度差▲0.38点）でともに満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.04点 前年度差▲0.49点）、「30歳代」（3.01点 前年度差▲0.38点）、「40歳代」（2.96点 前年度差▲0.46点）、「50歳代」（2.95点 前年度差▲0.37点）、「60歳代」（2.84点 前年度差▲0.40点）、「70歳以上」（2.94点 前年度差▲0.35点）のすべてで満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.00点 前年度差▲0.27点）、「夫婦のみ」（2.94点 前年度差▲0.36点）、「親・子の二世帯」（2.93点 前年度差▲0.43点）、「親・子・孫の三世帯」（2.91点 前年度差▲0.40点）のすべてで満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.93点 前年度差▲0.43点）、「子どもはいない」（2.93点 前年度差▲0.37点）でともに満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（2.87点 前年度差▲0.39点）、「備中地域」（3.01点 前年度差▲0.35点）、「美作地域」（2.92点 前年度差▲0.64点）のすべてで満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.00点 前年度差▲0.51点）、「5年以上10年未満」（3.00点 前年度差▲0.50点）、「10年以上20年未満」（3.01点 前年度差▲0.23点）、「20年以上」（2.92点 前年度差▲0.42点）のすべてで満足度が低下している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.02点 前年度差▲0.36点）、「会社・団体などの正社員（正職員）」（2.91点 前年度差▲0.58点）、「会社・団体などの役員」（3.07点 前年度差▲0.49点）、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（2.96点 前年度差▲0.15点）、「専業主婦（主夫）」（3.00点 前年度差▲0.33点）、「学生」（2.57点 前年度差▲0.98点）、「無職」（2.90点 前年度差▲0.38点）のすべてで満足度が低下している。

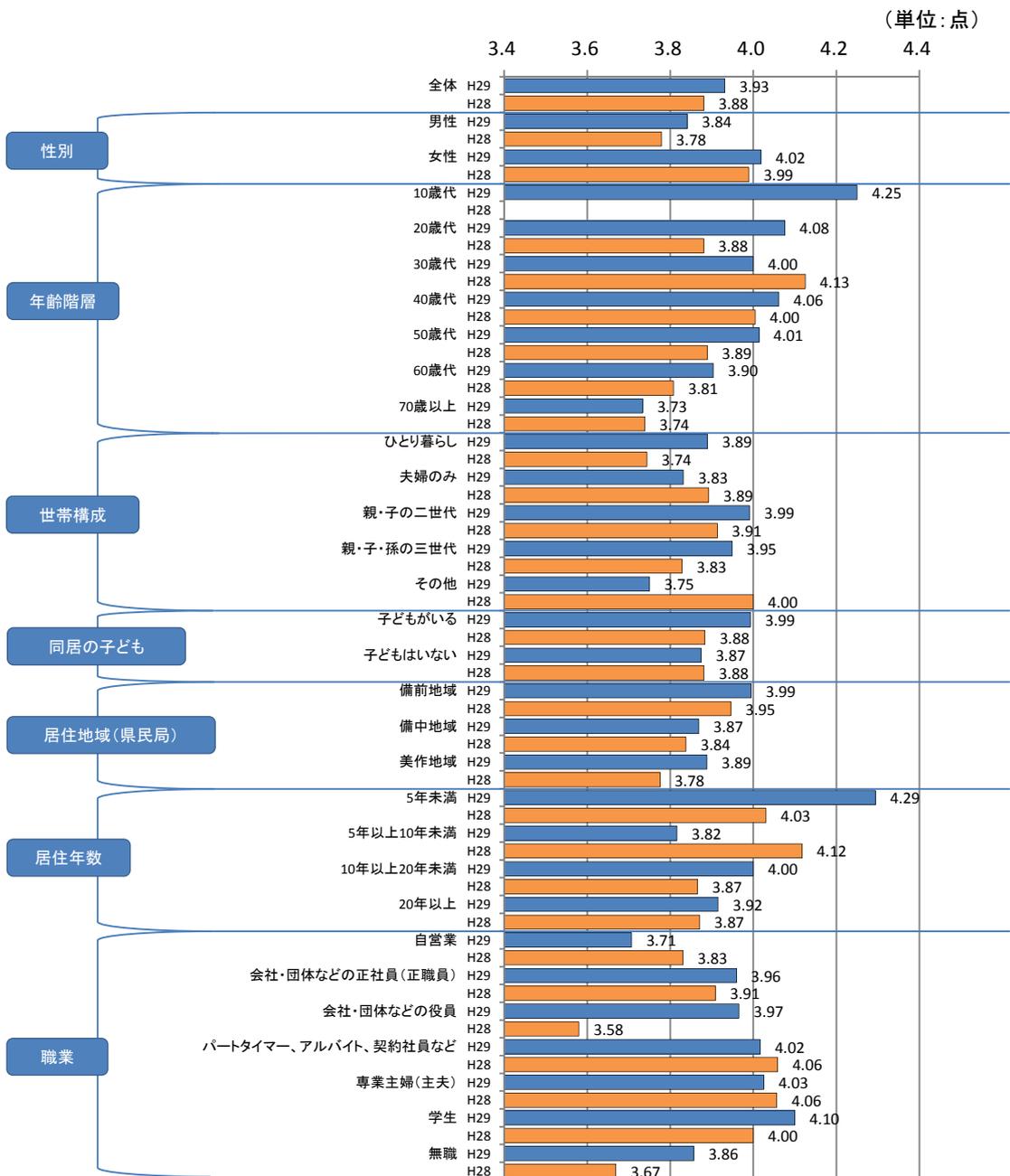
12. 地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.93点であり、20ある調査項目の中で4番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「地震・津波や風水害など災害に備えた対策が行われ、安心して住み続ける環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.84点）に比べ、「女性」（4.02点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.08点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.73点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（3.99点）で重要度が高く、「夫婦のみ」（3.83点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.99点）に比べ、「子どもはいない」（3.87点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.99点）で重要度が高く、「備中地域」（3.87点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.29点）で重要度が高く、「5年以上10年未満」（3.82点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（4.10点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.71点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.93点）は、前年度（3.88点）と比べて0.05点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（65.9%）、「どちらともいえない」（23.3%）、『重視しない』（4.0%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.08点 前年度差0.20点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.89点 前年度差0.15点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.99点 前年度差0.11点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.89点 前年度差0.11点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.29点 前年度差0.26点）で重要度が上昇し、「5年以上10年未満」（3.82点 前年度差▲0.30点）で低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.97点 前年度差0.39点）、「無職」（3.86点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。

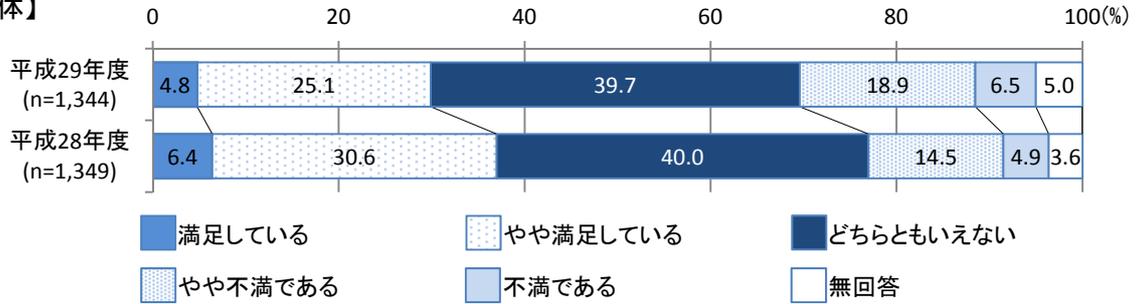
13. 犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている

<施策例>

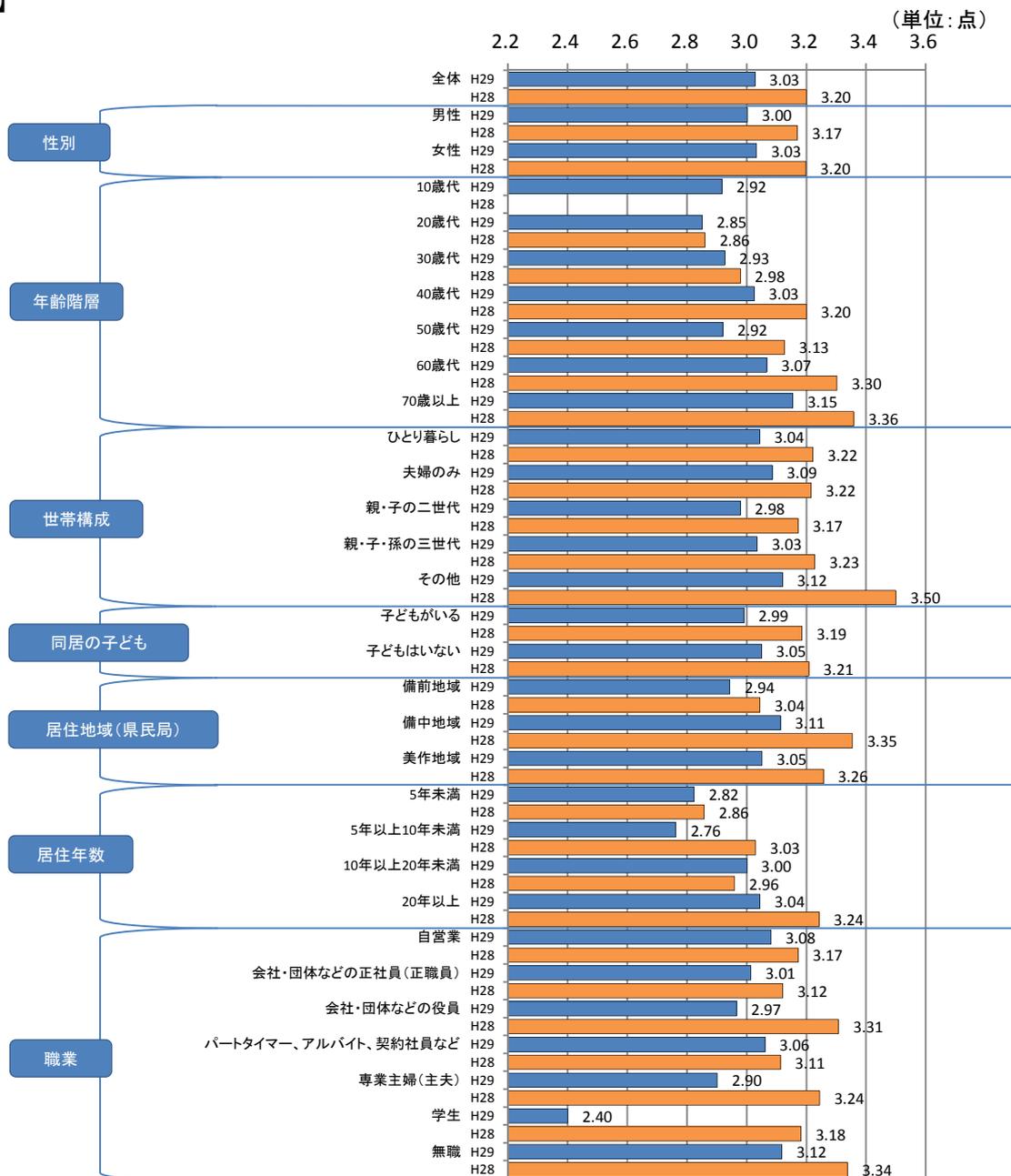
○犯罪抑止対策の推進 ○重要犯罪等の徹底検挙 ○交通事故防止対策の推進

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.03点であり、20ある調査項目の中で8番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

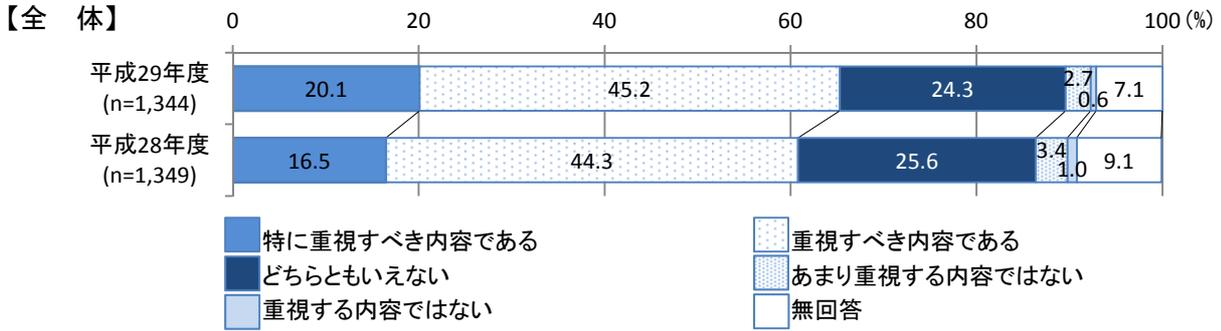
- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を上回っており、「犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.00点）、「女性」（3.03点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」（3.15点）で満足度が高く、「20歳代」（2.85点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.09点）で満足度が高く、「親・子の二世帯」（2.98点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.99点）に比べ、「子どもはいない」（3.05点）で満足度が高くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.11点）で満足度が高く、「備前地域」（2.94点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（2.76点）で満足度が低くなっている。
- ・【職業別】「無職」（3.12点）で満足度が高く、「学生」（2.40点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

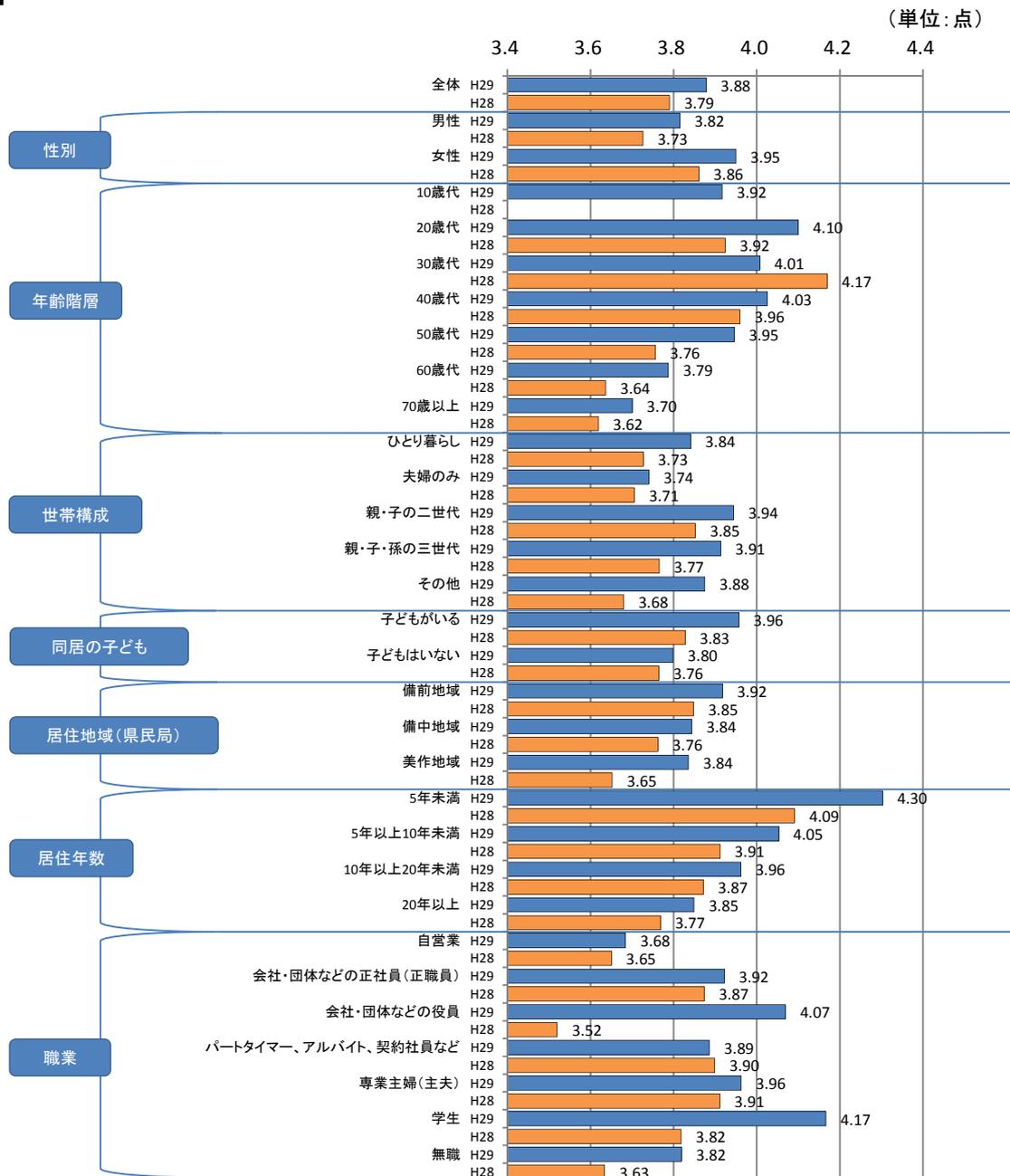
- ・全体の平均点（3.03点）は、前年度（3.20点）と比べて0.17点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（29.9%）と回答した割合は7.1ポイント低下し、『不満』（25.4%）と回答した割合は6.0ポイント上昇している。「どちらともいえない」（39.7%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.00点 前年度差▲0.17点）、「女性」（3.03点 前年度差▲0.17点）でともに満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「40歳代」（3.03点 前年度差▲0.17点）、「50歳代」（2.92点 前年度差▲0.21点）、「60歳代」（3.07点 前年度差▲0.23点）、「70歳以上」（3.15点 前年度差▲0.21点）で満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.04点 前年度差▲0.18点）、「親・子の二世帯」（2.98点 前年度差▲0.19点）、「親・子・孫の三世帯」（3.03点 前年度差▲0.20点）で満足度が低下している。
- ・【同居の子ども有無別】「子どもがいる」（2.99点 前年度差▲0.20点）、「子どもはいない」（3.05点 前年度差▲0.16点）ともに満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.11点 前年度差▲0.24点）、「美作地域」（3.05点 前年度差▲0.21点）で満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（2.76点 前年度差▲0.27点）、「20年以上」（3.04点 前年度差▲0.20点）で満足度が低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（2.97点 前年度差▲0.34点）、「専業主婦（主夫）」（2.90点 前年度差▲0.34点）、「学生」（2.40点 前年度差▲0.78点）、「無職」（3.12点 前年度差▲0.22点）で満足度が低下している。

13. 犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている

重要度



【属性別】



- ・全体の平均点は3.88点であり、20ある調査項目の中で5番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を上回っており、「犯罪や交通事故に遭う危険が少なく、安心して暮らせる環境になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.82点）に比べ、「女性」（3.95点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.10点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.70点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（3.94点）で重要度が高く、「夫婦のみ」（3.74点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.96点）に比べ、「子どもはいない」（3.80点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.92点）で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.30点）で重要度が高くなっている。
- ・【職業別】「学生」（4.17点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業員を含む）」（3.68点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.88点）は、前年度（3.79点）と比べて0.09点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（65.3%）、「どちらともいえない」（24.3%）、『重視しない』（3.3%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（4.10点 前年度差0.18点）、「50歳代」（3.95点 前年度差0.19点）、「60歳代」（3.79点 前年度差0.15点）で重要度が上昇し、「30歳代」（4.01点 前年度差▲0.16点）で低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.84点 前年度差0.11点）、「親・子・孫の三世帯」（3.91点 前年度差0.14点）で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.96点 前年度差0.13点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.84点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（4.30点 前年度差0.21点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（4.07点 前年度差0.55点）、「学生」（4.17点 前年度差0.35点）、「無職」（3.82点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。

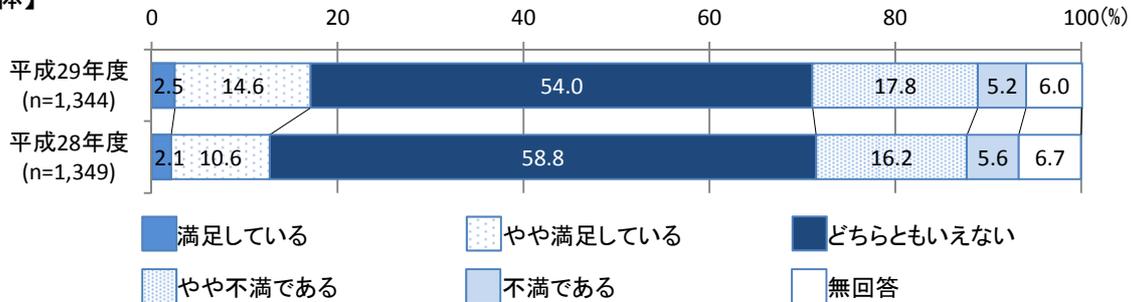
14. 農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている

< 施策例 >

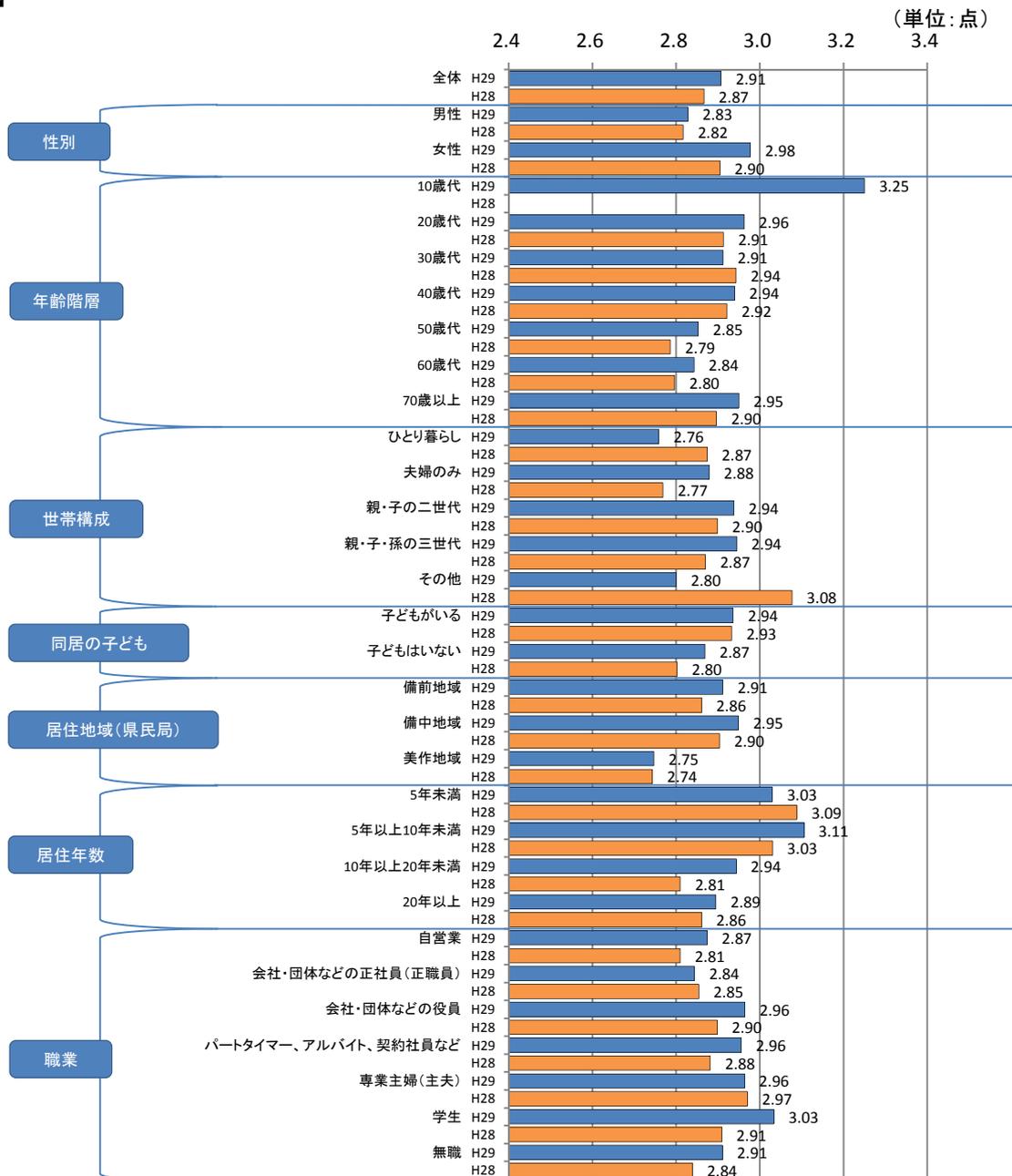
○ 集落機能の維持・強化 ○ 移住・定住の促進 ○ 地域の生活を支える道づくり

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.91点であり、20ある調査項目の中で8番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を下回っており、「農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.83点）に比べ、「女性」（2.98点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（2.96点）で満足度が高く、「60歳代」（2.84点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（2.76点）で満足度が低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.94点）に比べ、「子どもはいない」（2.87点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（2.75点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.11点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「学生」（3.03点）で満足度が高く、「会社・団体などの正社員（正職員）」（2.84点）で低くなっている。

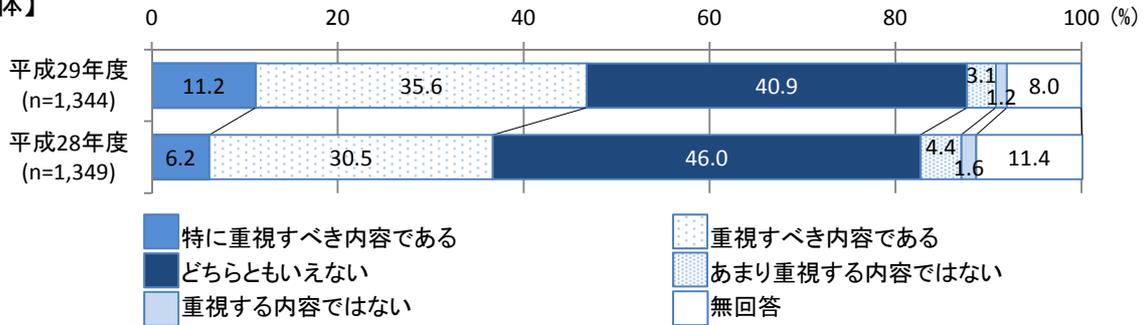
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（2.91点）は、前年度（2.87点）と比べて0.04点の上昇となっている。前年度と比べて、『満足』（17.1%）、「どちらともいえない」（54.0%）、『不満』（23.0%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】すべての年齢階層で前年度と大きな差は見られない。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（2.88点 前年度差0.11点）で満足度がやや上昇し、「ひとり暮らし」（2.76点 前年度差▲0.11点）でやや低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（2.94点 前年度差0.13点）で満足度がやや上昇している。
- ・【職業別】「学生」（3.03点 前年度差0.12点）で満足度がやや上昇している。

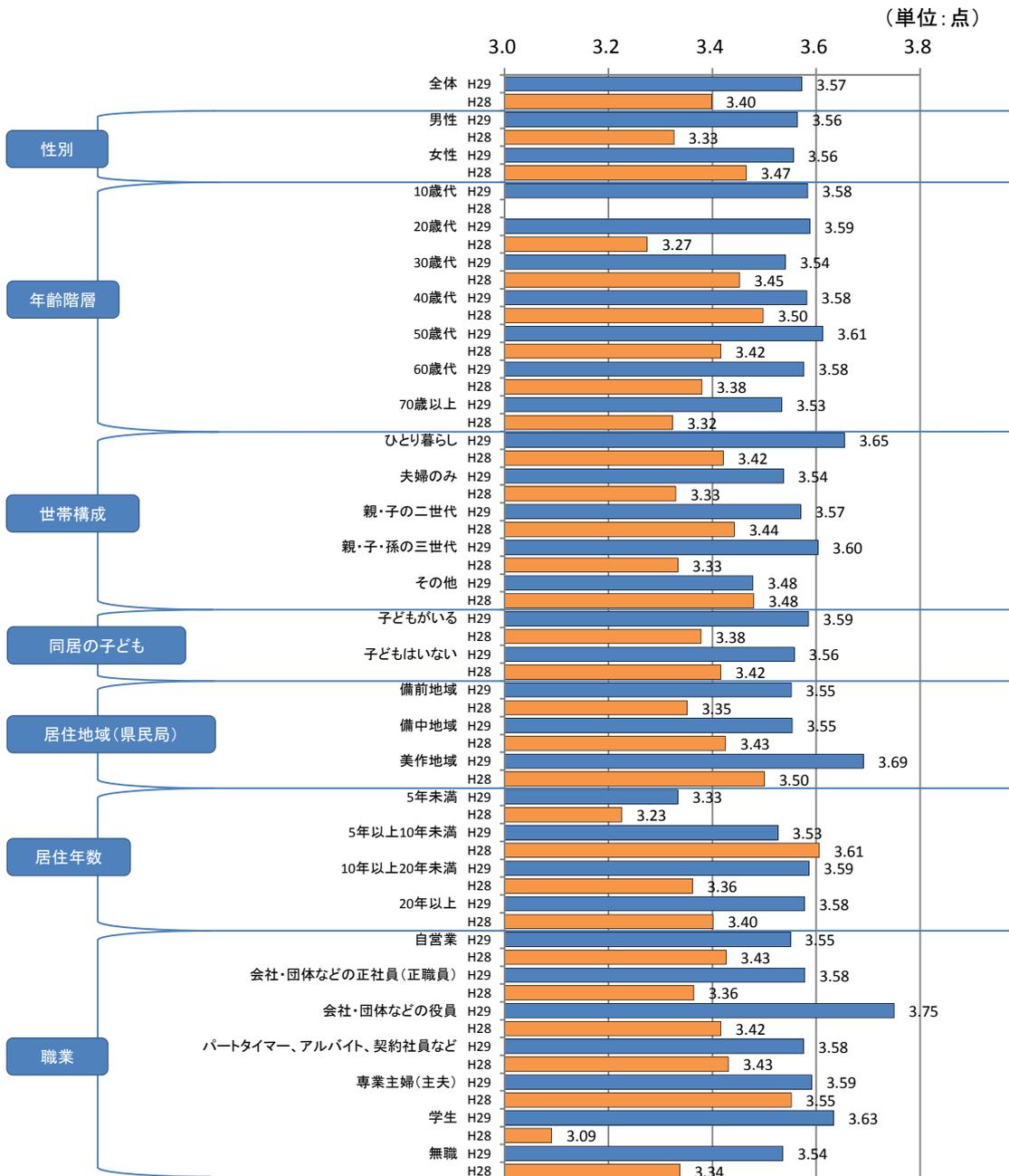
14. 農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.57点であり、20ある調査項目の中で7番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.60点を下回っており、「農山村や離島で、安心して暮らし続けることができるよう、みんなで支え合う元気な地域づくりが行われ、また、たくさんの人たちが岡山へ移住・定住する環境になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」と「女性」（ともに3.56点）で重要度に差は見られない。
- ・【年齢階層別】「50歳代」（3.61点）で重要度がやや高くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.65点）で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.59点）、「子どもはいない」（3.56点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.69点）で重要度が高くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.33点）で重要度が低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.75点）で重要度が高くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.57点）は、前年度（3.40点）と比べて0.17点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（46.8%）と回答した割合は10.1ポイント上昇し、「どちらともいえない」（40.9%）と回答した割合は5.1ポイント低下している。『重視しない』（4.3%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.56点 前年度差0.23点）で重要度が上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.59点 前年度差0.32点）、「50歳代」（3.61点 前年度差0.19点）、「60歳代」（3.58点 前年度差0.20点）、「70歳以上」（3.53点 前年度差0.21点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.65点 前年度差0.23点）、「夫婦のみ」（3.54点 前年度差0.21点）、「親・子・孫の三世帯」（3.60点 前年度差0.27点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.59点 前年度差0.21点）で重要度が上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.55点 前年度差0.20点）、「美作地域」（3.69点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.59点 前年度差0.23点）、「20年以上」（3.58点 前年度差0.18点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの正社員（正職員）」（3.58点 前年度差0.22点）、「会社・団体などの役員」（3.75点 前年度差0.33点）、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（3.58点 前年度差0.15点）、「学生」（3.63点 前年度差0.54点）、「無職」（3.54点 前年度差0.20点）で重要度が上昇している。

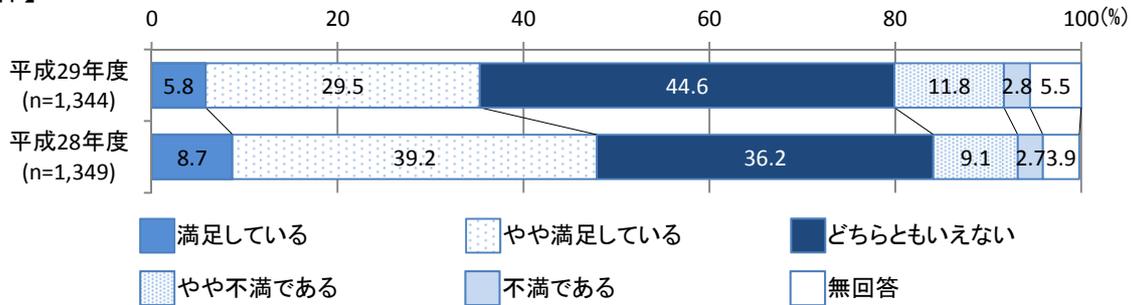
15. 豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている

<施策例>

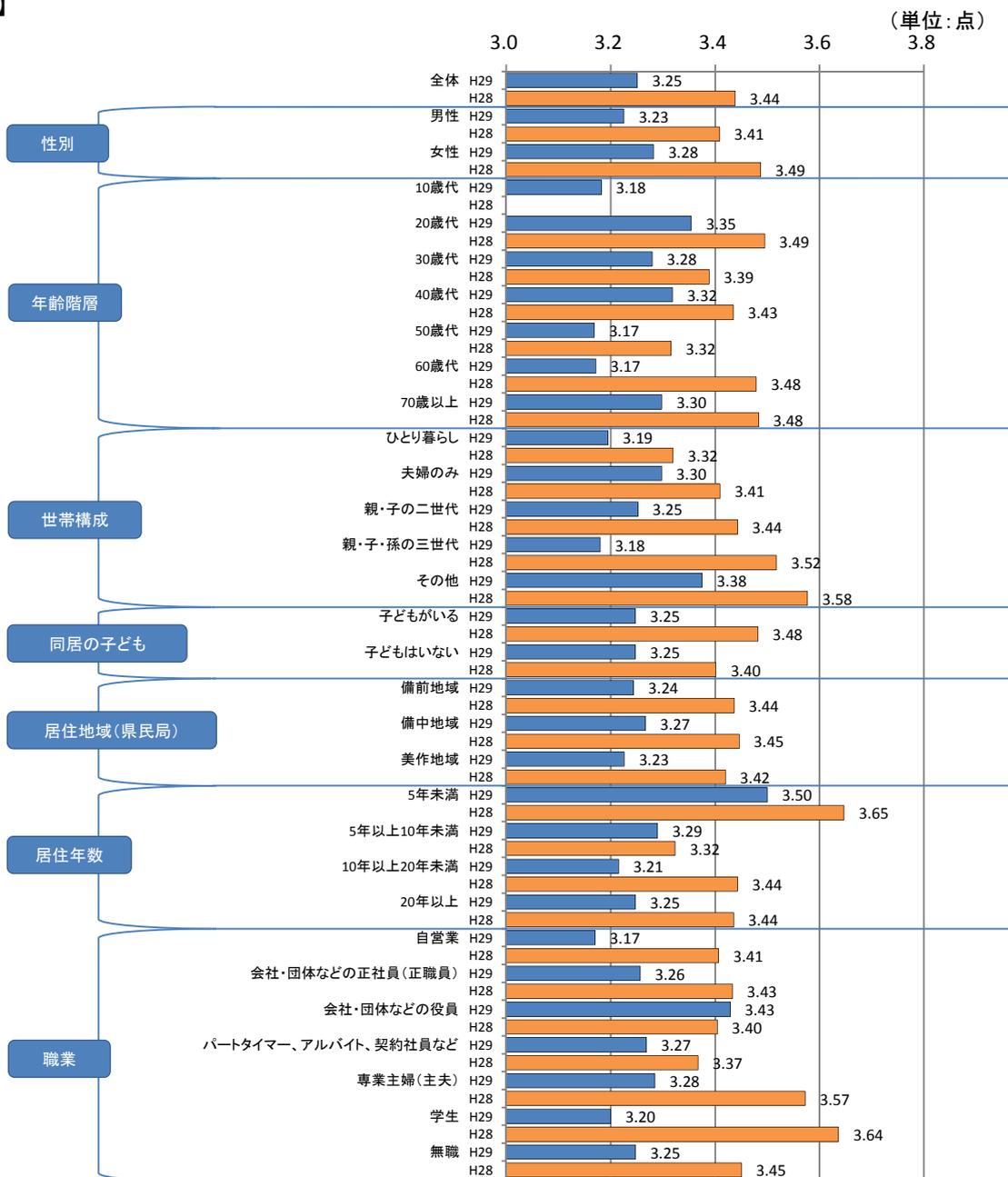
○水、大気、土壌、自然、景観などの保全対策 ○省エネルギー社会実現への取組の推進 ○環境負荷の少ない循環型社会の形成

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.25点であり、20ある調査項目の中で3番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を上回っており、「豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている」に関して、一般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.23点）に比べ、「女性」（3.28点）で満足度がやや高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.35点）で満足度が高く、「50歳代」、「60歳代」（ともに3.17点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.30点）で満足度が高く、「ひとり暮らし」（3.19点）、「親・子・孫の三世代」（3.18点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」（ともに3.25点）で満足度に差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.50点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.43点）で満足度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.17点）で低くなっている。

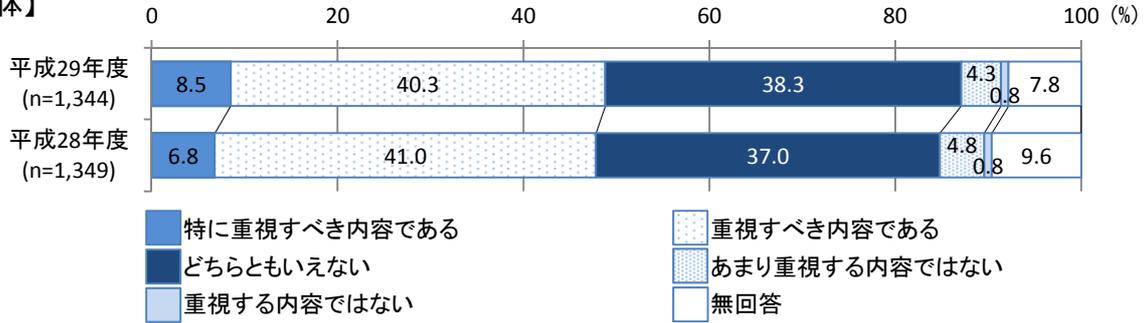
<前年度との比較>

- ・全体の平均点（3.25点）は、前年度（3.44点）と比べて0.19点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（35.3%）と回答した割合は12.6ポイント低下し、「どちらともいえない」（44.6%）と回答した割合は8.4ポイント上昇している。『不満』（14.6%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.23点 前年度差▲0.18点）、「女性」（3.28点 前年度差▲0.21点）でともに満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「50歳代」（3.17点 前年度差▲0.15点）、「60歳代」（3.17点 前年度差▲0.31点）、「70歳以上」（3.30点 前年度差▲0.18点）、で満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世代」（3.25点 前年度差▲0.19点）、「親・子・孫の三世代」（3.18点 前年度差▲0.34点）で満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.25点 前年度差▲0.23点）、「子どもはいない」（3.25点 前年度差▲0.15点）、でともに満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.24点 前年度差▲0.20点）、「備中地域」（3.27点 前年度差▲0.18点）、「美作地域」（3.23点 前年度差▲0.19点）のすべてで満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.50点 前年度差▲0.15点）、「10年以上20年未満」（3.21点 前年度差▲0.23点）、「20年以上」（3.25点 前年度差▲0.19点）で満足度が低下している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.17点 前年度差▲0.24点）、「会社・団体などの正社員（正職員）」（3.26点 前年度差▲0.17点）、「専業主婦（主夫）」（3.28点 前年度差▲0.29点）、「学生」（3.20点 前年度差▲0.44点）、「無職」（3.25点 前年度差▲0.20点）で満足度が低下している。

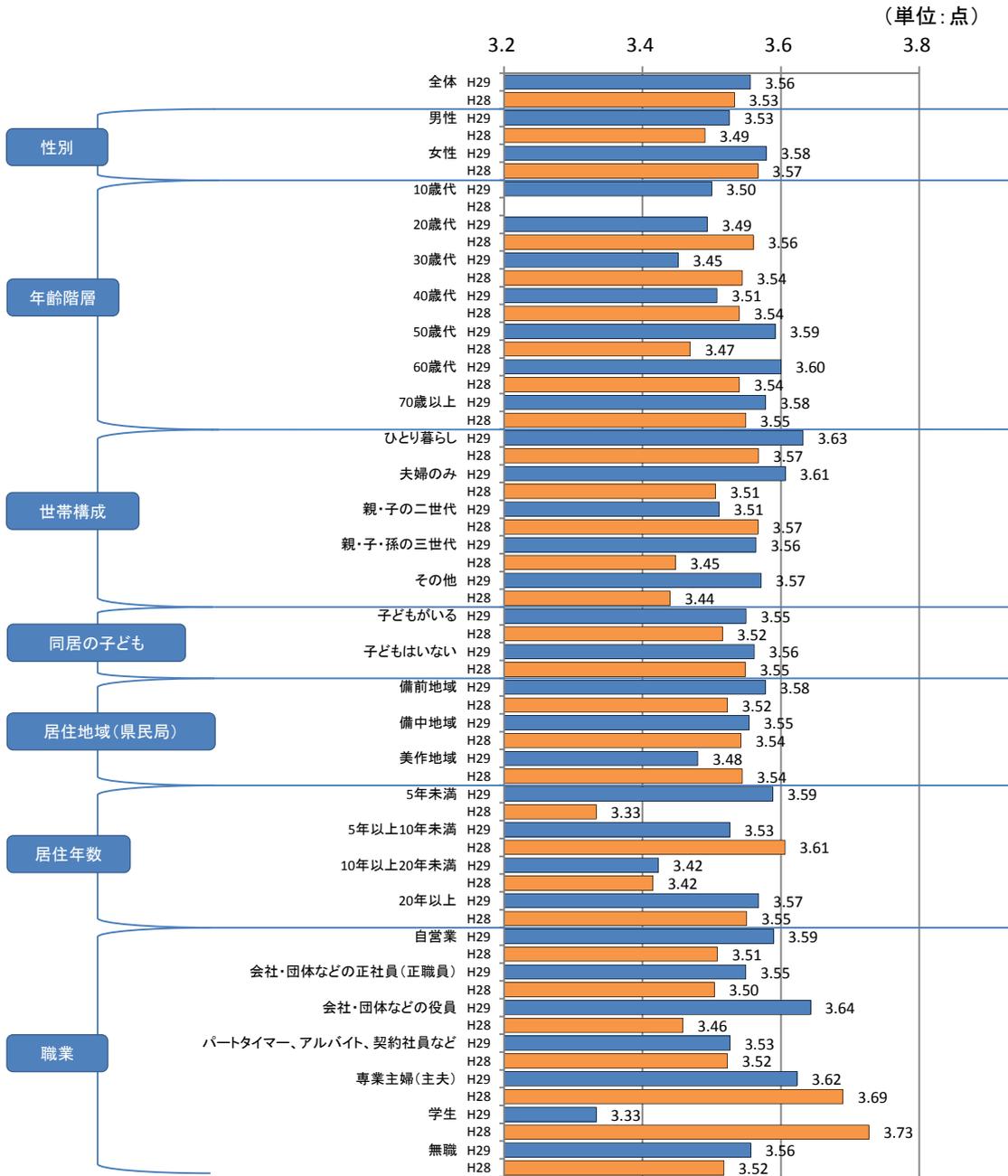
15. 豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.56点であり、20ある調査項目の中で6番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を下回っており、「豊かな自然や優れた景観、身近な生活環境が保全されるなど、快適な環境になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.53点）に比べ、「女性」（3.58点）で重要度がやや高くなっている。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（3.45点）で重要度が低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.63点）で重要度が高く、「親・子の二世帯」（3.51点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.55点）、「子どもはいない」（3.56点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（3.48点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」（3.42点）で重要度が低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.64点）で重要度が高く、「学生」（3.33点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.56点）は、前年度（3.53点）と比べて0.03点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（48.8%）、「どちらともいえない」（38.3%）、『重視しない』（5.1%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「50歳代」（3.59点 前年度差0.12点）で重要度がやや上昇している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.61点 前年度差0.10点）、「親・子・孫の三世帯」（3.56点 前年度差0.11点）で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.59点 前年度差0.26点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.64点 前年度差0.18点）で重要度が上昇し、「学生」（3.33点 前年度差▲0.40点）で低下している。

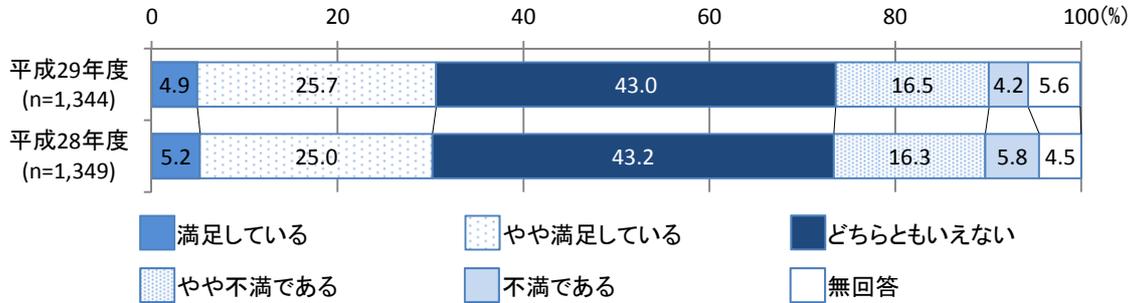
16. 普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている

<施策例>

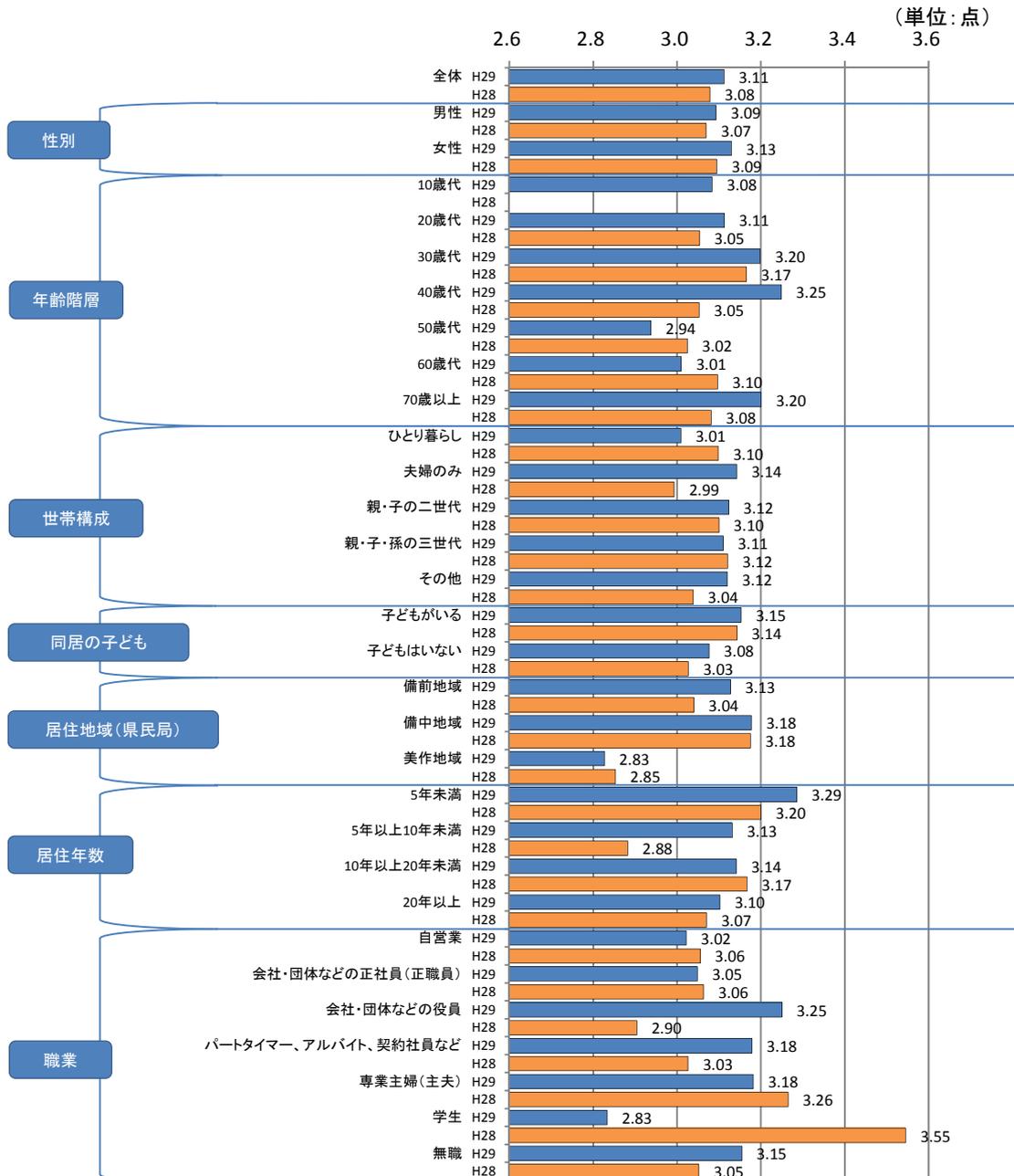
○文化とスポーツの力を活用した地域の活性化 ○生涯スポーツに向けた環境づくり ○生涯学習活動の環境づくり

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.11点であり、20ある調査項目の中で4番目に高くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.00点を上回っており、「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.09点）と「女性」（3.13点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「40歳代」（3.25点）で満足度が高く、「50歳代」（2.94点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.01点）で満足度が低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.15）に比べ、「子どもはいない」（3.08点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.18点）で満足度が高く、「美作地域」（2.83点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.29点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.25点）で満足度が高く、「学生」（2.83点）で低くなっている。

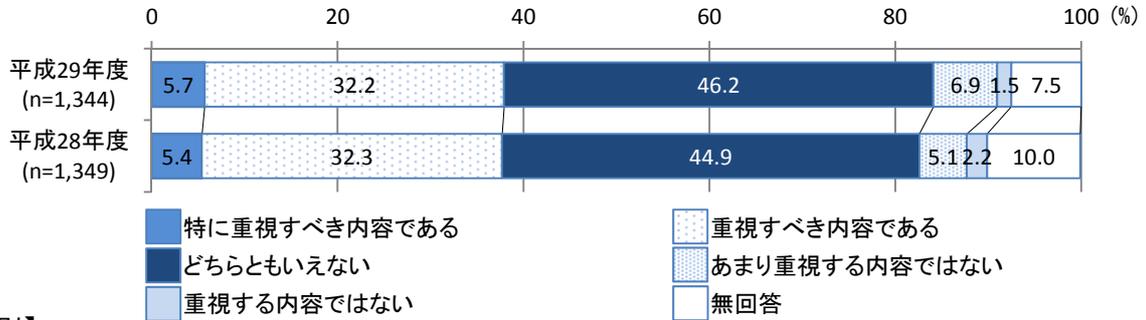
<前年度との比較>

- ・全体の平均点（3.11点）は、前年度（3.08点）と比べて0.03点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』（30.6%）、「どちらともいえない」（43.0%）、『不満』（20.7%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「40歳代」（3.25点 前年度差0.20点）で満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.14点 前年度差0.15点）で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.13点 前年度差0.25点）で満足度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.25点 前年度差0.35点）、「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（3.18点 前年度差0.15点）で満足度が上昇し、「学生」（2.83点 前年度差▲0.72点）で低下している。

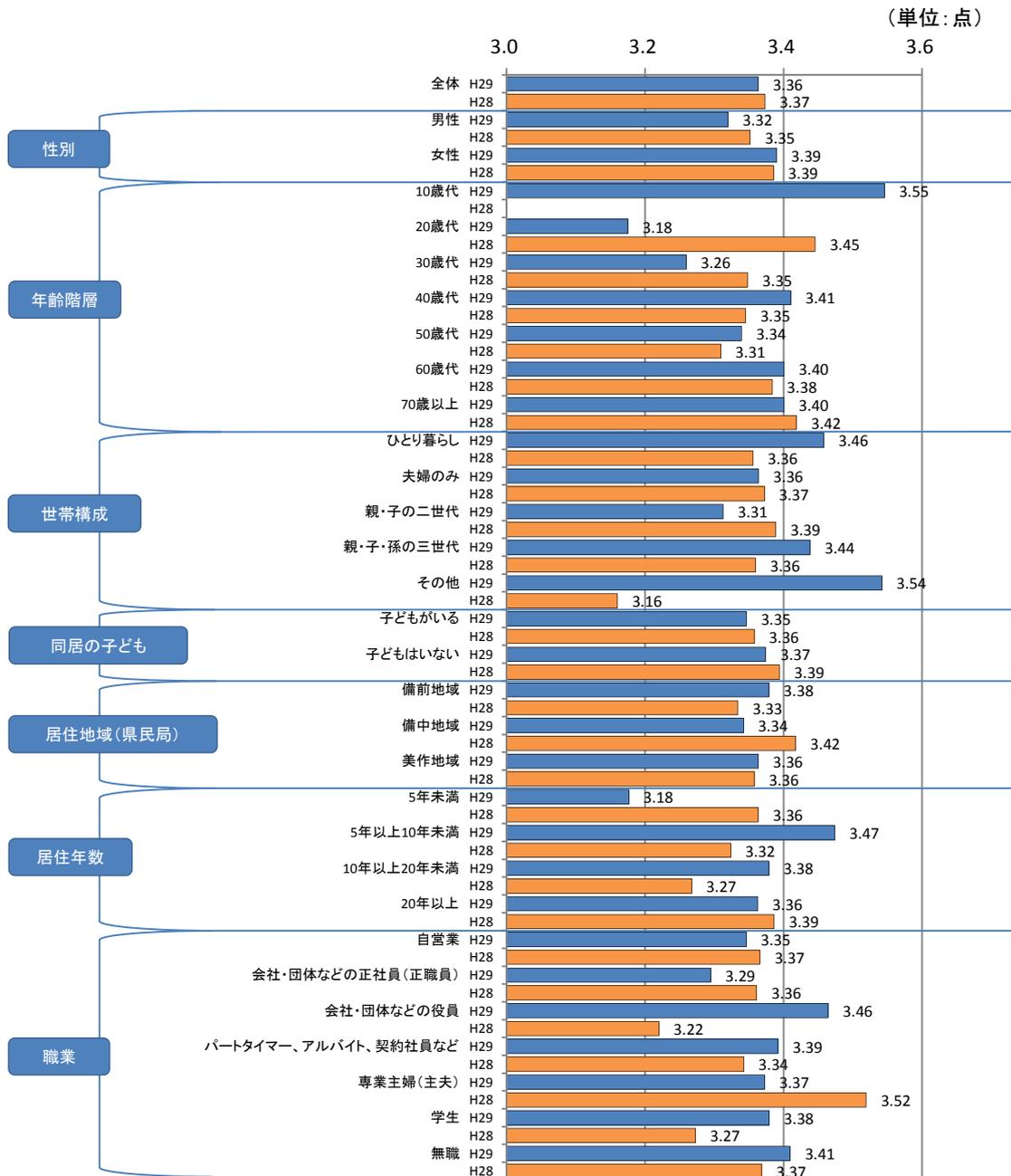
16. 普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.36点であり、20ある調査項目の中で2番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】すべての属性で3.60点を下回っており、「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.32点）に比べ、「女性」（3.39点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「40歳代」（3.41点）で重要度が高く、「20歳代」（3.18点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.46点）で重要度が高く、「親・子の二世帯」（3.31点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.35点）と「子どもはいない」（3.37点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.47点）で重要度が高く、「5年未満」（3.18点）で低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.46点）で重要度が高く、「会社・団体などの正社員（正職員）」（3.29点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.36点）は、前年度（3.37点）と比べて0.01点の低下となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（37.9%）、「どちらともいえない」（46.2%）、『重視しない』（8.4%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.18点 前年度差▲0.27点）で重要度が低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.46点 前年度差▲0.10点）で重要度がやや低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.47点 前年度差0.15点）で重要度が上昇し、「5年未満」（3.18点 前年度差▲0.18点）で低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.46点 前年度差0.24点）で重要度が上昇し、「専業主婦（主夫）」（3.37点 前年度差▲0.15点）で低下している。

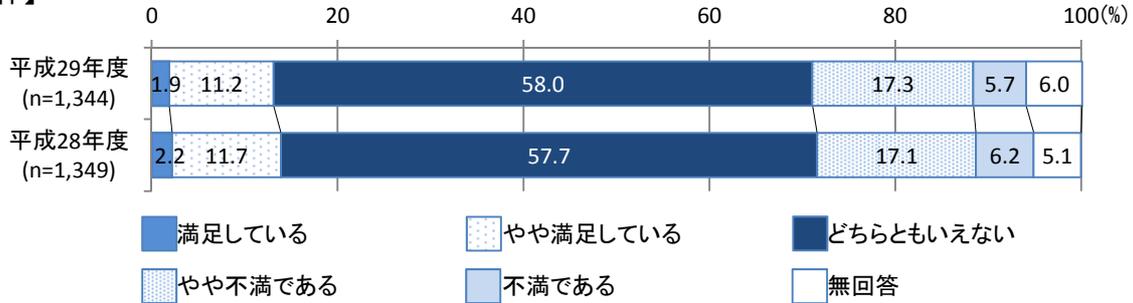
17. 男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている

<施策例>

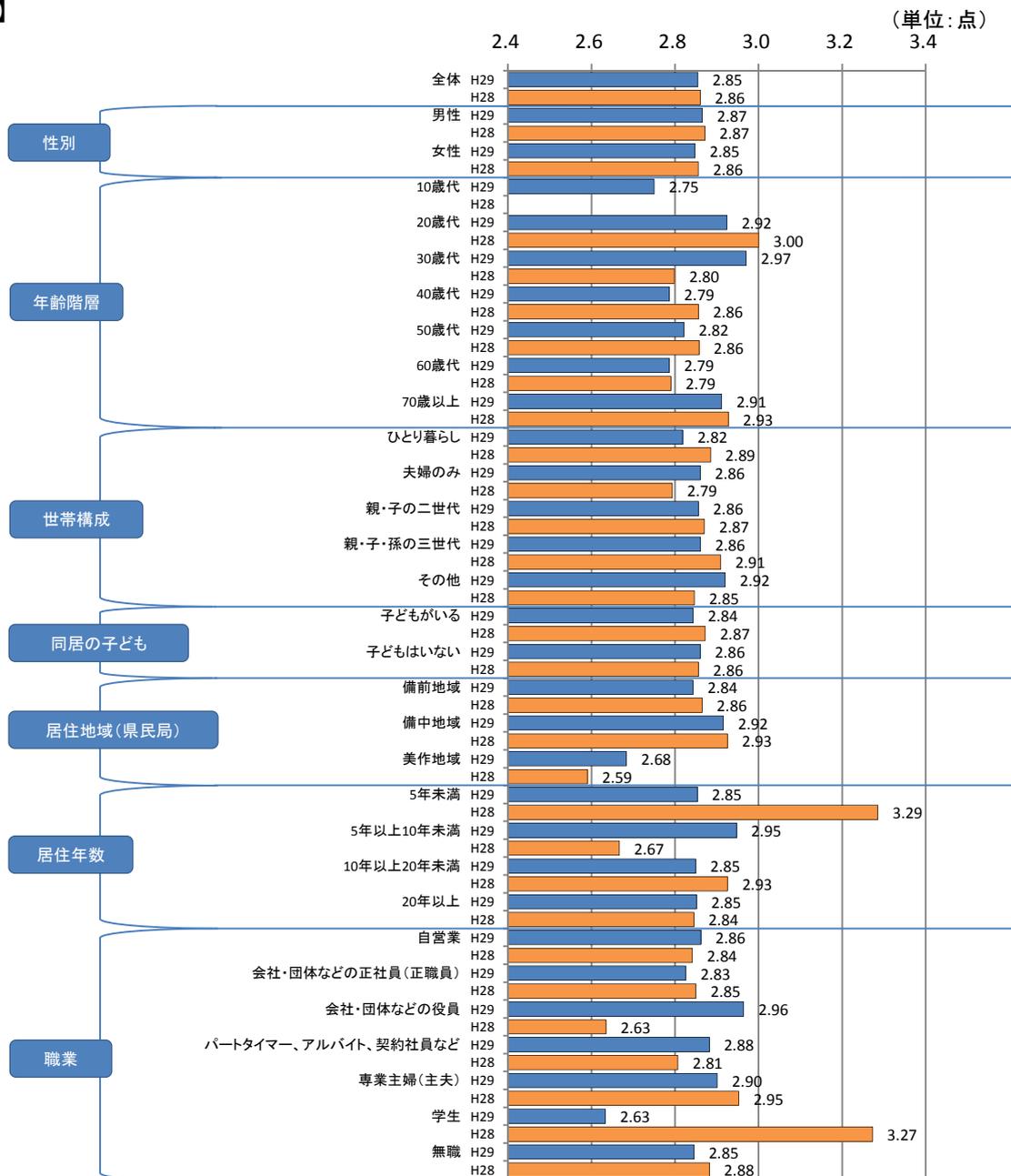
○女性の活躍推進のためのキャリアアップ講座の実施 ○地域・家庭等への男性や若者世代の参画を重視した啓発

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は2.85点であり、20ある調査項目の中で7番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】すべての属性で3.00点を下回っており、「男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている」に関して、全般的に満足度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.87点）と「女性」（2.85点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（2.97点）で満足度が高く「40歳代」、「60歳代」（ともに2.79点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で満足度に大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（2.84点）と「子どもはいない」（2.86点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（2.92点）で満足度が高く、「美作地域」（2.68点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（2.95点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（2.96点）で満足度が高く、「学生」（2.63点）で低くなっている。

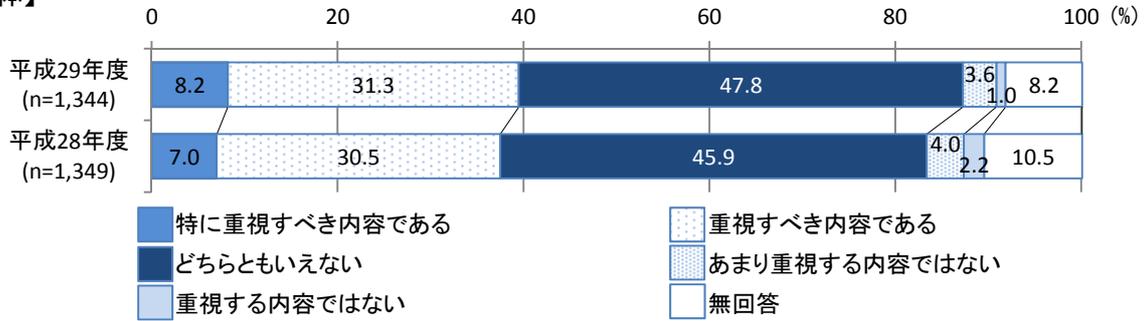
<前年度との比較>

- ・全体の平均点（2.85点）は、前年度（2.86点）と比べて0.01点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（13.1%）、「どちらともいえない」（58.0%）、『不満』（23.0%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「30歳代」（2.97点 前年度差0.17点）で満足度が上昇している。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で前年度と大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（2.95点 前年度差0.28点）で満足度が上昇し、「5年未満」（2.85点 前年度差▲0.44点）で低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（2.96点 前年度差0.33点）で満足度が上昇し、「学生」（2.63点 前年度差▲0.64点）で低下している。

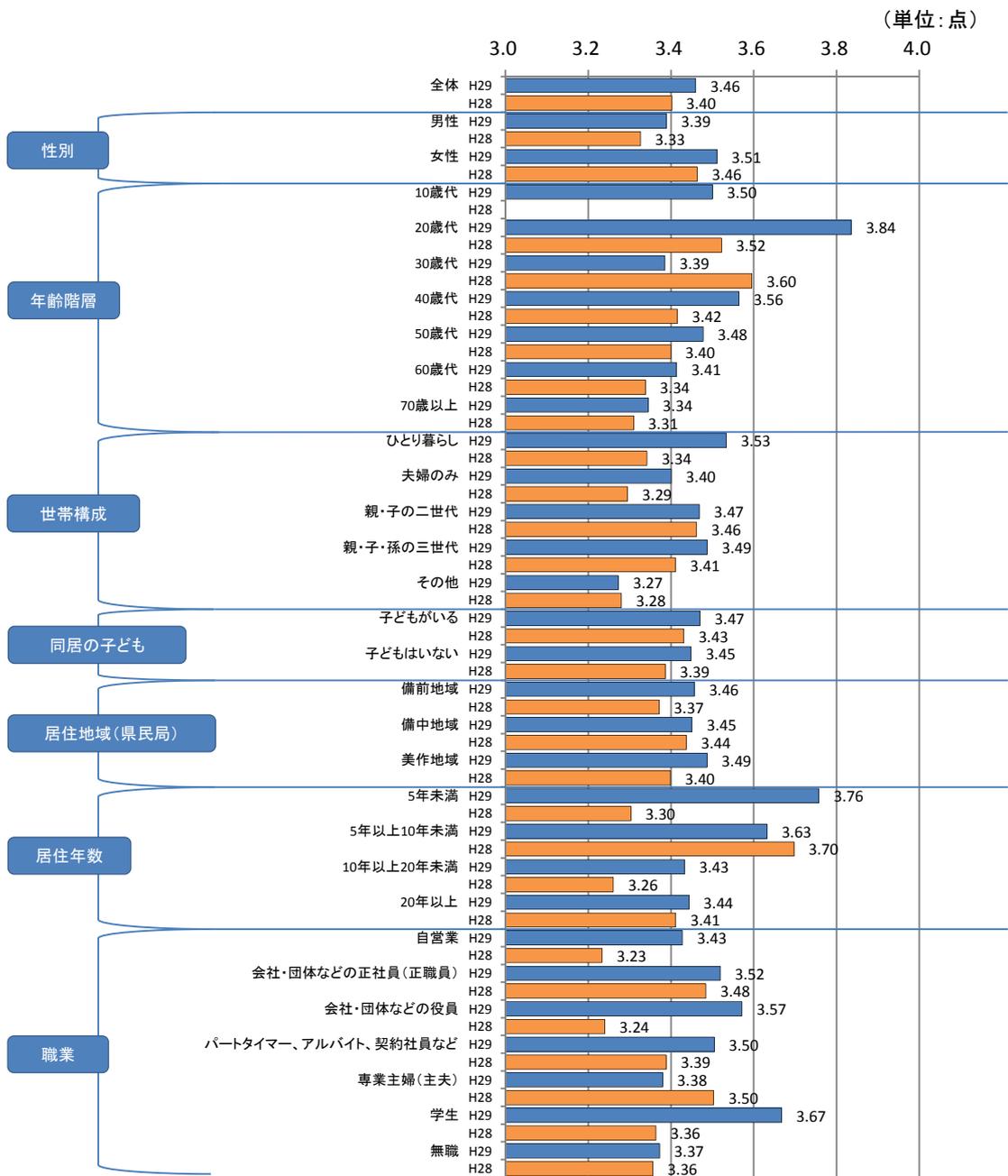
17. 男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.46点であり、20ある調査項目の中で4番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を下回っており、「男女がともに能力を発揮して活躍できる環境になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.39点）に比べ、「女性」（3.51点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.84点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.34点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.53点）で重要度が高く、「夫婦のみ」（3.40点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.47点）と「子どもはいない」（3.45点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.76点）で重要度が高くなっている。
- ・【職業別】「学生」（3.67点）で重要度が高く、「専業主婦（主夫）」（3.38点）、「無職」（3.37点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.46点）は、前年度（3.40点）と比べて0.06点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（39.5%）、「どちらともいえない」（47.8%）、『重視しない』（4.6%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.84点 前年度差0.32点）で重要度が上昇し、「30歳代」（3.39点 前年度差▲0.21点）で低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.53点 前年度差0.19点）で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.76点 前年度差0.46点）、「10年以上、20年未満」（3.43点 前年度差0.17点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.43点 前年度差0.20点）、「会社・団体などの役員」（3.57点 前年度差0.33点）、「学生」（3.67点 前年度差0.31点）で重要度が上昇している。

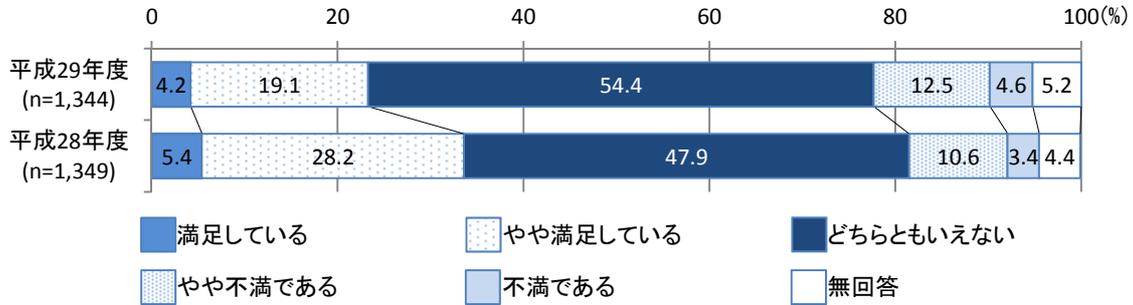
18. 差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている

<施策例>

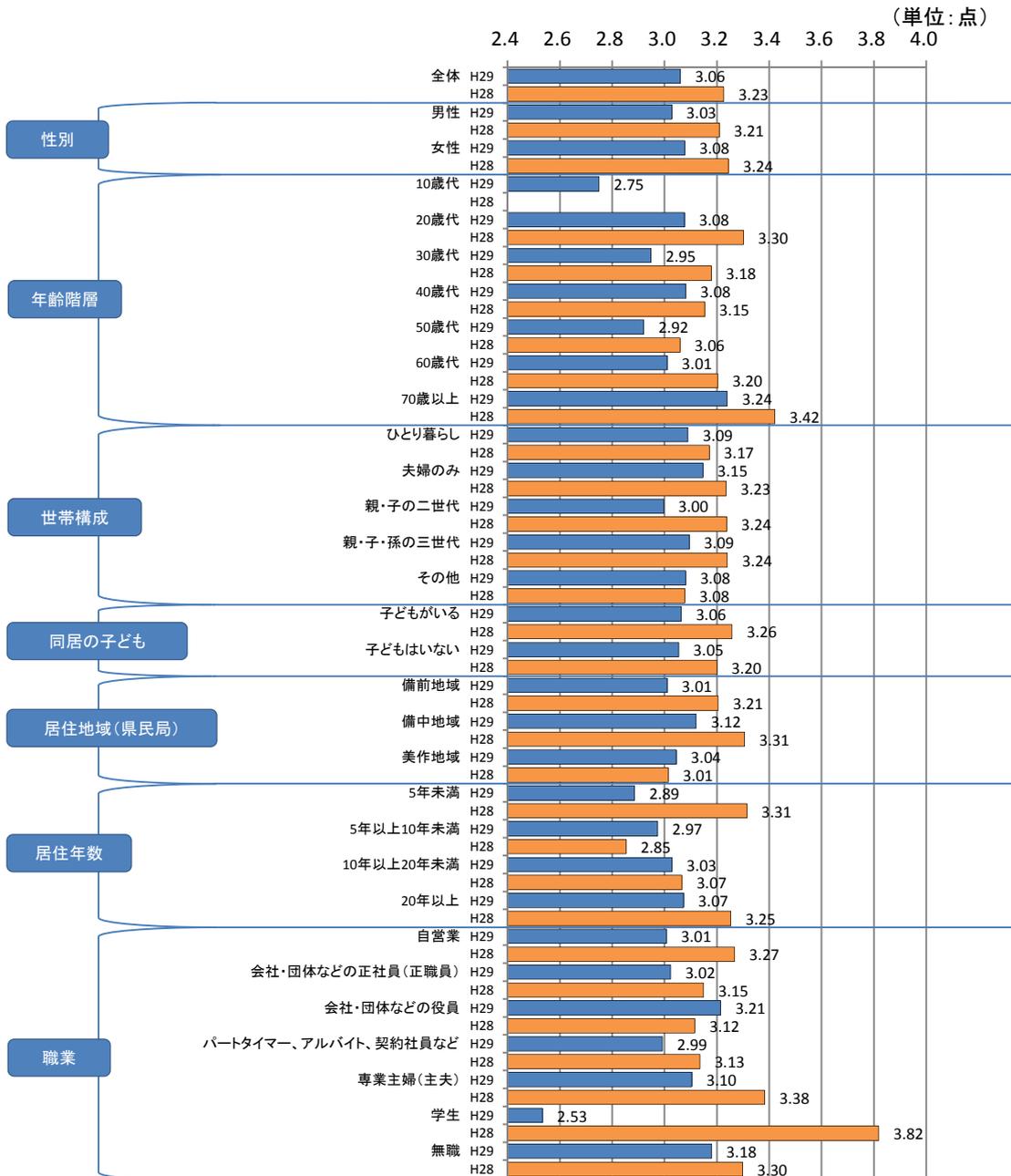
○人権啓発の推進 ○人権意識を高める研修の実施 ○多様化する人権課題に対応した相談・支援体制の充実

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.06点であり、20ある調査項目の中で5番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を上回っており、「差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.03点）に比べ「女性」（3.08点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」（3.24点）で満足度が高く、「50歳代」（2.92点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.15点）で満足度が高く、「親・子の二世帯」（3.00点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.06点）と「子どもはいない」（3.05点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.12点）で満足度が高く、「備前地域」（3.01点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（2.89点）で満足度が低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.21点）で満足度が高く、「学生」（2.53点）で低くなっている。

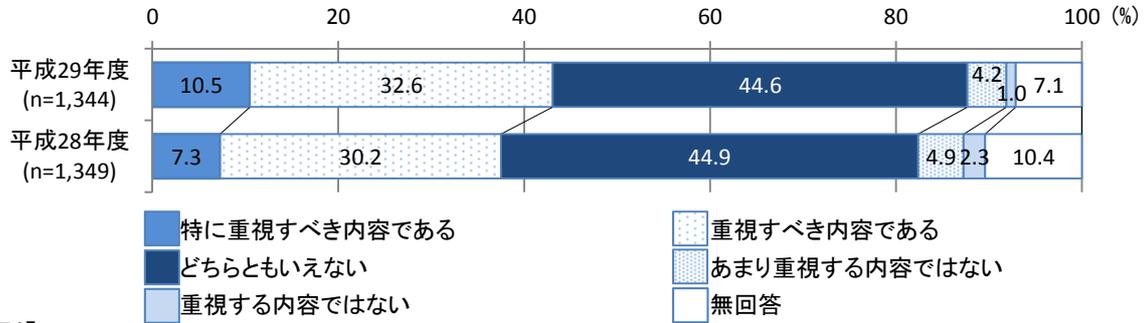
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.06点）は、前年度（3.23点）と比べて0.17点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（23.3%）と回答した割合は10.3ポイント低下し、「どちらともいえない」（54.4%）と回答した割合は6.5ポイント上昇している。『不満』（17.1%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.03点 前年度差▲0.18点）、「女性」（3.08点 前年度差▲0.16点）ともに満足度が低下している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.08点 前年度差▲0.22点）、「30歳代」（2.95点 前年度差▲0.23点）、「60歳代」（3.01点 前年度差▲0.19点）、「70歳以上」（3.24点 前年度差▲0.18点）で満足度が低下している。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（3.00点 前年度差▲0.24点）、「親・子・孫の三世帯」（3.09点 前年度差▲0.15点）で満足度が低下している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.06点 前年度差▲0.20点）、「子どもはいない」（3.05点 前年度差▲0.15点）ともに満足度が低下している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.01点 前年度差▲0.20点）、「備中地域」（3.12点 前年度差▲0.19点）で満足度が低下している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（2.89点 前年度差▲0.42点）、「20年以上」（3.07点 前年度差▲0.18点）で満足度が低下している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.01点 前年度差▲0.26点）、「専業主婦（主夫）」（3.10点 前年度差▲0.28点）、「学生」（2.53点 前年度差▲1.29点）で満足度が低下している。

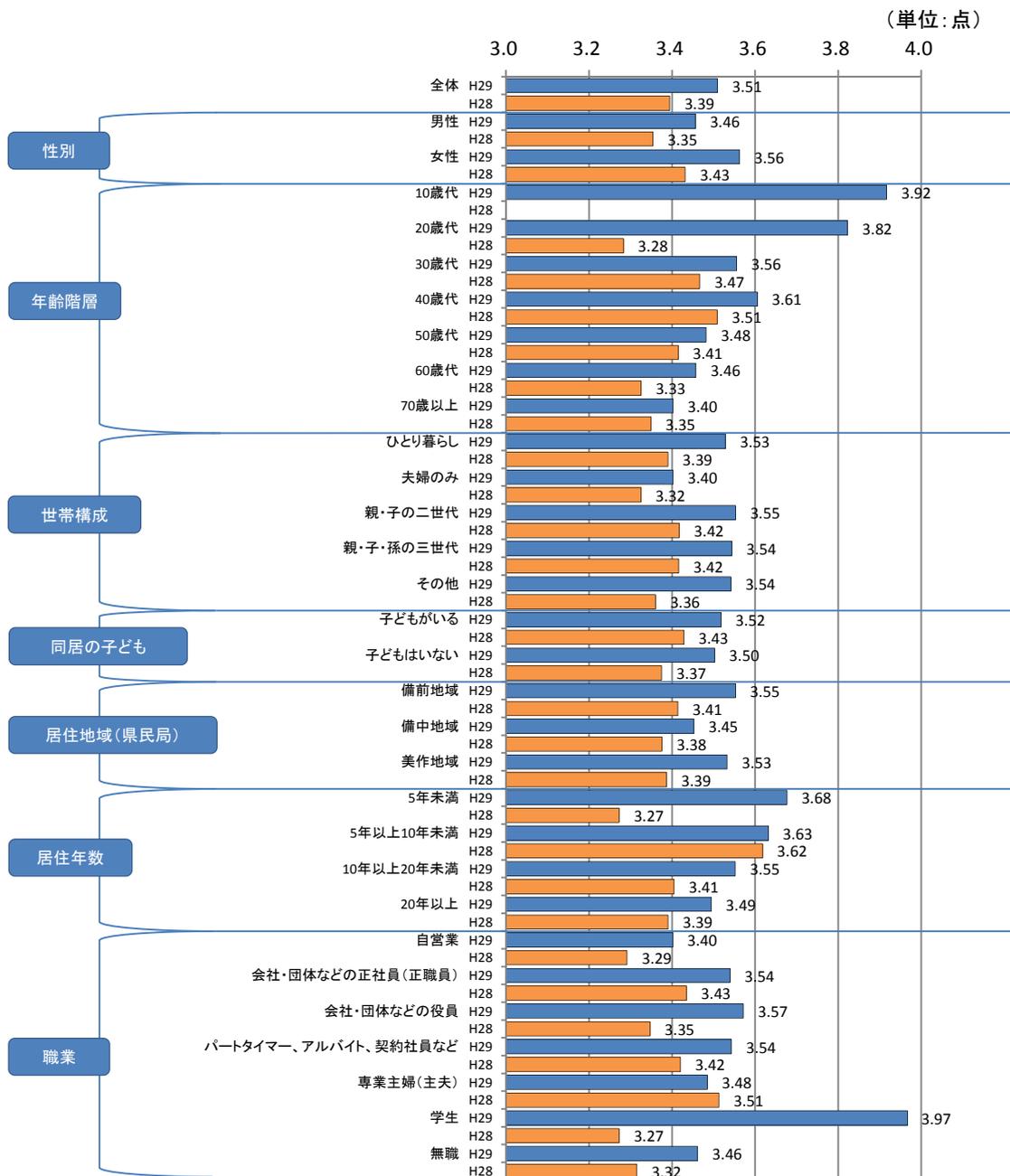
18. 差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.51点であり、20ある調査項目の中で5番目に低くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.60点を下回っており、「差別や偏見がなく、お互いに尊重しながら暮らせる環境になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.46点）に比べ、「女性」（3.56点）で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.82点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.40点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.40点）で重要度が低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.52点）と「子どもはいない」（3.50点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.45点）で重要度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.68点）で重要度が高く、「20年以上」（3.49点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（3.97点）で重要度が高く、「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業員を含む）」（3.40点）で低くなっている。

＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.51点）は、前年度（3.39点）と比べて0.12点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（43.1%）と回答した割合は5.6ポイント上昇し、「どちらともいえない」（44.6%）、『重視しない』（5.2%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（3.46点 前年度差0.11点）、「女性」（3.56点 前年度差0.13点）ともに重要度がやや上昇している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.82点 前年度差0.54点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.53点 前年度差0.14点）、「親・子の二世帯」（3.55点 前年度差0.13点）、「親・子・孫の三世帯」（3.54点 前年度差0.12点）で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもはいない」（3.50点 前年度差0.13点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.55点 前年度差0.14点）、「美作地域」（3.53点 前年度差0.14点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.68点 前年度差0.41点）で重要度が上昇している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」（3.57点 前年度差0.22点）、「学生」（3.97点 前年度差0.70点）で重要度が上昇している。

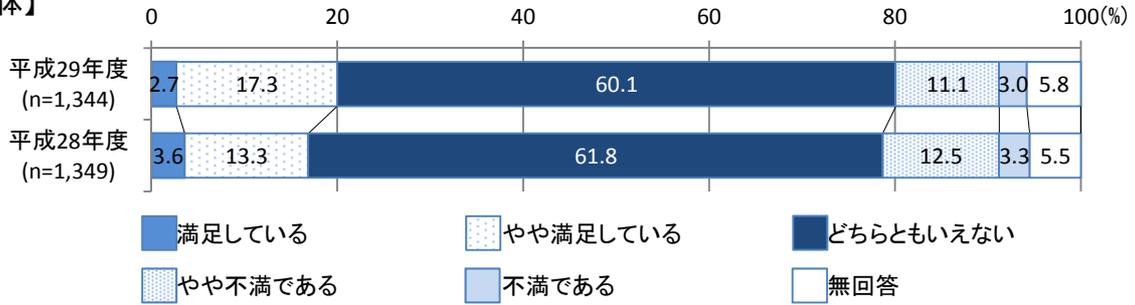
19. ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている

<施策例>

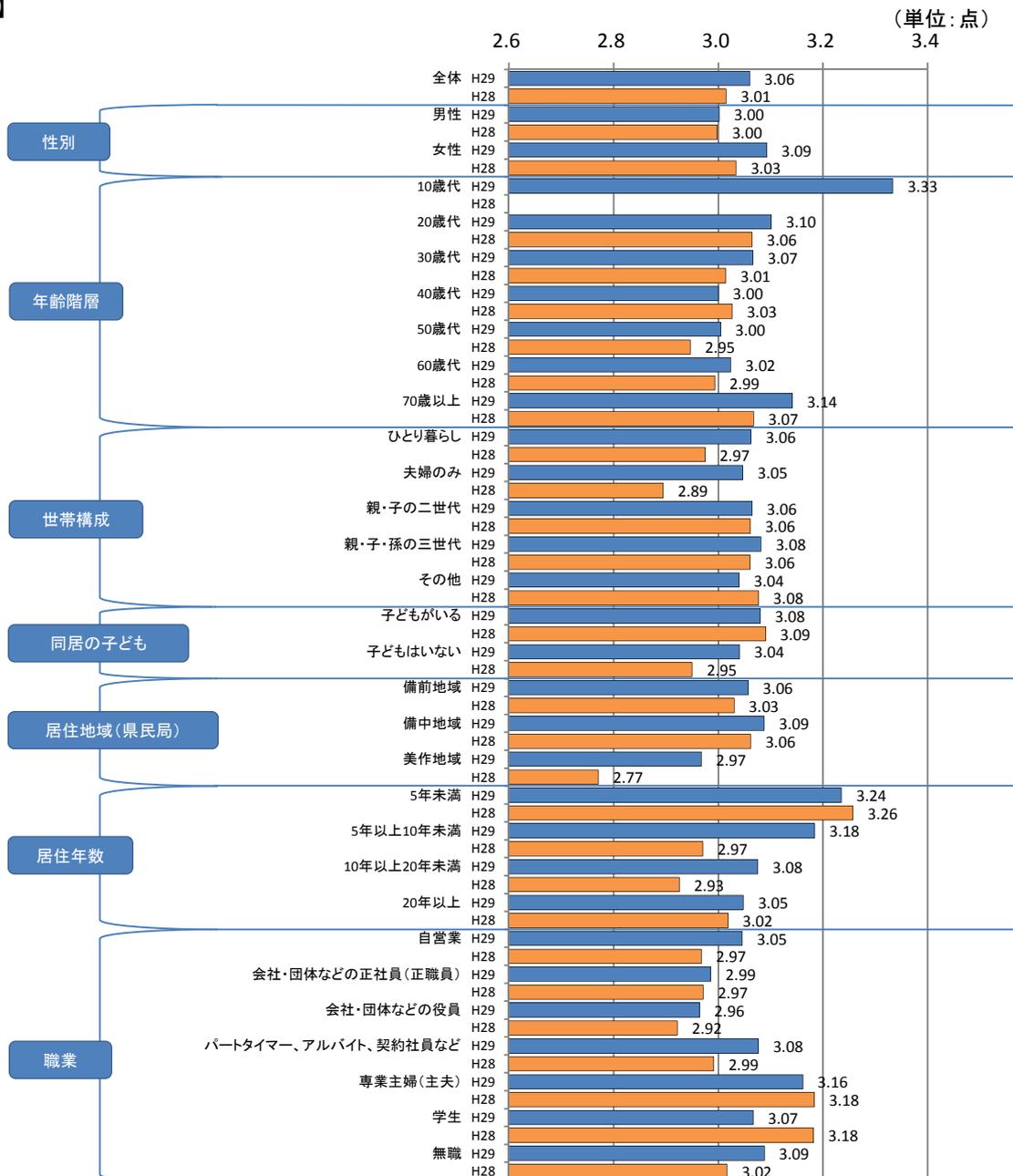
○ボランティア・NPO等の活動情報の提供や研修の実施 ○会計・税務・法律等の専門家による相談体制の充実

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は30.6点であり、20ある調査項目の中で6番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を上回っており、「ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.00点）に比べ「女性」（3.09点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」（3.14点）で満足度が高く、「40歳代」、「50歳代」（ともに3.00点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】すべての世帯構成で満足度に大きな差は見られない。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.08点）と「子どもはいない」（3.04点）で満足度に大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（2.97点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.24点）で満足度が高くなっている。
- ・【職業別】「専業主婦（主夫）」（3.16点）で満足度が高く、「会社・団体などの役員」（2.96点）で低くなっている。

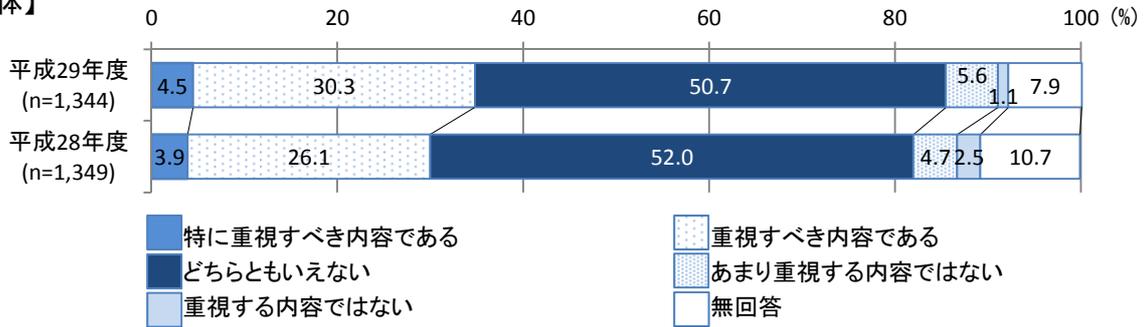
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.06点）は、前年度（3.01点）と比べて0.05点の上昇となっている。
前年度と比べて、『満足』（20.0%）、「どちらともいえない」（60.1%）、『不満』（14.1%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】すべての年齢階層で前年度と大きな差は見られない。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.05点 前年度差0.16点）で満足度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（2.97点 前年度差0.20点）で満足度は上昇している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.18点 前年度差0.21点）、「10年以上20年未満」（3.08点 前年度差0.15点）で満足度が上昇している。
- ・【職業別】「学生」（3.07点 前年度差▲0.11点）で満足度がやや低下している。

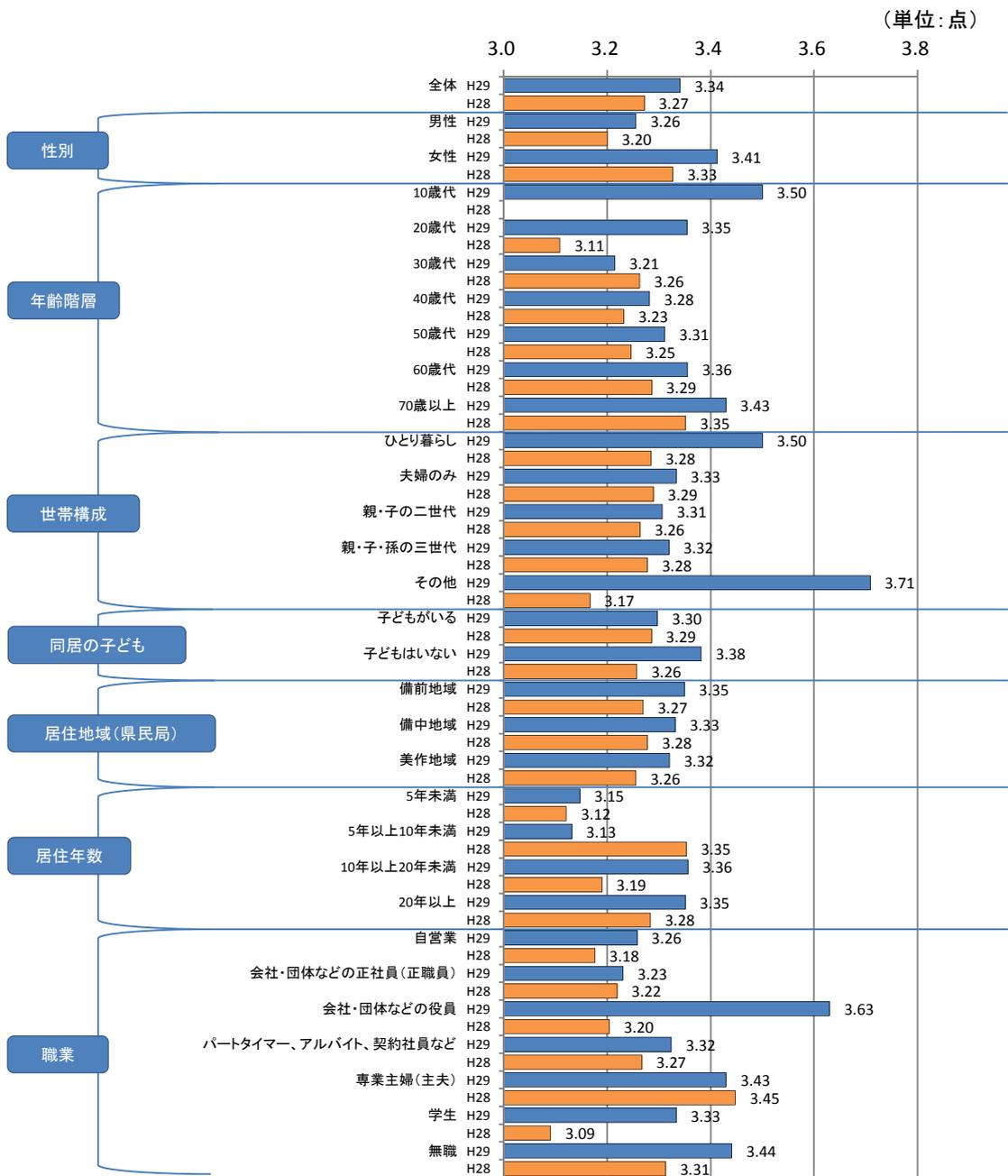
19. ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.34点であり、20ある調査項目の中で最も低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】ほぼすべての属性で3.60点を下回っており、「ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている」に関して、全般的に重要度が低いことを示している。
- ・【性別】「男性」(3.26点)に比べ、「女性」(3.41点)で重要度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「70歳以上」(3.43点)で重要度が高く、「30歳代」(3.21点)で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.50点)で重要度が高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」(3.30点)に比べ、「子どもはいない」(3.38点)で重要度が高くなっている。
- ・【居住地域(県民局)別】すべての地域で重要度に大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」(3.13点)で重要度が低くなっている。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(3.63点)で重要度が高く、「会社・団体などの正社員(正職員)」(3.23点)で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点(3.34点)は、前年度(3.27点)と比べて0.07点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』(34.8%)、「どちらともいえない」(50.7%)、『重視しない』(6.7%)いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」ともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」(3.35点 前年度差0.24点)で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」(3.50点 前年度差0.22点)で重要度が上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもはいない」(3.38点 前年度差0.12点)で重要度がやや上昇している。
- ・【居住地域(県民局)別】すべての地域で前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住年数別】「10年以上20年未満」(3.36点 前年度差0.17点)で重要度が上昇し、「5年以上10年未満」(3.13点 前年度差▲0.22点)で低下している。
- ・【職業別】「会社・団体などの役員」(3.63点 前年度差0.43点)、「学生」(3.33点 前年度差0.24点)で重要度が上昇している。

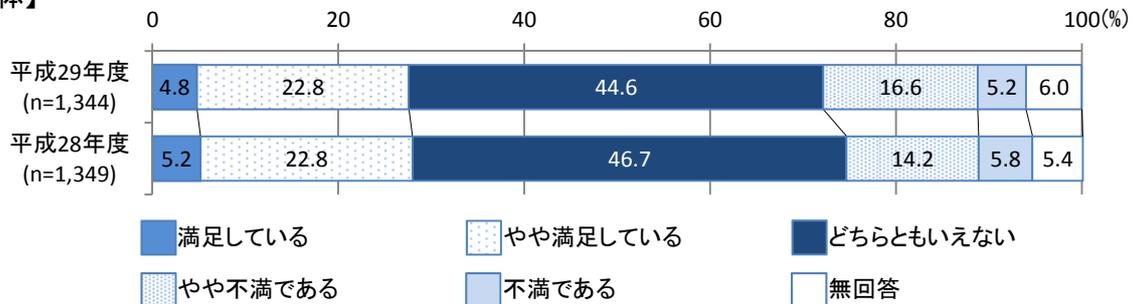
20. 愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている

<施策例>

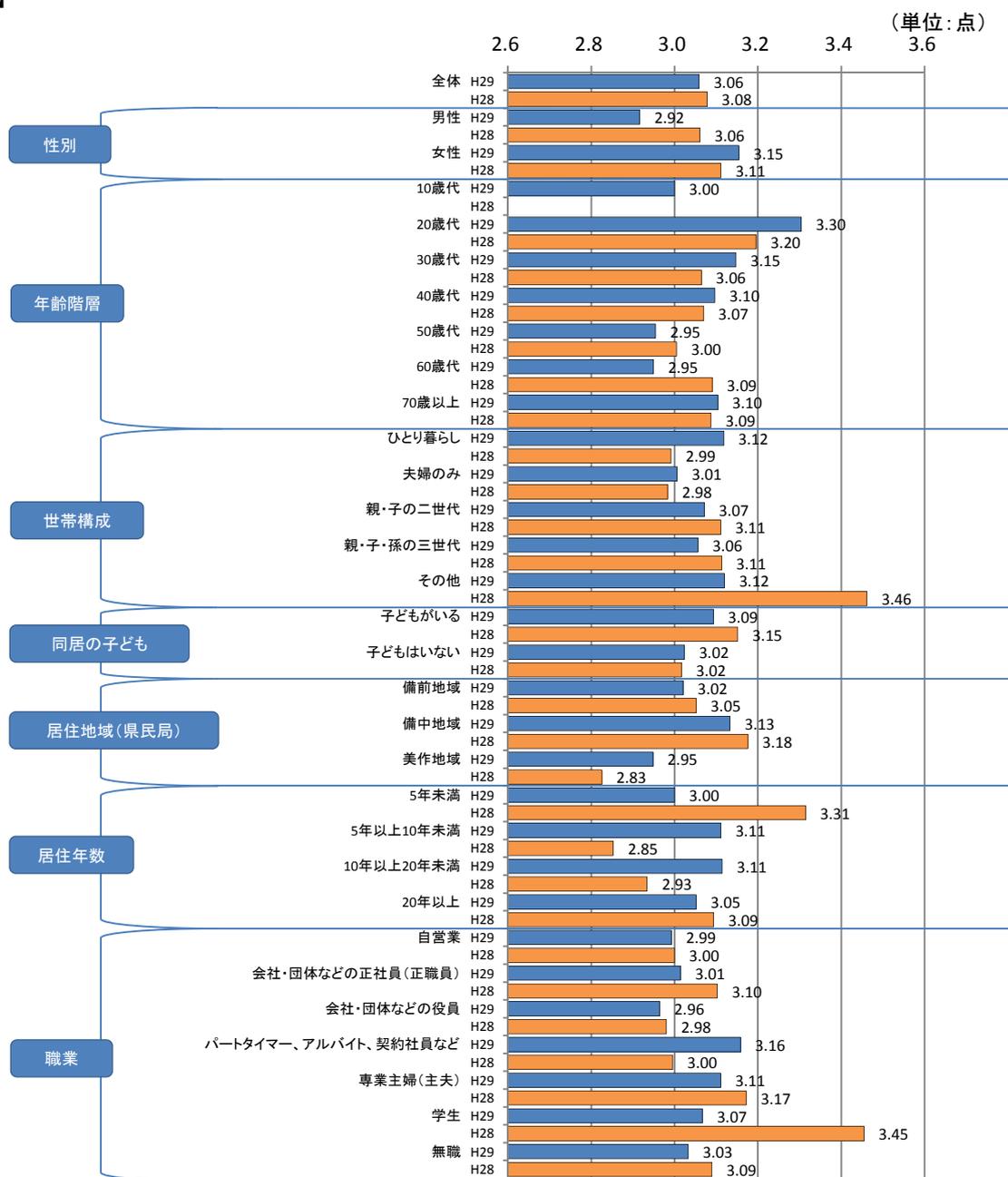
○岡山県の知名度向上の取組 ○岡山ブランドの確立 ○愛着心と誇りの醸成

満足度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.06点であり、20ある調査項目の中で7番目に高くなっている。

＜属性別の比較＞

- ・【属性別】半数以上の属性で3.00点を上回っており、「愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている」に関して、全般的に満足度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（2.92点）に比べ「女性」（3.15点）で満足度が高くなっている。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.30点）で満足度が高く、「50歳代」、「60歳代」（ともに2.95点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.12点）で満足度が高く、「夫婦のみ」（3.01点）で低くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.09点）に比べ、「子どもはいない」（3.02点）で満足度が低くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備中地域」（3.13点）で満足度が高く、「美作地域」（2.95点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」（ともに3.11点）で満足度が高く、「5年未満」（3.00点）で低くなっている。
- ・【職業別】「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（3.16点）で満足度が高く、「会社・団体などの役員」（2.96点）で低くなっている。

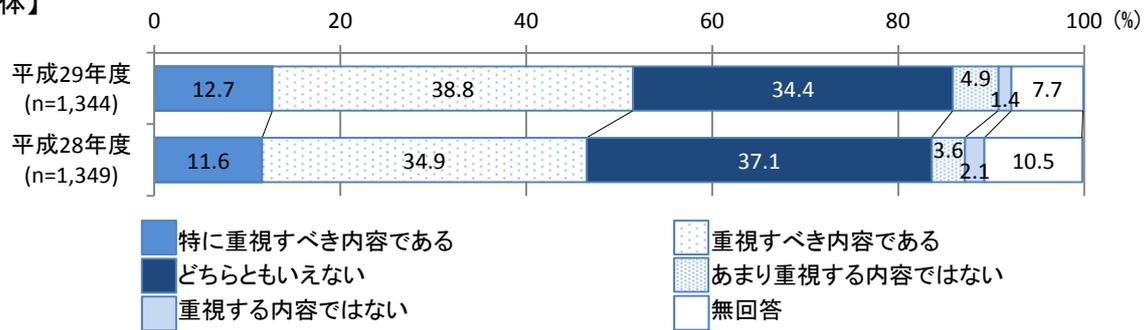
＜前年度との比較＞

- ・全体の平均点（3.06点）は、前年度（3.08点）と比べて0.02点の低下となっている。
前年度と比べて、『満足』（27.6%）、「どちらともいえない」（44.6%）、『不満』（21.8%）いずれでも大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」（2.92点 前年度差▲0.14点）で満足度がやや低下している。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.30点 前年度差▲0.10点）、「60歳代」（2.95点 前年度差▲0.14点）で満足度がやや低下している。
- ・【世帯構成別】「ひとり暮らし」（3.12点 前年度差0.13点）で満足度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「美作地域」（2.95点 前年度差0.12点）で満足度がやや上昇している。
- ・【居住年数別】「5年以上10年未満」（3.11点 前年度差0.26点）、「10年以上20年未満」（3.11点 前年度差0.18点）で満足度が上昇し、「5年未満」（3.00点 前年度差▲0.31点）で低下している。
- ・【職業別】「パートタイマー、アルバイト、契約社員など」（3.16点 前年度差0.16点）で満足度が上昇し、「学生」（3.07点 前年度差▲0.38点）で低下している。

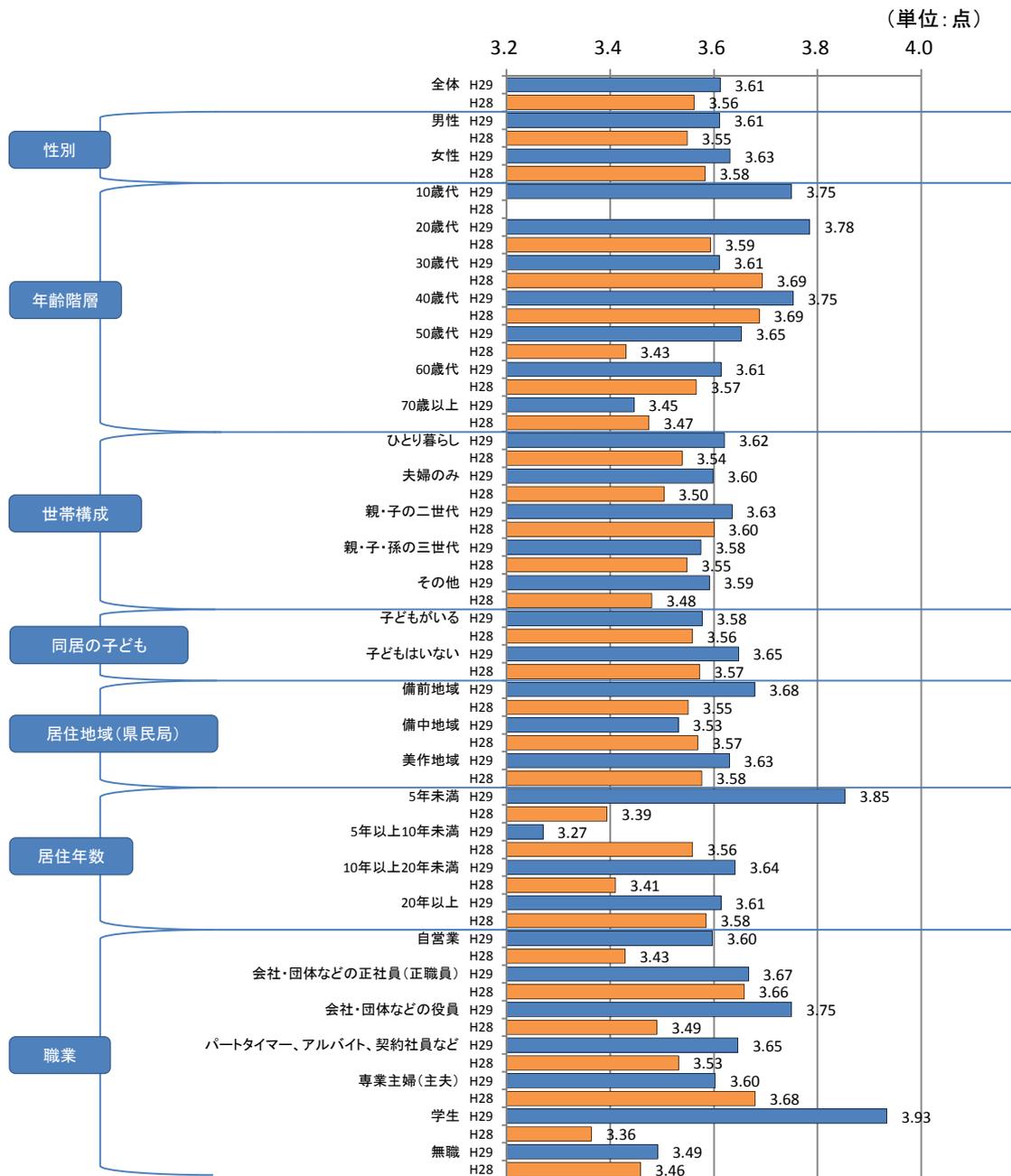
20. 愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている

重要度

【全体】



【属性別】



- ・全体の平均点は3.61点であり、20ある調査項目の中で9番目に低くなっている。

<属性別の比較>

- ・【属性別】半数以上の属性で3.60点を上回っており、「愛着や誇りを持って、魅力を伝えたい地域になっている」に関して、全般的に重要度が高いことを示している。
- ・【性別】「男性」（3.61点）と「女性」（3.63点）で重要度に大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.78点）で重要度が高く、「70歳以上」（3.45点）で低くなっている。
- ・【世帯構成別】「親・子の二世帯」（3.63点）で重要度がやや高くなっている。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」（3.58点）に比べ、「子どもはいない」（3.65点）で重要度がやや高くなっている。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.68点）で重要度が高く、「備中地域」（3.53点）で低くなっている。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.85点）で重要度が高く、「5年以上10年未満」（3.27点）で低くなっている。
- ・【職業別】「学生」（3.93点）で重要度が高く、「無職」（3.49点）で低くなっている。

<前年度との比較>

- ・全体の平均点（3.61点）は、前年度（3.56点）と比べて0.05点の上昇となっている。
前年度と比べて、『重視すべき』（51.5%）と回答した割合は5.0ポイント上昇し、「どちらともいえない」（34.4%）、『重視しない』（6.3%）では大きな差は見られない。
- ・【性別】「男性」、「女性」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【年齢階層別】「20歳代」（3.78点 前年度差0.19点）、「50歳代」（3.65点 前年度差0.22点）で重要度が上昇している。
- ・【世帯構成別】「夫婦のみ」（3.60点 前年度差0.10点）で重要度がやや上昇している。
- ・【同居の子どもの有無別】「子どもがいる」、「子どもはいない」とともに前年度と大きな差は見られない。
- ・【居住地域（県民局）別】「備前地域」（3.68点 前年度差0.13点）で重要度がやや上昇している。
- ・【居住年数別】「5年未満」（3.85点 前年度差0.46点）、「10年以上20年未満」（3.64点 前年度差0.23点）で重要度が上昇し、「5年以上10年未満」（3.27点 前年度差▲0.29点）で低下している。
- ・【職業別】「自営業（農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む）」（3.60点 前年度差0.17点）、「会社・団体などの役員」（3.75点 前年度差0.26点）、「学生」（3.93点 前年度差0.57点）で重要度が上昇している。